

令和4年度（2022年度）

# 地域運営学校 活動事例集



八王子市教育委員会



## 目次

### 掲載校一覧

第一小学校	1	式分方小学校	29
第二小学校	2	横川小学校・横川中学校	30
第三小学校	3	恩方第一小学校	31
第四小学校	4	恩方第二小学校	32
第五小学校	5	元木小学校	33
第七小学校	6	川口小学校	34
第八小学校	7	陶鎔小学校	35
第九小学校	8	上川口小学校	36
第十小学校	9	美山小学校	37
中野北小学校	10	檜原小学校	38
清水小学校	11	松枝小学校	39
大和田小学校	12	加住小中学校	40
小宮小学校	13	由井第一小学校	41
高倉小学校	14	由井第二小学校	42
宇津木台小学校	15	由井第三小学校	43
横山第一小学校	16	長沼小学校	44
横山第二小学校	17	片倉台小学校	45
散田小学校	18	高嶺小学校	46
長房小学校	19	みなみ野小中学校	47
船田小学校	20	みなみ野君田小学校	48
館小中学校	21	七国小学校・七国中学校	49
山田小学校	22	浅川小学校	50
櫛田小学校	23	東浅川小学校	51
緑が丘小学校	24	由木中央小学校	52
元八王子小学校	25	由木東小学校	53
元八王子東小学校	26	由木西小学校	54
上壺分方小学校	27	鹿島小学校	55
城山小学校	28	松が谷小学校	56

## 掲載校一覧

中山小学校	57	恩方中学校	85
柏木小学校	58	川口中学校	86
南大沢小学校	59	檜原中学校	87
宮上小学校	60	由井中学校	88
秋葉台小学校	61	打越中学校	89
別所小学校	62	浅川中学校	90
愛宕小学校	63	陵南中学校	91
松木小学校	64	由木中学校	92
下柚木小学校	65	松が谷中学校	93
上柚木小学校	66	中山中学校	94
長池小学校	67	南大沢中学校	95
鑓水小学校	68	宮上中学校	96
高尾山学園	69	別所中学校	97
第一中学校	70	上柚木中学校	98
第二中学校	71	松木中学校	99
第四中学校	72	鑓水中学校	100
第五中学校	73	いずみの森義務教育学校	101
第六中学校	74		
第七中学校	75		
ひよどり山中学校	76		
甲ノ原中学校	77		
石川中学校	78		
横山中学校	79		
長房中学校	80		
櫛田中学校	81		
元八王子中学校	82		
四谷中学校	83		
城山中学校	84		

# 掲載内容一覧

No.	学校名	設置 年度	熟 議	支 援			
			基本方針に関する こと等	学校活動支援		学校を拠点とした地域活動	
				学習支援	学習支援以外	参加型	企画
1	第一小学校	29	○	○			
2	第二小学校	25	○	○	○	○	○
3	第三小学校	30	○	○			
4	第四小学校	28	○	○	○	○	○
5	第五小学校	26	○	○	○	○	○
6	第七小学校	22		○	○	○	
7	第八小学校	31	○	○	○		
8	第九小学校	28	○	○	○	○	○
9	第十小学校	30	○	○		○	
10	中野北小学校	28		○	○		
11	清水小学校	26	○	○	○		
12	大和田小学校	29	○	○	○		
13	小宮小学校	28	○	○	○		
14	高倉小学校	25		○	○		
15	宇津木台小学校	26	○	○	○	○	
16	横山第一小学校	24		○	○	○	○
17	横山第二小学校	29	○	○	○		
18	散田小学校	28	○	○			
19	長房小学校	23		○	○		
20	船田小学校	31	○	○	○		
21	館小中学校	22		○		○	○
22	山田小学校	28	○	○		○	○
23	栢田小学校	21	○	○	○	○	
24	緑が丘小学校	27	○	○			
25	元八王子小学校	29	○	○	○		
26	元八王子東小学校	29		○	○		
27	上菅分方小学校	29	○	○		○	
28	城山小学校	29	○	○	○		
29	式分方小学校	26		○	○	○	○
30	横川小学校・横川中学校	29		○			○
31	恩方第一小学校	29	○	○		○	○
32	恩方第二小学校	29	○	○		○	○
33	元木小学校	29	○	○	○	○	
34	川口小学校	31		○		○	○
35	陶鎔小学校	20		○	○		
36	上川口小学校	24	○	○	○		○
37	美山小学校	31	○	○	○	○	
38	檜原小学校	29	○	○	○	○	○
39	松枝小学校	30		○	○	○	○
40	加住小中学校	22		○		○	○
41	由井第一小学校	30		○	○	○	○
42	由井第二小学校	29	○	○	○		
43	由井第三小学校	26	○	○	○		
44	長沼小学校	27	○	○	○		○
45	片倉台小学校	29	○	○	○	○	○
46	高嶺小学校	25	○	○	○	○	○
47	みなみ野小中学校	30	○	○	○		
48	みなみ野君田小学校	30	○	○	○	○	○
49	七国小学校・七国中学校	31	○	○	○		
50	浅川小学校	20			○	○	○
51	東浅川小学校	19		○	○		
52	由木中央小学校	29	○	○		○	○
53	由木東小学校	29	○	○	○		
54	由木西小学校	27	○	○	○	○	○

# 掲載内容一覧

No.	学校名	設置 年度	熟 議	支 援			
			基本方針に関する こと等	学校活動支援		学校を拠点とした地域活動	
				学習支援	学習支援以外	参加型	企画
55	鹿島小学校	29	○	○	○	○	
56	松が谷小学校	29	○	○			
57	中山小学校	21		○	○		
58	柏木小学校	23	○	○	○		○
59	南大沢小学校	23	○	○	○	○	
60	宮上小学校	21	○	○	○	○	○
61	秋葉台小学校	30		○	○		
62	別所小学校	30	○	○			
63	愛宕小学校	22		○		○	○
64	松木小学校	23	○	○	○	○	
65	下柚木小学校	21		○	○		
66	上柚木小学校	29	○	○	○	○	○
67	長池小学校	23	○	○	○	○	○
68	鎌水小学校	29	○	○	○		
69	高尾山学園	27	○	○	○	○	○
70	第一中学校	21	○	○	○	○	○
71	第二中学校	30	○	○		○	
72	第四中学校	30	○	○	○		
73	第五中学校	29	○	○	○		
74	第六中学校	19	○	○		○	
75	第七中学校	29		○			
76	ひよどり山中学校	25	○	○	○	○	○
77	甲ノ原中学校	29	○	○	○	○	○
78	石川中学校	29	○	○	○		
79	横山中学校	26	○	○		○	○
80	長房中学校	29		○			
81	桐田中学校	27	○	○	○		
82	元八王子中学校	20	○	○	○		
83	四谷中学校	31	○	○	○	○	
84	城山中学校	20		○	○		
85	恩方中学校	24	○	○	○		
86	川口中学校	26		○	○	○	
87	檜原中学校	30	○	○	○	○	○
88	由井中学校	25	○	○		○	
89	打越中学校	29	○	○	○	○	○
90	浅川中学校	22	○	○	○		
91	陵南中学校	21	○	○	○		
92	由木中学校	24	○	○	○		
93	松が谷中学校	29	○	○	○	○	○
94	中山中学校	25		○	○		
95	南大沢中学校	23	○	○	○	○	○
96	宮上中学校	19	○	○	○		○
97	別所中学校	31	○	○	○		
98	上柚木中学校	29		○	○	○	○
99	松木中学校	22	○	○		○	○
100	鎌水中学校	29		○	○	○	○
101	いずみの森義務教育学校	29		○			○

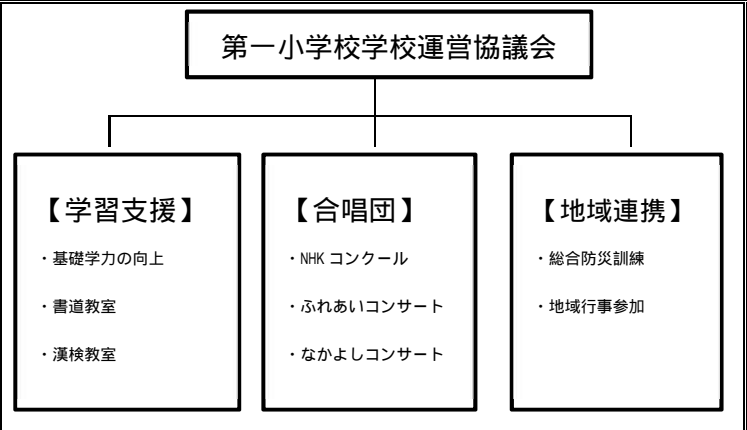
この一覧は本事例集に掲載されている事業のみについてであり、学校の全ての活動を表しているものではありません。

【凡例】

熟 議	基本方針に関する事	教育基本方針について協議が行われている場合
支 援	学校活動支援	学習支援、体験学習、図書ボランティア、漢検・英検
	学校を拠点とした地域活動	安全ボランティア、通学路点検、保護者サロン、放課後子ども教室、学校農園、広報活動 等
	参加型	地域防災訓練、地域清掃 等
	企画	地域活動の企画

## 活動の目的・概要

本校の教育方針である「地域で育ち、地域に生きる子の育成」をめざし、学力向上や体力向上、地域連携など、様々な視点から地域に根付いた教育活動について熟議を重ねている。また、年間行動目標を「学校支援活動の推進」とし、学校の応援団として、保護者や地域住民が協力して多様な活動を行う仕組みを構築している。



## 活動の特徴・工夫

### 放課後学習支援

平成 29 年度から毎週水曜日の放課後に、多目的室を利用して放課後学習支援を実施している。地域の方や保護者の方々に学習アドバイザーとして協力していただき、基礎学力の定着に向けた取組を行っている。また、週ごとに「英会話教室」「書道教室」「漢検教室」を実施し、児童の興味・関心を高め、学習意欲の向上や達成感の充実が図れる取組も行っている。活動後には毎回振り返りを行い、反省点や良かった点など、次回への申し送りをノートに記録し教職員と共有できる工夫をしている。昨年度はコロナ感染症予防のために、実施できなかった。今後は放課後子ども教室と協力しながら支援を続けていく。

### ○合唱団支援

八王子市立第一小学校には合唱団がある。合唱団を学校づくりに生かしている歴史のある唯一の学校であり、わかっているだけでも 40 年以上の歴史がある。現在は 4 年生から 6 年生の 43 名の有志で朝練習（午前 7 時 45 分～ 8 時 15 分）と土曜日練習（午前 9 時から 12 時）を中心に仲良く活動をしている。昨年は、「NHK 全国学校音楽コンクール」への参加を始め、小中連携で行われる青少対主催の「ふれあいコンサート」、小中合同音楽祭、合唱団を有する学校が集まった「なかよしコンサート」など演奏活動を行った。特に、いちょうホールで行われる「ふれあいコンサート」では、地域の方からたくさんの温かいお言葉をいただき、子供の励みになっている。また、昨年は、創立 150 周年記念事業として、記念オペラ歌手を招へいして公演いただく機会を設けた。一流の歌い手との共演に子供たちは感激し、更に頑張ろうという意欲につながった。これからも子供の心の高鳴りを歌声にのせて、皆と創り上げる喜びを味わいながら活動を続けていきたい。





## 活動の目的・概要

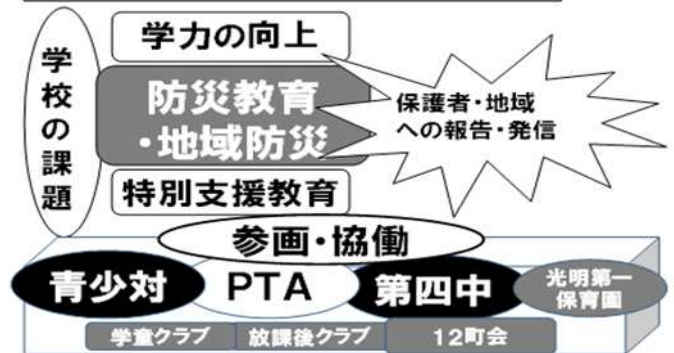
学校教育目標(よく学び考える子、思いやりがありやりぬく子、明るく元気な子)、学校経営方針の具現化を目指し、児童にとり安心・安全で居場所となる学校づくりを実現する。

「地域に学び共に生きる」をスローガンとし、保護者も地域も教職員も誇れる学校づくりを実現する。

地域と学校との絆を土台にして、地域・保護者と共に歩みさらに成長していく学校づくりを実現する。

保護者や地域と連携した学校づくりを推進する。  
保護者や地域の参画による学校の活性化を図る。  
「地域の子どもは地域で育てる」。学校・保護者・地域が連携し、児童の健全育成に努める。

## 学校運営協議会の取り組み



## 活動の特徴・工夫

## 地域の力を生かした学校づくりの推進

## 本校の教育活動のさらなる充実・推進

地域の参画による学校運営を推進し、地域の幅広いネットワークを活かした教育活動を推進。

教育課程の適正実施・基礎基本を重視した指導方法・更なる充実を目指した学校行事の精選・児童の安全を最優先にした学校施設の検討等について意見交換を実施。

## 第二小学校がある町を知り地域の方々との交流を通して地域を愛する心を育てる活動

日光ウォッチング  
地域探検、商店街見学  
琴体験

学校地域合同防災訓練

## 義務教育学校開校に向けて

令和9年度義務教育学校開校予定

令和2・3年度 市研究指定校

令和4・5年度 市研究指定校

(「確かな学力を身に付け、主体的に学ぶ児童・生徒の育成」  
義務教育学校9年間の系統的・継続的な学習指導の充実を通して)



学校運営協議会の様子



教職員との顔合わせ



学校地域合同防災訓練



織物組合見学



お箏体験

## 地域の力を高める学校づくり

地域(12町会)、八王子市(防災課・学校施設課)、八王子消防署・消防団、第四中学校、光明第一保育園等と連携した学校地域合同防災訓練実施

## 地域とともに歩む(創立150周年記念事業)

地域が誇れる学校。地域の学校としての誇り  
地域と共に創立150周年を祝う



小中合同研究授業見学、研究協議会参加



いずみの森義務教育学校見学、学校運営協議会参加



創立150周年準備・実行委員は会から数えて16回開会、創立150周年記念式典



## 基礎的・基本的学力の習熟

児童一人一人に確かな  
学力定着  
学運協委員・地域住民と  
教員が協力  
全学年を対象  
個別・補習学習



## &lt; 主な協議事項 &gt;

学校経営計画・教育課程届。学校運営協議会運営目標・予算  
各種アンケート集計・分析  
(学校公開・運動会・展覧会・道徳授業地区公開講座)  
学校評価アンケート集計・分析(前・後期)  
義務教育学校開校に向けた取組・小中一貫教育(研究指定校)  
児童・学校生活等の情報提供・共有(学校サポートチーム等)  
新型コロナウイルス感染症拡大防止における基本方針

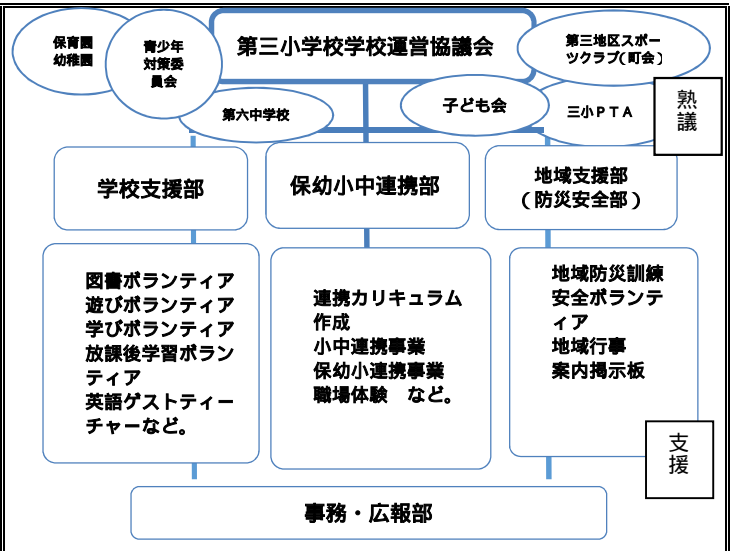


## 活動の目的・概要

教育目標の『やさしく(徳...品格)・かしこく(知...教養)・たくましく(体...壮健)』を達成するために、学校運営協議会の運営目標の一つである「学運協の学校とともに家庭・地域・社会が連携した学校づくり」を推進している。

地域の人材を活用し、教育活動の充実を図っている。

いつでも話のできる大人がいる環境を整備している。



## 活動の特徴・工夫

## いじめの早期発見や防止、確実な対応に向けた協議

学校運営協議会では、子供たちが安心して過ごせる学校づくりをしていくために、子供たちの居場所づくりの充実を目指した。学校いじめ対策委員会の報告をもとに、支援部と連携し子供たちの見守り体制の協議を重ねた。

## こっこや

平成30年度から毎週木曜日、COCCOの皆さんに憩いの部屋で「こっこや」を開催していただいている。COCCOは、第三小学校を卒業した児童の保護者で組織されており、こっこやの目的は、いつでも話ができる大人が学校にはいるという環境を整えていくことであり、学年にあった遊べるものを用意していただいている。楽しみにしている児童がたくさんいる。毎週のこっこやの活動後は、連絡ノートでその日の様子をCOCCOと学校が共有している。担任では分からない児童の様子やつぶやきを知ることができ、児童の理解にもつながっている。



## ○学校・地域・保護者をつなぐコミュニティカレンダー

第六中学校と第三小学校と地域の情報をまとめたコミュニティカレンダー。

第六中学校と第三小学校が本当に多くの地域の皆様に支えられていることを再確認し、その尊い伝統と「子供達のために」という皆の思いが、これからも末永く次世代につながっていくことを願い作成したものである。作成を通して地域のつながりがより深まるとともに、地域を大切にしていこうとする気持ちが強まった。

第三小学校は、地域・保護者の皆様との活動を通して、子どもたちの笑顔があふれる地域運営学校として、これからも地域と手をつなぎ、地域の大人がそばにるのが当たり前活動をさらに広げていきます。すべては子どもたちのために！



## 活動の目的・概要

四小の学校教育目標である「すすんで学びよく考える子・心豊かでみんなのために働く子・健康でいのちを大切に作る子」を実現するために、学校・保護者・地域の連携と協働で達成していく。「自立・共生・貢献」をテーマに協議を重ね、児童の育成を図る。学校運営協議会は、「学力向上」「地域連携」「環境美化」「記録広報」の4つを柱とし、未来を担う子どもたちの健やかな育成のために、学校・保護者・地域・関係機関が一体となって、学校支援活動を行い、社会に開かれた教育を行う。

### 第四小学校学校運営協議会

#### 学力向上部

- 夏休み学習支援
- 漢字検定

#### 地域連携部

- 地域防災総合訓練
- 図上訓練
- 地域施設との連携

#### 環境美化部

- 花植活動
- 学校環境美化活動

#### 記録広報部

- 運営協議会の記録
- HPによる広報活動

## 活動の特徴・工夫

### 「学力向上」の取組・・・『夏休みパワーアップ教室』・『漢字検定』

毎年1月には『漢字検定』の実施に伴い、四小の会場運営にボランティアとして、保護者にも関わっていただいている。放課後子ども教室の学習支援でも、学期に2・3回ずつ中学生のボランティアに参加してもらって、学力向上につなげている。

### 「地域連携」の取組・・・『総合防災訓練』・『図上訓練』

毎年9月に地域・消防署等が連携して、児童の『総合防災訓練』に取り組み、煙体験・消火体験・防災教育などの様々な活動を通して、自助・共助・公助の大切さを学び、防災意識を高めている。また教職員と年に1回『図上訓練』を行い、教職員との連携を深め、地域の一員としての学校のあり方等を熟議している。

### 「環境美化」・・・『街路樹植え込みへの花植活動』・『学校校舎内外の美化活動』・『芝生の手入れ』

『街路樹植え込み』の活動では、学校の周囲の街路の花植えや整備を地域の方と一緒にやり、環境づくりを行うことで、絆を深めている。『学校校舎内外の美化活動』では、児童・保護者・地域が公園の花植えや花壇整備、清掃活動等を行い、一体となって環境美化に取り組んでいる。

『芝生の手入れ』は、地域の方が中心となって保護者にも活動を呼びかけ、芝生の管理を行っている。週に1回校内の消毒作業を行っている。

### 「記録広報」

学校運営協議会の内容を四小のホームページにも掲載し、地域や保護者に向けて運営目標や活動等の情報を提供している。

### 「放課後子ども教室」

週に3回、放課後の校庭遊びの見守りを行う。学習アドバイザーを置き、放課後の学習支援を行う。

### 児童の見守り活動

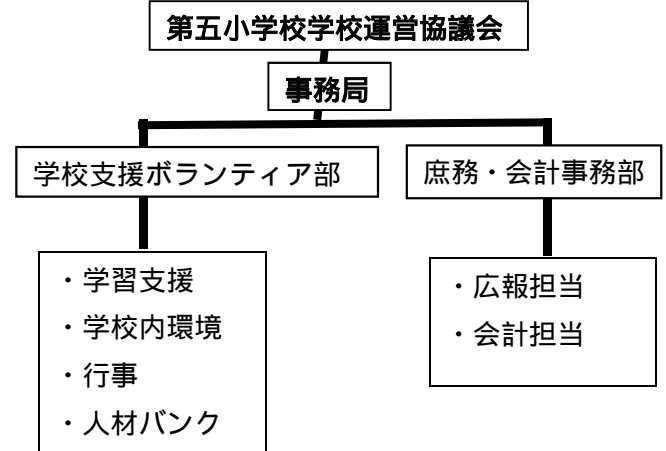
月に数回、児童の学校活動の見守りをし、教職員と情報共有を行うことで児童に幅広い支援を行う。



## 活動の目的・概要

学校、家庭、地域の教育力を生かし、地域に根差したよりよい学校づくりを進めていくとともに、地域と連携しながら、子どもたちの心身ともに健やかさ、豊かな心を育む。

教育ボランティアの充実と活用により、確かな学力の向上を図る。



## 活動の特徴・工夫

## 放課後子ども教室

長年続いている本校の放課後子ども教室は、3～9月は午後5時まで、10～2月は午後4時まで、土日祝日を除くほぼ毎日実施している。長期休業中も実施しており、子どもたちの放課後の居場所が広がっている。

校庭での活動が主であるが、サタデースクールとして、子どもたちにとって楽しいイベントが実施されることもある。開放員の方々は地域の方で構成されており、「おじちゃん」「おばちゃん」と子どもたちも親しげに挨拶や話をする関係が築かれている。開放員の方々も温かく接してくださっているが、注意すべきことはきちんと指導してくださり、まさに地域と一緒に五小っ子を育てている。



## 伝統文化

「日本の伝統文化」に触れる機会としてお囃子、能や車人形、茶道や華道などの伝統文化体験を学年ごとに実施している。それぞれ地域の方や家元の方を講師としてお招きし、子どもたちは日本の伝統文化の表現のおもしろさや多様性に気付くとともに、和装の立ち居振る舞いについても学んだ。お囃子体験では、八王子祭りで活躍されている地元のお囃子の方をお招きし、教えていただいた。

これらの体験をとおして、子どもたちは日本の伝統文化の豊かさを知るとともに、日本の伝統文化が世界にも広まっていることを知り、日本人としての自覚や誇りを持つことにつながっている。また、自分たちの地元八王子の伝統文化を知る機会となり、地域への愛着や興味関心が広がった。





## 活動の目的・概要

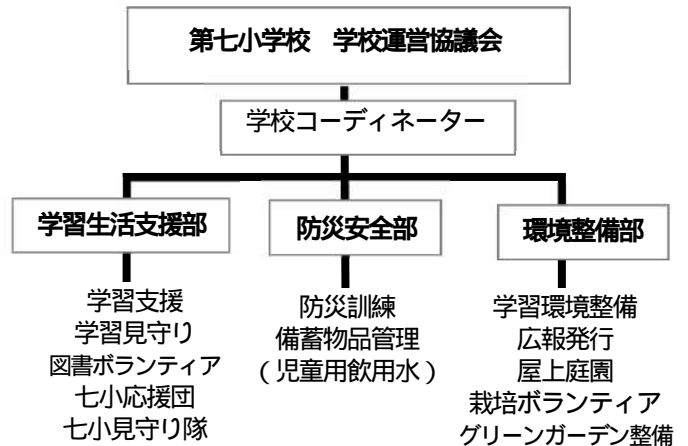
教育目標の「笑顔あふれる 自分も友達も大切にする学校」を達成し、地域の将来を担う子どもたちを育成するために、地域運営学校として、地域との連携の充実を図る。

安全・安心な学校づくりを推進する。

児童の学力の定着及び向上を目指す。

学校と地域とのパートナーシップの確立を目指し、地域と共に、手を携えて教育活動の質的向上を支援する。

学校・地域・保護者が協働し、多様な学校支援活動を構築していく。



## 活動の特徴・工夫

### 学校クリーン活動（びかびかデー）

- ・学校運営協議会、教職員、保護者や地域の方々、PTA、親児の会、第七小学校を使用するスポーツ団体の皆さんと校舎内外の清掃活動を実施。



### 七小応援団・七小見守り隊（安全ボランティア）

「七小応援団」「七小見守り隊（安全ボランティア）」として組織を作り、地域の支援者の輪を広げ、保護者や地域の方の協力を得ながら、学校支援活動を展開している。

- ・登下校の見守り活動
- ・学習支援、教室での学びの個別支援や児童の学習補助への協力
- ・放課後算数教室：算数の苦手な児童を対象に放課後補習を実施  
第3学年以上の児童を中心に補習支援を行い、算数の苦手軽減に努めている。
- ・放課後子ども教室：放課後の安心、安全な児童の居場所を提供  
コロナ感染予防対策を徹底し、可能な限りの日程で実施。  
(地域の有志の方に学習アドバイザーとして参加いただく)

### 図書ボランティア

- ・朝読書の時間を利用し、読み聞かせを実施
- ・地域学習として昔語りの会の方々による高尾山や八王子のお話の会を実施

### ○園芸ボランティアとの協働による「花育」支援

- ・学級園の整備
- ・中庭（グリーンガーデン）プランターの整備
- ・屋上庭園の整備：ブルーベリーの収穫等
- ・栽培委員会の時間に参加し、子どもたちの活動を支援

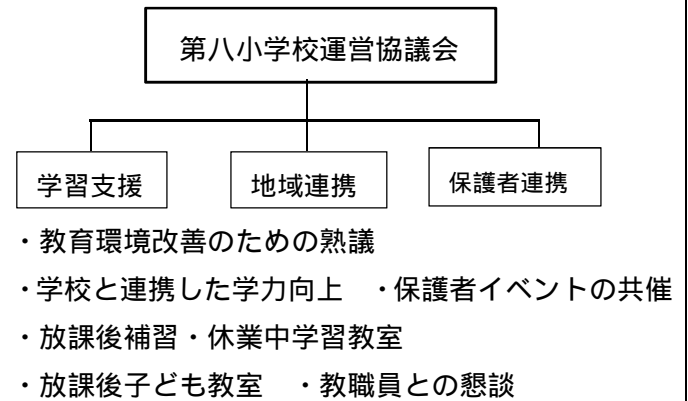


## 活動の目的・概要

本校の教育目標達成のために、学校の現状の情報共有と学校運営協議会として何ができるか、より良い学校の実現をめざし熟議を行う。

学力向上のための取組である放課後補習教室「わくわくスタディ」や長期休業中の学習教室「わくわくワーク」を主催し地域人材を学習ボランティアとして活用する。

子どもの居場所づくりとして「さくらっ子広場」の運営やイベントの実施を行い児童の健全育成を図る。



## 活動の特徴・工夫

### 熟議により、市への働きかけが実り、学童保育所の校内移転が実現

長年の懸案事項だった、学童保育所の校内への移転が決定し、令和4年度内に工事が実施され、令和5年度当初より開所することになった。熟議と市への働きかけの成果が実った。

### 放課後補習教室「わくわくスタディ」 夏休み学習教室「わくわくワーク」

毎週火曜日の放課後、基礎・基本的な学習の定着が必要と思われる児童を指名し、「わくわくスタディ」を実施。校内の学力向上委員会と連携し、学力定着のためのプリント等を活用し、基礎的内容の定着を図っている。地域の学習ボランティアが児童の学習のサポートを行っている。夏季休業中も数日間、学習習慣定着のため「わくわくワーク」を開く。小中一貫教育の一環として、第一中学校の学習部の生徒を学習ボランティアとして活用している。

### 放課後子ども教室「さくらっ子広場」

毎週水曜日・金曜日の放課後「さくらっ子広場」を開催。長い時間思い切り遊べる場として校庭を開放している。学習アドバイザーのボランティアによる宿題や学習のサポートを行っている。

### 保護者の会主催のイベント「八小まつり」の共催

子どもたちが楽しめるイベントの企画運営にレク協会会長の学運協委員が協力し、楽しいイベントを実現させた。

### 漢字検定の運営

年1回、地域や保護者ボランティアの協力を得て実施している。毎回約60名の受検者があり、家族で挑戦する姿もみられる。

### 教職員との懇談で挙げられた改善意見の実現

教職員との懇談の場を設け、教育環境施設改善の意見が出され、学運協の働きかけにより、早期にトイレの洋式化の工事が実現した。





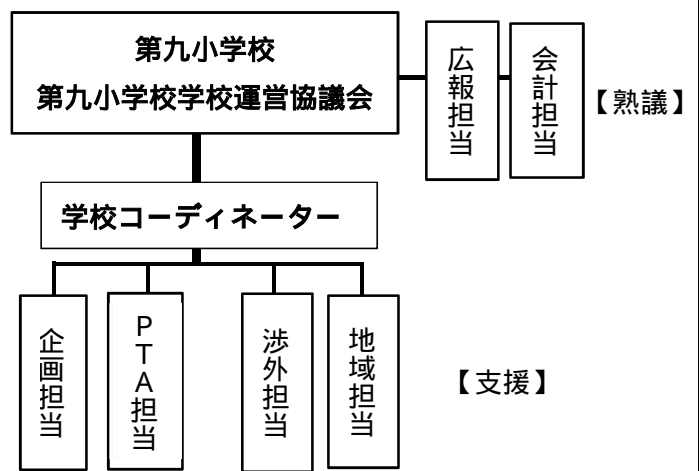
## 活動の目的・概要

地域の願いを学校運営に生かしながら、地域と学校とが強い連携で子どもたちの健やかな育成を目指す。

学校運営協議会、地域運営学校の理解促進のため、イベントの開催を通じて理解を広げていく。

学校運営協議会や地域の方々の協力を得て、補習教室を実施し、子どもたちの学力向上を目指す。

- コロナ禍での感染対策の徹底と可能な限りの学校行事の実施について協議し、学びを止めない学校教育を目指す。



## 活動の特徴・工夫

### 「職業体験」

学校運営協議会委員による、6年生対象の職業体験によるキャリア教育を実施している。地域のゲストティーチャーによる3種の職業の説明を受け、将来への展望を描く機会となっている。この取組が定着しつつあり、今後はさらに地域力を活用した体験型授業の取組を多くの学年で企画・実施していく。



### ○「音読だいく」

教員のおすすめの詩を集めた冊子「音読だいく」を全児童に配布し、詩に親しみ、声を出して音読する活動を行っている。

学力向上の取組の一つとして、この取り組みを学校運営協議会と連携して実施し、教員だけでなく、委員の方々に子どもたちの音読聞いてもらった。たくさんの大人に聞いてもらえることが励みになり、すすんで取り組む子どもが増えた。また、地域の方々に子どもたちの頑張りを見てもらうよい機会となった。今年度は保護者、地域の方にも聞いてもらう機会を設定していく予定である。



### ○「わいがや」

コロナ禍で対面での活動が中止になり、保護者同士の関わりが減っている。そこで、保護者会前に子育ての不安や困りごとを自由に語り合う「わいがや」を開催した。学校運営協議会の委員も参加し、保護者の方の不安や悩みを聞いたり、アドバイスや体験談を話したり、わいわいがやが楽しい時間となった。参加した保護者からは悩みを相談できてよかったなど好評であった。今後は少し方法を変えながら、継続して行っていく。



### ○「漢字検定」

1月28日(土)に保護者の有志と学校運営協議会主催で漢字検定を実施した。多くの子どもたちが申し込み、受検した。参加した子どもたちは学校でも空いた時間に進んで漢字練習をなど、当日に向けて努力していた。漢字の定着とともに主体的に学ぶ姿が見られた。今年度も継続して行う予定である。

### ○150周年記念「河津桜植樹祭」

2月17日(金)校庭の東側に150周年記念として河津桜を植えた。卒業する6年生が代表で植樹祭に参加し、一人ひとり土をかけ、大切に育てることを誓った。学校運営協議会及びパパ友の会の方々の協力により、第九小学校に新しい桜を咲かせることができた。

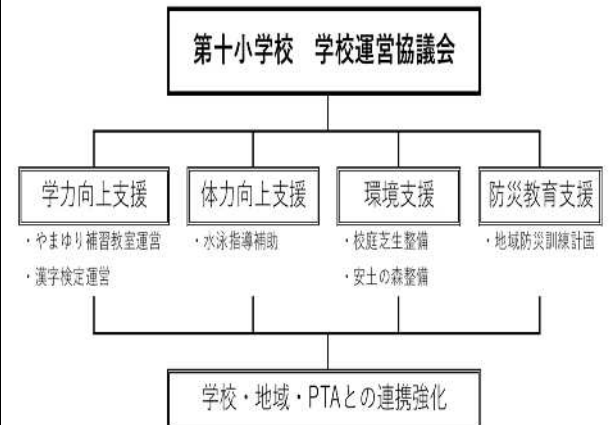


## 活動の目的・概要

第十小学校の目指す学校像である、「学校・保護者・地域社会が三位一体となり、子供と一緒に育てる質の高い教育活動が展開される学校」になるために協力していく。そして、教育活動の改善のための具体策を話し合い、学校と協働しながら、学校教育目標「確かな学力、豊かな心、健やかな体」の実現を目指す。

学校運営協議会を年8回行い、学校経営課題について改善に向けての方向性を熟議し、具体策の実施を推進する。

地域運営学校を平成30年開設後5年間で、組織と運営の更なる基盤を作る。



## 活動の特徴・工夫

### 学校運営協議会での協議に関すること

- ・震災等の大規模災害による避難所運営に学校運営協議会が積極的に関わるべく熟議を行った。
- ・学力向上の取り組みとして「放課後補習教室」の実施に向けて協議を行った。  
学級担任と連携し、ニーズを的確に把握したうえで実施する計画を立てたが、感染症対策の限界から実施することはできなかった。
- ・学力向上の取り組みとして「漢字検定」の実施に向けて協議を行った。
- ・単年度学級編成の実施について熟議を行い、全学年で学級編成替えを行うこととした。

### 教育活動に係る支援及び地域と連携した取組に関すること

#### 学力向上支援

- ・平成30年度から、学校運営協議会が主催・運営し、学校を会場として漢字検定を実施している。学年末に行い、151名が受検した。コロナ禍の感染症対策として1教室あたりの受験者人数を減らし、その分保護者や学生の運営ボランティアを募ることで実施することができた。

#### 体力向上支援

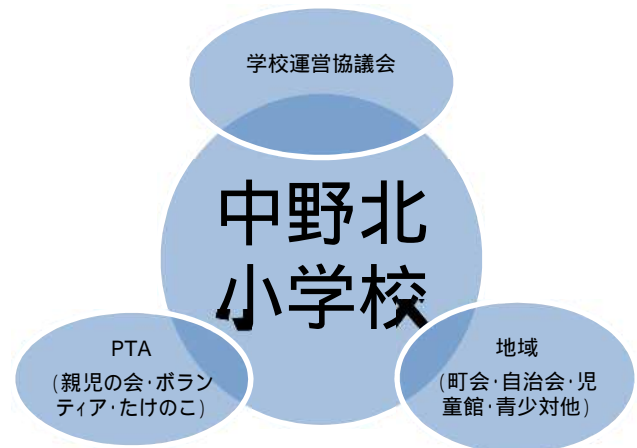
- ・水泳指導の充実のため、2学級単位の指導に、安全管理員として1名を配置している。学校コーディネーター（学校運営協議会委員）がその配置運営を行った。

#### 環境支援

- ・安土の森の充実のため、町会長及び育成指導員（ともに学校運営協議会委員）が、稲を提供して下さる協力者を斡旋した。
- ・夏休みに2回、学校運営協議会の働きかけにより、地域の方々と教職員、保護者が一体となり、芝生の整備を行った。

## 活動の目的・概要

“みんなが輝ける学校”「なかきた」の創造地域の誇りとなる学校を実現するため、中野北小学校に関わる全ての方・地域の全ての方が「中野北小学校」の話題で笑顔になり、子どもたちをみんなで育てる“みんなが輝ける学校”「なかきた」の創造を目指す。



## 活動の特徴・工夫

### 学力向上の取組



本校では学力向上の取組として「わからない子をそのままにしない」丁寧な個別指導を実施している。その中の一つである水曜日の放課後開催の「中北ベーシック」、夏季休業中開催の「中北サマースクール」では、学校運営協議会委員を通して地域で学習ボランティアを募り、より多くの指導者が入ることで子どもたちに「わかる喜び」を実感させている。

### 放課後子ども教室「たけのこ」

毎週火曜日と木曜日の放課後と、各学年の保護者会の時の放課後に、たけのこ推進委員(安全管理員)の方々が、子どもたちの遊びや安全を見守っています。



### 地域人材の活用



本校の体力テストにおける課題の一つに挙げられる「投げる力」を伸ばすために、学校運営協議会委員の紹介で地域の野球チームのコーチによる「投げ方教室」を行った。子どもの能力に応じた丁寧な指導を受け、体力テストではその成果を発揮することができた。



## 活動の目的・概要

## 「地域との連携」

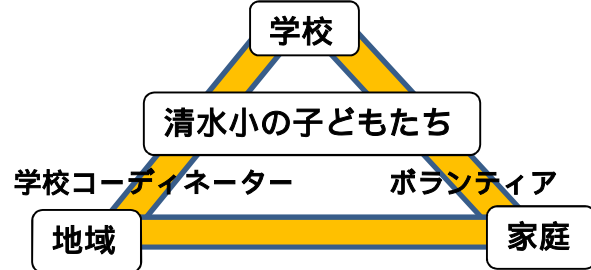
学校と学校運営協議会が連携して、地域愛を育てる活動の充実を目指す。学校近隣住民など、地域の多様な方々と連携をとり、「自分たちは学校を支えている」という意識の創出を狙いとする。

## ○「学力の向上」

学習の習慣化を図るために、漢字検定、算数検定を行い、家庭での学習機会の創出につなげる。

子どもをど真ん中にして、学校、保護者、地域がかかりあえる学校をめざして

## 清水ふれあいコミュニティ



## 活動の特徴・工夫

## 「地域との連携」

- ・ブラスバンド部の活動支援においては、学校運営協議会委員自身がブラスバンド部の演奏を実際に鑑賞して協議できるようにと「音楽会」において委員が鑑賞し、演奏の様子を体験する。年間の活動報告を受け、ブラスバンド部の活動について、地域行事及び学校内での演奏機会を得ることで、地域との結びつきを誘引することができるようになってきている。
- ・学校コーディネーターの紹介により、地域人材の登用をいくつかの単元において行えるようになってきた。滝山城跡保存会や、地域の農家や養蚕農家などが挙げられる。5年生の総合における稲作学習では、年間を通して、地域の農家の方が講師として、実際に児童に田植えや稲刈りの指導を行う。

## 「学力の向上」

- ・学力向上に向けた対策として、家庭学習の習慣化、目標達成である「合格」という結果の成功体験を得るために、「漢字検定」「算数検定」を清水小学校で実施することにした。11月に算数検定、2月に漢字検定を行い、それぞれ全児童の1割程度の児童が参加し、どちらも9割が検定級を合格することができた。運営者・試験官それぞれ清水小学区や他の地域からもボランティア参画し、実施することができた。今後、さらなる受検者数や回数の増加を図れるようにしていく。

地域とのつながり、学力向上の取組は学校単独で行うのではなく、地域の協力者をあらたに創出する機会をつくるようにしていく。持続可能な取り組みで習慣化し、効果を上げていくようにしていく。



## 活動の目的・概要

『楽しい学校』・『みんなの学校（地域とともにある学校）』を目指し活動する。

大きく変化する環境や社会の中で、SDGs、多様性を尊重した人権教育、児童・教職員・保護者・地域住民の皆が、自ら考え行動できる思考力・判断力・表現力を協働しながら育み達成していく。

- 1 学校内及び周辺の安全・防犯・防災体制を再確認する。
- 2 地域住民や保護者、近隣の小中学校に対して、学校の情報を積極的速やかに提供しながら、より良い関係性を提示できるようにする。

## 大和田小学校 学校運営協議会

## 校内支援

学習支援の充実  
感染症対応支援

## 校外支援

地域交流  
地域防災  
近隣小中学校連携

## 活動の特徴・工夫

## 大和田っ子ガーデン

プロのガーデナーと一緒に、学校の美化活動をしながら、PTA 会員や地域住民の方々と交流を図り、ガーデニングの知識を学び、心豊かな子供たちが通う地域の安全を守る。



## 大和田っ子農園

多摩・八王子江戸東京野菜研究会代表の農家の方から、SDGs をともに考え、子供たちの未来に向けて、理科園にて、無農薬で遺伝子組み換えのない種を次世代に引き継ぐ知識を学ぶ。



## ○漢字検定

学校主催から地域人材を活用しながら学運協主催に移行した。

## ○大和田っ子チャレンジプログラム

地域人材による交流会や『ふれあいコンサート』に参加することを通してのキャリア教育の充実を図った。

## 地域交流

地域運営学校の周知により、PTA、おやじの会、町内会、地域教育推進課等の機関の目を学校に向け連携を図ることで、地域と学校の協働体制を強化し、お互いが支えあえる関係を創出した。

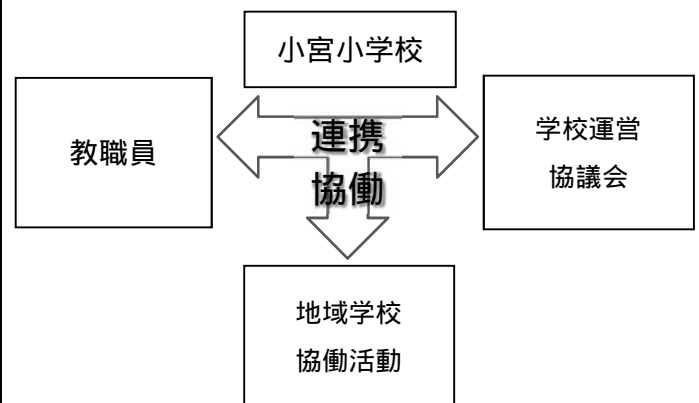
地域の保育園の年長のために、学校の見学会を実施した。





## 活動の目的・概要

「地域運営学校」として、「地域とともにある学校」を目的に、各種の取組、放課後学習支援、学校施設等の改善を検討し、「地域学校協働活動」と連携してその実現を目指して活動している。



## 活動の特徴・工夫

学校運営に関する協議

- ・学校の感染対策の具体的な取組
- ・コロナ禍における学校行事等の在り方（セーフティー教室、学校説明会、運動会及び学芸会、給食、委員会活動、道徳授業地区公開講座など）
- ・委員と教職員のコミュニケーション向上のためのチームビルディング活動の検討・実施

地域のボランティアと連携した放課後補習教室の運営

- ・放課後算数教室の運営及び実施  
月3回程度、2年生～6年生を対象に、放課後算数教室を実施している。算数ボランティアの方々の協力もあり、楽しく学習を進めている。現在、100名を超える児童の在籍と、6名のボランティアで運営することができている。

ダンス講習会の実施

- ・地域在住のアーティストを招へいしてのダンス講習会  
「ぼくらの八王子」を毎年実施している。

漢字検定の準会場運営と実施

- ・学校運営協議会が主体となり、保護者からボランティアを募り、検定を運営している。令和4年度の検定には、100名に迫る応募があった。冬の一大行事として定着している。開催時期を変更して行った今年度は、実施後のアンケート結果を来年度以降の実施時期の検討に生かしていく。また、保護者の検定参加希望が多いことがわかり、前向きに検討していく。

プログラミング指導のための専門講師招へい

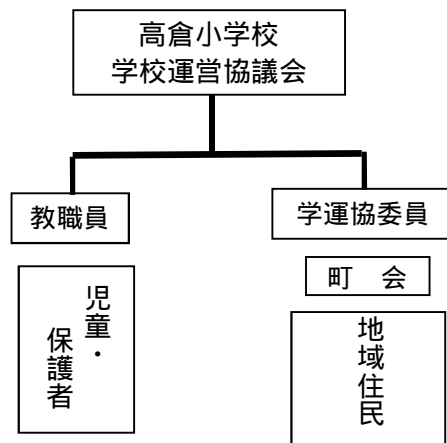
- ・「scratch」によるプログラミング学習を全学年で実施。継続した取組とすることで、令和4年度のU16プロコンにて最優秀賞を含む入賞者を複数輩出するなど成果をあげている。

## 活動の目的・概要

学校・家庭・地域の役割を再確認し、それぞれの立場で児童のために何ができるか熟議を重ねる。

○学校と地域が熟議を重ね、育てたい児童像を共有し、「チーム高倉」としての力を高める。

○児童が自己肯定感や自尊感情を高められるようにするために、児童の個性や能力を伸ばし、活躍できる場を企画する。



## 活動の特徴・工夫

### 漢字検定

- ・「児童の学力を向上させたい」、「目標に向かって努力する態度を育てたい」との思いで、平成27年から学校運営協議会が主催して漢字検定を行っている。
- ・年間2回（11月と2月）金曜日の放課後に実施している。
- ・学校運営協議会が運営にあたり、試験監督には保護者や地域住民のボランティアも参加している。
- ・児童の受検者は毎回70人前後である。ここ数年休止していたが、児童だけでなく家族の受検も再開していく。地域住民にも門戸を開く等、学校を拠点とした地域活動を目指している。



### ニュースポーツ

- ・学校運営協議会が中心となって、土曜日の「ニュースポーツ体験」を開催している。令和4年度は、6月、12月、2月の年間3回実施した。
- ・「ポッチャ」、「キンボール」、「ラダーゲッター」等のニュースポーツは、誰でもルールを理解でき、運動が苦手な人でも取り組める。ニュースポーツを通して、児童、保護者、地域住民が、ともに楽しい時間を過ごし、チーム高倉としての一体感が生まれる。
- ・PTAや地域住民も運営に参加している。児童は道具の関係で事前申込制にしており、各回50人前後が参加している。毎回参加している児童も多い。



### 放課後子ども教室における「学習スペース」

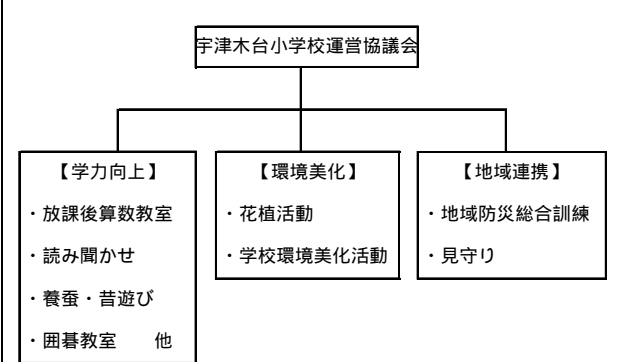
- ・放課後子ども教室の一角に「学習スペース」を設けている。コンスタントに児童が来て、自主的に学習を進めている。友達と一緒に学習し、地域の方に教えていただくなど、寺子屋的な空間となっている。
- ・放課後児童支援課の働きかけにより、隣接する都立八王子東高等学校の生徒ボランティアの活用を、令和4年度から開始している。高校生と関わることを楽しみにしている児童も多い。



## 活動の目的・概要

本校の学校教育目標である「よく考え、すすんで学ぶ子・協力し、思いやりのある子・体をきたえ、ねばり強い子」を、学校・保護者・地域の連携と協働で達成していく。

学校運営協議会は、「学力向上」「環境美化」「地域連携」の3つの柱とし、未来を担う子どもたちの育成のために、地域と学校が一体となって様々な教育活動を行う中で、子どもたちにいろいろな体験を積み重ね、豊かな心と健康な体を育むことを目的として活動する。



## 活動の特徴・工夫

### 「学力向上」の取組

コロナ禍で見合わせていた、放課後算数教室「わくわく算数」が復活する。毎週月曜日の放課後、3年から6年生の希望者を募り、3つの教室に分かれて1時間実施。学習内容は、東京ベーシックドリルの診断シートの結果を踏まえて、東京ベーシックドリルを中心に学習の定着を図るよう指導している。指導者は、学校サポーター、保護者、地域の方々が10人体制で指導にあっている。

図書ボランティアによる読み聞かせを月1回、中休みに実施。興味のある子どもたちがそれぞれの場所に集まり、お話を聞いている。6名のボランティアが活動をしている。

3年生は、外部講師を招き、養蚕についてのお話や繭の糸を使っての作品作り、昔遊びの体験を通して日本文化の良さを学ぶ機会となっている。

### 「環境美化」の取組

学級園の手入れや花壇に球根を植えるなどの活動を行っている。また、トイレや廊下、正門の壁面のペンキ塗りの活動も行っている。活動にあたって、地域の方やPTAが呼びかけて参加者を募り、本校の児童や保護者、教職員が活動に参加している。

### 「地域連携」の取組

土砂災害の二次被害の訓練では、学運協の宇津木台中央自治会防災担当の方と連携を取り、二次避難を行ったり、講話を聞いたりする。

登下校や放課後・休日の公園等での見守りを地域のボランティアの方がパトロールを行っていただいている。



読み聞かせ



わくわく算数



## 活動の目的・概要

児童の「学力の向上」「体力の向上」「地域行事への積極的な参加」を目指す。

地域資源（人材、自然、施設）の発掘、活用を図り、地域と一体となった学校作りを進める。

学校運営協議会を核として、「安全・安心、地域連携・地域防災部会」「子育て支援部会」「交流活動・伝統文化、学び・体力部会」の3つの専門部会を設置し、学校の分掌組織やPTAのボランティア組織と連携させた協働的な活動を行う。

## 横山第一小学校運営協議会

## 学校支援地域本部

## 安心・安全部会

地域防災訓練  
登下校の見守り  
通学路安全点検

## 子育て部会

学校と家庭の連携推進事業  
学校サポートチーム  
放課後子ども教室

## 学び・体力部会

漢字検定  
放課後学習教室  
親子デイキャンプ

## 活動の特徴・工夫

漢字検定（10月・2月）

「学び・体力部会」が中心となって、年間2回漢字検定を行っている。子どもたちの自主的な参加は、漢字学習への動機づけや、漢字の習得への意欲につながっている。

親子デイキャンプ（9月）

親子デイキャンプでは、理科実験教室など楽しい活動を実施している。学運協委員を始め教職員、地域ボランティア等が参画し、普段できない体験を提供している。学びが深まるだけでなく、地域の方とふれ合う機会となっている。



理科実験教室



学校運営協議会（1回/月）

放課後子ども教室（年間約180回）

「学び・体力部会」の放課後子ども教室推進委員会で、子ども達の放課後の居場所づくりをしている。毎日の学習教室を始め、児童館や地域のスポーツ推進委員、地域学習ボランティア等



と連携し、行事を企画するなど、子どもたちを地域で育てている。

地域防災会議（年間2回、地域防災訓練12月）

「安全・安心部会」が中心となり、地域の町会・自治会長や防災担当者と防災会議を行っている。そして、学校を避難所とした地域防災訓練を実施している。



## 活動の目的・概要

学校教育目標(思いやりのある子、よく考える子、体をきたえる子)、学校経営方針の具現化を目指し、児童にとり安心して安全で居場所のある学校づくりを実現する。  
 「花と緑と笑顔の学校」をスローガンとし、地域も、保護者も、教職員も誇れる学校づくりを実現する。  
 「地域の子どもは地域で育てる」学校・保護者・地域が連携し、児童の健全育成に努める。  
 地域の願いを学校運営に生かす、地域に開かれた学校づくりを実現する。  
 地域の方々を先生として迎え、地域と連携した教育を推進する。



・学校運営協議会開催(年7回)  
 ・学校だよりにより毎月「学校運営協議会」掲載  
 ・地域運営学校だより発行(協議会終了後)  
 ・活動内容、協議会の内容等報告

## 活動の特徴・工夫



## &lt;顔合わせ&gt;

新年度、開催時に教職員との顔合わせ会を実施している。互いの顔と名前を知り、信頼関係を構築している。

## &lt;協議会&gt;

議事進行が滞りなく進行するよう最新の資料を迅速、的確に提供し、情報共有を図る。委員も活発に発言している。

## &lt;活動紹介・発信&gt;

校内の情報掲示板や学校ホームページ、地域運営学校だより等で学校運営協議会の活動内容を発信している。

## &lt;学校評価アンケート&gt;

学校評価アンケートを地域住民に配布し回収している。いただいたご意見を教職員で共有し教育課程に反映させている。



## &lt;授業参観&gt;

学校運営協議会の開催日は毎回、授業参観を実施している。児童の様子を直接、見る機会を設け本校の課題等を明確にしている。郷土学習の授業を設定するなど、八王子市が掲げる郷土学習の大切さを委員と一緒に考えている。

## &lt;道徳授業地区公開講座&gt;

家族心理士等を講師に迎え家庭教育に関する講座を開いている。地域と家庭と学校で道徳的価値について考えている。

## &lt;放課後子ども教室&gt;

あそびの広場が開催できない中、特別講座を開設し、委員などが見守りをしている。児童と関わりが深まる。



## &lt;地域人材に協力いただく教育活動&gt;

地域の方をゲストティーチャーに迎え、得意分野を生かした授業を実施している。また、校外での活動などの際に保護者に児童の見守り等を協力いただき、安全な活動を行っている。地域全体で子供を育てていくという思いを共有している。

## &lt;安全ボランティア&gt;

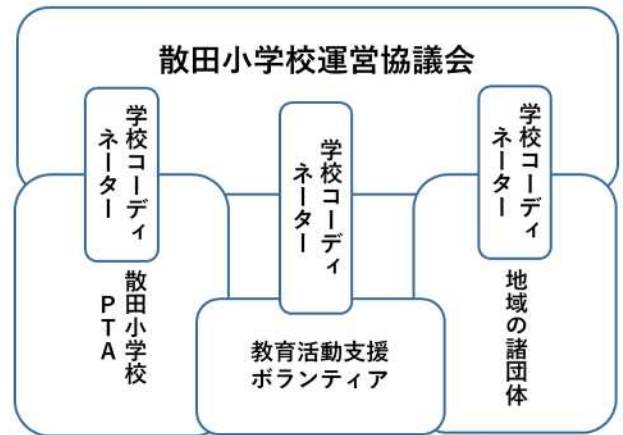
児童の登下校の見守りを毎日、行っている。児童は安全ボランティア(含:委員)の方々と顔を覚え合い、街中も気軽に挨拶している。「地域の子どもは地域で育てる」児童には「いつも見守られている安心感」が育まれ、地域を誇りに思う気持ちが育つ。



活動の目的・概要

令和4年度の目標と取組の概要

- 日常生活に必要な国語や数量・図形等についての知識・技能の定着（令和3年度より継続）
- 地域と協働した体験的な活動の充実（新規）
- 本校の特色ある教育活動について、持続可能な実施方法の工夫
- 学習支援を含めボランティア組織を再構築  
児童の健全育成と安全安心の学校づくりの推進（令和3年度より継続）



活動の特徴・工夫

令和4年度の取組から

持続可能な「特色ある教育活動」の実施

「ふるさと 散田・八王子」を感じる地域の教育資源を活用した郷土学習は、散田小 2020 レガシーにも位置付けられているが、八王子市が日本遺産の認定を受け、ますます価値ある取組となっている。これらの教育活動の持続的な実施のため、人材のコーディネートや運営上の助言等を行っている。



教育活動支援ボランティアの再開と組織の再構築

コロナ禍により、学校におけるボランティア活動は、2年間ほぼ休止の状態となっていた。活動経験のある保護者等が少なくなり、以前のような組織や活動形態を維持することは難しくなっていた。活動を再開するにあたって「やりたい人ができることをする」組織となるように学校コーディネーターを中心に組織の再構築をしている。



学校経営計画の評価の実施

本校の学校経営方針には、取組指標と成果指標が示されている。これらの指標に基づき、授業参観、各行事への参加、各種調査結果を踏まえて評価を行い、学校経営や運営に関する助言を行っている。

日常生活に必要な国語についての理解や使い方、数量や図形などについての基本的な理解や数理的な処理の仕方の定着を図り、児童が習得目標を達成できるようにする。	①対象児童を把握し、国語の授業、散田タイムを中心に、国語の知識・技能に関する内容を繰り返し指導し、市定着度調査、学期末のワーク等により定着度を確認する。	4	ほぼ計画通り実施した	4	改善した対象児童の割合が80%以上だった
		3	70%以上程度計画通り実施した	3	改善した対象児童の割合が60%以上だった
		2	60%以上程度計画通り実施した	2	改善した対象児童の割合が40%以上だった
		1	計画的に実施できなかった	1	改善した対象児童の割合が40%未満だった
	②対象児童を把握し、算数習熟度別指導(ATの活用を含む)、散田タイムを中心に、算数の知識・技能に関する内容を繰り返し指導し、市定着度調査、ペーシックフルール診断シート等により定着度を確認する。	4	ほぼ計画通り実施した	4	改善した対象児童の割合が80%以上だった
		3	70%以上程度計画通り実施した	3	改善した対象児童の割合が60%以上だった
		2	60%以上程度計画通り実施した	2	改善した対象児童の割合が40%以上だった
		1	計画的に実施できなかった	1	改善した対象児童の割合が40%未満だった

## 活動の目的・概要

- 学校だけでは実施できない行事を、地域、保護者の方の協力により行うことで、子どもたちには、地域の一員としての自覚や愛着心を育て、長房地域を誇らしく思う心を育てることができる。
- 農耕体験・食育の学習や地域活動への参加等を通じて、感謝の気持ちをもたせることができる。
- 放課後子ども教室(すまいる)等を通じて、地域の方との触れ合い、コミュニケーションの実践力・体力を育てることができる。
- 地域、保護者の方がボランティアとして様々な活動で来校する機会が増える。そのことにより子どもたちの学校での様子を見てもらうことができる。

下記の4つを軸に活動

- 1 スクールサポート  
広報誌の発行、図書室整備、読み聞かせ、箏・和太鼓、算数教室(学習支援)、人形劇
- 2 イベント  
端午祭り、地域の夏祭り、いちょう祭り、川の学習  
焼き芋大会、どんぐり笛づくり、昔遊び
- 3 ボランティア  
安全ボランティア、花壇ボランティア、  
盆踊りボランティア、スクールファーム活動
- 4 長房ファーム農園活動(通年)で収穫した野菜は給食の食材として提供したり、児童・教職員・地域での活動の際に調理したりする。

## 活動の特徴・工夫

## 長房小の学校農園

校庭に隣接する商業施設の土地の一部を『長房ファーム』としての位置付けで、約140坪を借り受け、令和3年5月1日から引き渡しを受けて、学校(教職員・児童・保護者)・学校運営協議会・地域が一体となって活動しています。夏野菜(ナス・トマト・キュウリ)の収穫、秋にはサツマイモが採れました。秋晴れの中、まずは低学年となのはな学級の子もたちで『いもほり』をしました。

## 放課後子ども教室「すまいる」

放課後子ども教室「すまいる」には毎日たくさんの子もたちが元気いっぱい過ごしています。子どもたちは地域の皆様に守られた恵まれた環境の中で放課後の時間を楽しく過ごすことができます。



## 1・2年生「昔遊び」

1・2年生が地域・ボランティアの皆様にご教授いただきながら「昔遊び」に取り組みました。今回は『だるま落とし・お手玉・けん玉・こま・ブンゴマ』の遊び方を教えていただきました。

## どんぐり笛づくり

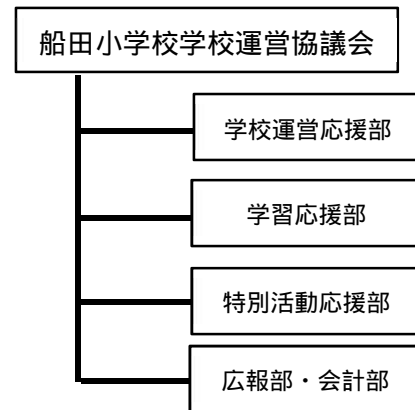
毎年度12月に学校運営協議会委員の方々が「どんぐり」を集めてくださり、完成された「どんぐり笛」をプレゼントしていただきました。子どもたちは、短く切ったストローを使い、夢中になってきれいな音を出すことができました。



## 活動の目的・概要

経営方針である「児童が『学びたくなる学校』、保護者が『通わせたい学校』、地域が『誇りに思う学校』、教職員が『勤めたい学校』」を、学校・家庭・地域の協働により達成していく。  
 地域住民や保護者に対し、運営目標や協議の結果を積極的に情報提供していく。

- ・会合を年12回行い、学校・家庭・地域社会が連携した学校づくりを推進する。
- ・学力向上に向けた課題や児童の実態（家庭環境を含む）を学運協で共有し、課題解決に向けて協議する。
- ・学習支援ボランティアや環境整備ボランティア等の活動を充実させるための環境づくりを行う。
- ・学習活動の充実（授業中の子どもたちの支援）のために、地域人材を活用した学習支援ボランティアに取り組む。



## 活動の特徴・工夫

### 「地域との連携強化」に向けて

- ・学校運営協議会では、「学校を核として地域のよさを伝える」ために、協議を重ねてきた。地域の方と連携し、子どもたちや保護者に向けての企画を立案した。令和4年度は、「座禅体験」「落語体験」「かたくりを見る会」を企画し、実施した。



### 学校運営応援部

児童の学習支援及び校内環境整備（学習支援ボランティア及び校内環境整備ボランティア）

- ・図書ボランティア  
 学校司書、図書担当教員らと連携し、図書館整備（蔵書整理・廃棄・掲示物・表示等）や読み聞かせ等を行い、児童の読書環境の充実に努めている。
- ・園芸ボランティア  
 学期、夏季休業日を通して校内環境整備事業として花壇の植栽等園芸ボランティアが活動し、校内に花や植物があふれる環境を整備している。
- ・学校安全ボランティア  
 登校時や学校行事において児童の見守りを行い、安全を確保している。児童が地域に守られているという安心感を持ち、地域の一員としての自覚や地域に愛着がもてるようになる。
- ・ICTボランティア  
 一人一台端末の導入サポートや運動会動画配信など、ICT関連のサポートを行う。

### 学習応援部

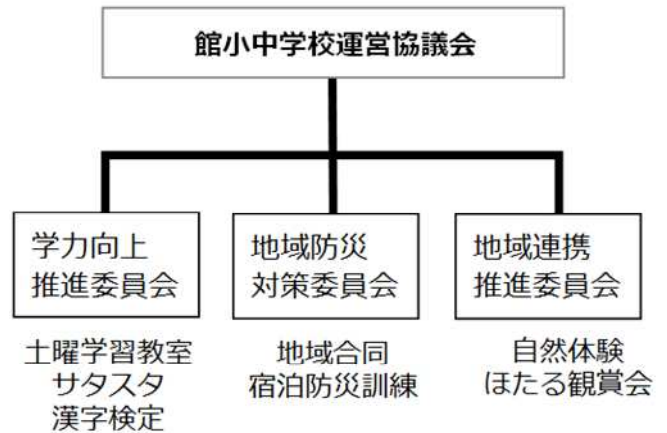
- ・夏季休業日当初の2～3日間を補習学習期間と設定し、学習ボランティアの力で補習学習の補助をしている。
- ・夏季休業中に学校運営協議会主催の漢字検定を行っている。令和元年度より毎年実施している。年々参加者は増加し、100人近い児童、保護者、地域の参加があった。運営事務の為にボランティアを地域・保護者をお願いして、安全に効率よく運営している。
- ・地域人材の発掘に伴う学習支援の一環として、令和2年度より「星空を見る夕べ」を開催している。天文学に造詣の深い地域の方の協力で、夏季休業中に実施し、親子で夏の夜空の星々を観測することができた。令和4年度は、新たに「かたくりを見る会」を開催した。「城山手親林の会」にご協力いただき、地域の希少な植物を観察することができた。





## 活動の目的・概要

平成22年度以前は、館小・館中それぞれに学校運営協議会が設立されていた。平成23年度の小中一貫校設立に伴い、学校運営協議会も統合して運営している。本会は、国立教育政策研究所によるコミュニティスクールを支える学校運営協議会の4つの類型のうち、「総合型」を目指し、地域に開かれた学校、地域に支えられる学校の実現に向けて、一層の力を注いでいる。毎月の協議会では、教育活動や行事などの様子をスライド上映するなどして、共通理解や報告、連絡を大事にして進めている。



## 活動の特徴・工夫

### クリーン作戦

- ・年に3回、クリーン大作戦と銘打って、地域の清掃を行った。たくさんのゴミが集まり、地域の歩道などがとてもきれいになった。



### サタスタ・漢字検定（小学部）

- ・2月に実施の漢字検定での合格を目指して、9月から月1回土曜日にサタスタ（サタースクール）を開催し、学習の時間を設けた。毎回たくさんの児童の参加があり、ボランティアの方々も、学校運営協議会やPTA、保護者の方々など、たくさんのご協力があった。



### 花いっぱい運動

- ・本校舎、分校舎どちらもたくさんの花が咲き誇っていて、地域の方々からも楽しみにしているというお話をいただいている。

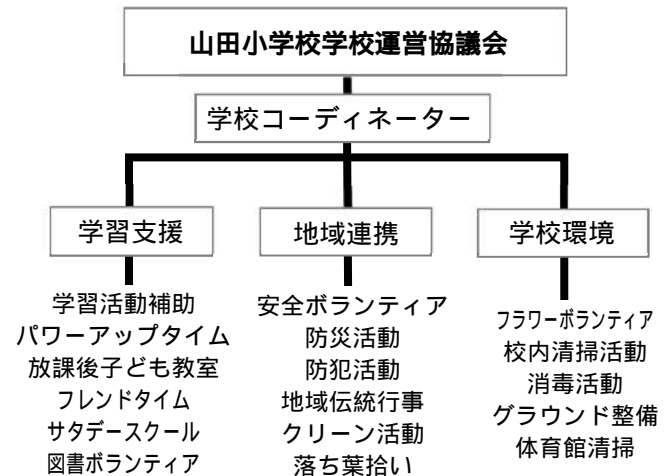


## 活動の目的・概要

学校の教育目標の具現化のために、地域・保護者・学校の連携を深め、より地域に開かれた学校を目指し、地域の将来を担う子どもたちを地域とともに育てていくためのよりよい学校運営を推進する。

地域と学校が共に手を携え、教育活動の質的向上を目指す。

地域・保護者・学校が一体となって多様な学校支援活動や放課後支援活動を行う仕組みを構築する。



## 活動の特徴・工夫

### 防災体験教室

本活動は、サタデースクール事業の一環である「災害体験企画」として、申込者だけで実施していたが、平成24年度からは、学校の防災教育の一つとして位置付けている。全校児童に対し、災害時において自らの命を自分で守り、また地域の一員として他者を守る方法について体験活動を通して学ぶなど、自助・共助の意識を高めることをねらいとして行っている。毎年9月中旬の学校公開日に実施しており、内容を低学年、中学年、高学年で変えて、様々な体験を行えるよう工夫している。当日は学校運営協議会、PTA本部に加え、八王子消防署、八王子市役所、八王子市赤十字奉仕団の協力のもと実施している。

### 学校環境整備

令和元年度から学校提案型予算を活用して、学校運営協議会とPTA、地域が連携して、児童が使える環境の再生をめざして整備を進めている。また、グラウンド整備や体育館清掃なども定期的に行っている。

### フラワーボランティア活動

平成29年度から、保護者のボランティア活動の一環として始まり、ガーデニングに詳しい地域の方の協力を得て、花の美しさを見たり感じたりできる学校環境の整備に取り組んでいる。東門から西門に伸びる通路は「山田小フラワーロード」と名付けられ、色とりどりの花が咲き、美しさを途切れることなく感じられるよう工夫されている。

### 山田小学校かるた

平成29年の「八王子市市制100周年」を記念して、「山田小学校かるた」を作成した。イラストは地域に住む方が作成した。児童や保護者、地域の方に、郷土のよさを感じてもらうため、地域や学校に関わる事柄をかるたにした。第3学年児童は八王子かるた、山田小かるたを使って郷土学習を実施している。また、令和元年度には地域の方に英訳をお願いし、英語版を作成、遊びを通して英語に触れることができるようになった。予防接種会場の待機場所に掲示し好評であった。



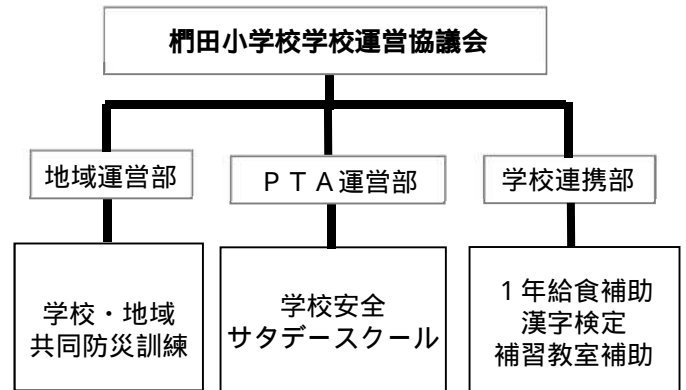
## 活動の目的・概要

教育目標における目指す児童像を「よく考える子・いつも元気な子・こころ豊かな子」とし、「よいこが創る楽しい学校」を合言葉に、学校・家庭・地域の協働により、その実現を目指す。

学校運営協議会を年 11 回行い、学校とともに家庭・地域社会が連携した学校づくりを推進している。

年間行動目標を「地域協働」とし、学校運営協議会を通じて、地域が教育活動に関わっている。

「学校・地域共同防災訓練」を毎年実施し、災害時の自助・共助・公助の精神を培う。



## 活動の特徴・工夫

### 学校・地域共同防災訓練（地域運営部）

- ・学校運営協議会、PTA役員、八王子消防署消防士、八王子消防団第9分団の協力のもと、平成24年度から隔年で実施。平成30年度から毎年実施する方向で運営している。
- ・令和4年10月15日（土）の学校公開の際に、6年生の総合的な学習の時間「梶田防災プロジェクト」と合同して開催した。協力してくださった地域の方々以外にも、参観に来校した保護者も参加した。会場には、6年生の保護者だけではなく、異学年の保護者も参加する様子も見られた。
- ・校庭、体育館合わせて11か所設置し、スタンプラリー形式で自由にブースを回る。以下、各ブース名  
「煙ハウス体験」「初期消火訓練」「ロープワーク」「AED救助・担架訓練」「通報訓練」「応急手当訓練」「各地区の防災訓練設備について紹介」「東浅川給水所について（応急給水施設）」「簡単に作成できる防災グッズについて」「避難場所紹介」「地震や火事からの身の守り方」「梶田防災プロジェクトの活動説明」



### 漢字検定（学校連携部）

- ・平成26年度から学校主体で平日の放課後に実施していたが、令和元年度より学校運営協議会が主体となって実施している。
- ・土曜日の実施として、保護者等ボランティアを募り、新たに運営が始まった。当日、教員の有志も支援に入るが、保護者等ボランティアをさらに募集し、地域で運営していくという目標をもっている。
- ・令和4年度は本校の児童140名近い児童が受検をした。基本的な感染症対策と共に、受検者の動線などにも配慮し、安心して受検できるように学校運営協議会、地域・保護者ボランティアの皆様と協力して実施することができた。

## 活動の目的・概要

経営施策の重点「みんなの子どもは、みんなで育てる」を学校・家庭・地域の協働により達成していく。  
 学校運営協議会を年 11 回行い、学校とともに家庭・地域社会が連携した学校づくりを推進する。  
 「子どもたちの知・徳・体の調和のとれた成長を目指す」ことを目標とし、学校運営協議会として協議を重ね、学校、保護者、地域が協力し、子どもたちの豊かな成長を支える。

～みんなの子どもは、みんなで育てる～

## 学校運営協議会

## 学校

緑豊かな環境  
を生かした特  
色ある教育

## 家庭

・緑が丘応援団  
・みどりっ子  
算数教室

## 地域

・地域の伝統  
・文化の継承

## 活動の特徴・工夫

## PTA主催の日本漢字能力検定に協力

緑が丘小学校では、毎年2回PTA主催で日本漢字能力検定を行っている。団体として登録することで、学校を準会場として使うことができる。普段から慣れている学校の教室で受検できるので、保護者や児童の負担を減らすこともできる。

令和4年度は、6月25日(土)と1月28日(土)に実施した。それぞれ、保護者も含め、38名と46名の受検があった。

学校運営協議会としても、漢字検定の取組を、児童の学習意欲につながる良い機会ととらえ、全面的に支援している。当日は、検定会場となる教室の掲示物はずしたり、目隠しをしたりするなど検定開始2時間前から準備を行った。また、受検前に児童が使う控室での見守りや試験監督なども務め、片付けまで当日の運営についてPTAを支援した。



## 学校行事のサポートやPTA・学校と協働した学力向上への支援

運動会では、開門前に並んでいる保護者への声掛けや、競技中、校庭と校門周辺の見回りを実施し、学校行事の支援に取り組んだ。また、令和4年度は、運動会と音楽会において受付を分担し、来校者の受付の案内・整理を実施した。

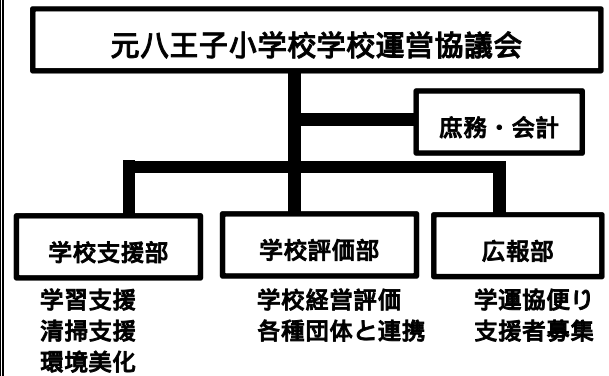
平成28年度から学校運営協議会主導のもと、保護者による「緑が丘応援団」を設立した。放課後補習の時間「みどりっ子算数教室」に採点等のボランティアとして参加し、算数の学習支援を行っている。また、高学年に実施している「みどりっ子算数道場」の様子を視察したり、校内研究の授業を参観したりするなどして、児童の学力向上を様々な方面から支援している。



## 活動の目的・概要

元八王子地区の将来を担う子どもたちの「社会的自立」に向けた成長を目指し、学力向上や人格の形成を図るための支援を行う。

めざす学校像、3つのき「来たくなる・規律ある・きれいな学校」の具現化に向けて、学校・家庭・地域の強力な連携において、学校支援事業を行う。様々な取組の中で、子どもたちの成長やその成果を振り返り、よりよい学校運営協議会の方向性・運営の仕方を定着できるように取り組んでいる



## 活動の特徴・工夫

### 学校運営協議会・PTCA主催「学び舎研修」

新学習指導要領について地域、保護者、教員が外部講師からともに学び、次代に向けて子どもたちに必要となる力を意識した教育を、学校・家庭・地域が協力・連携して行っている。

### はちっこボランティアを活用した学校支援活動

平成30年度から、学校支援の人材を地域から広く募集し、授業や朝学習、清掃活動等、普段の学校生活で子どもたちを支援している。

#### ・丸付けボランティア

ベーシックドリルや補充プリントの丸付け支援を実施している。

#### ・放課後子ども学習教室支援

放課後子ども教室主催の学習教室で、元八王子中学校の生徒ボランティア及び高学年児童による学習支援を行っている。

### 児童会活動や学校行事と連携した学校支援活動

#### ・校内美化活動

環境美化委員会と連携して、中庭の花壇に花を植える等の校内美化活動を行っている。(元八王子地区青少対と連携)

#### ・海外との交流支援(令和3年度は動画・手紙による交流)

アメリカのコロラド州にあるダン小学校と元八王子小学校の交流支援を行う。

### 保護者・地域協働型キャリア教育

子どもたちが主体的に自分の将来を考え、自立(律)した生き方ができるよう、「保護者・地域協働型キャリア教育」を進めている。地域人材と協働したキャリアガイダンスや職業インタビューを実施。

### 地域連携型学校支援組織「PTCA」の設置準備

#### ○放課後手作り教室

学校運営協議会、八王子市高齢者あんしん相談センターとの連携事業として実施。放課後に、地域指導者によるものづくり体験を通して、地域の高齢者と児童、保護者のふれあいの場をつくっている。

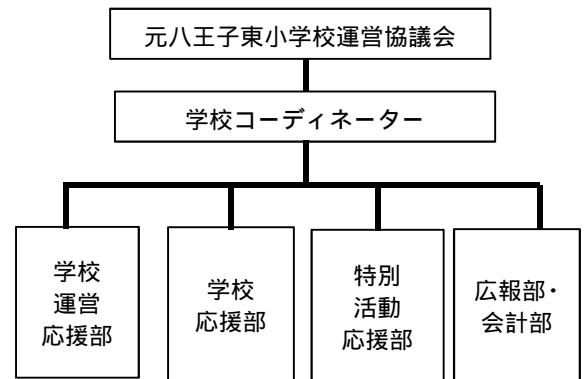




## 活動の目的・概要

将来、地域を背負っていける子どもたちを育てていくことを目的に、地域と連携した学力向上、自己肯定感の醸成、自他愛に満ちた子どもの育成について協議を重ねる。

学校が地域にできること、地域が学校にできることを考え、お互いを補完できるような活動を目指し、学校と地域が一体となって学校・地域の活性化を図るよう、様々な活動に取り組む体制を構築する。



## 活動の特徴・工夫

### 園芸ボランティア

学校環境の充実のため、園芸ボランティアの方が学校花壇への花植え活動を行っている。四季折々にきれいな花が彩られ、子供の豊かな情操を育てることにつながっている。



### 図書ボランティア

学校図書館の充実のため、図書ボランティアの研修会を毎学期実施し、図書の補修や図書室の掲示の装飾などを行っている。季節に合わせた装飾をすることで、楽しく、読書に親しみたくなる環境となっている。また、読み聞かせを行い、児童の読書意欲を高めることにつながっている。



### 東小スタディ

平成30年度から、週に1日放課後に、放課後子供教室「東小スタディ」を実施している。地域の方に学習ボランティアとして御協力いただき、それぞれの子どもの習熟に応じて基礎学力の定着を進める取組を行っている。一人一人個別のファイルを作成し、自身で取り組んだ足跡が振り返られるようにして、努力を続ける大切さを感じるとともに学力の定着につながっている。



### 漢字検定

漢字検定を夏と冬の2回実施しており、多くの子どもたちが参加している。漢字を学ぶ意欲を高めるとともに、基礎学力の向上につながっている。



## 活動の目的・概要

学校の教育目標の一つである「地域とともに歩む学校」の実現に向け、地域社会と学校の連携を促進し、「地域を愛する児童」の育成を図る。

学校・保護者・地域が連携して、有意義な教育活動を行い、生き生きとした子どもたちを育てる。  
自尊感情教育を育むために、児童の学力向上に寄与する。

上巻分方小学校運営協議会

学校コーディネーター

かみっこ教室  
放課後学習教室

各種ボランティア

地域自治会等

## 活動の特徴・工夫

### 児童の学力向上と自尊感情の育成

上記目標『(2) 自尊感情教育を育むために、児童の学力向上に寄与する。』を受け、学校運営協議会で熟議し、今年度も「漢字検定」を中心に行い、コロナ明けの次年度から「放課後学習教室かみっこ教室」の実施に向けて、熟議・検討を重ねることとした。

#### < 漢字検定 >

平成 29 年度より開始。本校の全児童から受検者を募り、漢字検定準会場として登録し、実施している。その試験官は、学校運営協議会委員が分担して実施している。

これまでに延べ 700 人以上の児童が受検し、そのおよそ半数が合格することができた。この合格率は各家庭での保護者の教育の成果である。そこで、学校運営協議会としては、合格証とともに漢字検定協会から送付されてくる表彰状に加え、独自の基準（受検回数、得点率、合格率等）で学校運営協議会会長賞、努力賞、校長賞等を新設し、より多くの児童が努力を賞賛され、自尊感情をさらに伸長するよう工夫して取組を進めている。

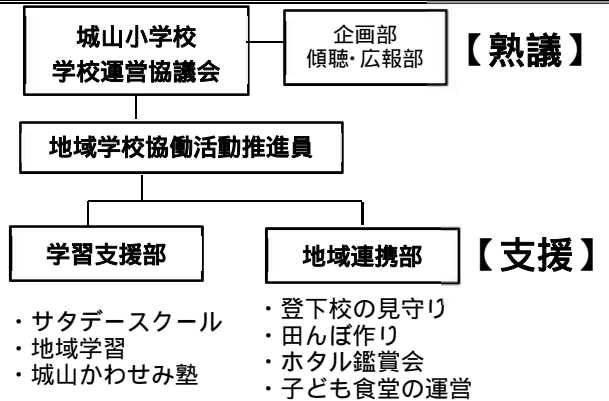
本校の児童の向上心がさらに高まるように図ったところ、回数を重ねるごとに受検者は徐々に増加してきている。今後ともこの取組を継続することで、児童だけでなく、保護者や地域住民等も含めた地域社会全体の意識の高揚と、自尊感情の醸成をさらに推進していくことを考えている。

## 活動の目的・概要

教育目標の「かしこい子」「やさしい子」「たくましい子」 みんなでのびる城山の子 を学校・家庭・地域の三者協働により具現化していく。

城山中学校とつながり、小中合同の運営協議会を各学期1回開催し、9年間を地域が見ていく形で家庭・地域社会が連携した学校づくりを推進する。

年間行動目標を「児童・教職員支援」とし、学校運営協議会として実施方法を熟議し、遂行する。



## 活動の特徴・工夫

## 学校運営協議会での熟議

本校児童の学力調査結果では、読むことや書くことなどの基礎的な問題に課題が見られる。そのため本校では、習熟度別の少人数指導を行うとともに、漢字検定を活用して国語の書き取り能力向上を図る。令和5年度は、コロナ等の状況を見て、補習教室を復活させ、回数を増やし充実させていく。

地域の特色を生かし、サタデースクールの実施目標を年4回とする。専門性の高い講師を招き講演をしたり、自然体験をすることで、子どもたちの豊かな心を育てていく。また、サタデースクールとは別に校内にある水田を活用して食育教育を実施する。



学運協委員と教職員



サタデースクール「ホタル鑑賞会」



お田植え風景



稲刈り風景

## 教育活動に係わる支援及び地域と連携した取組

課題を改善するため、本校では、習熟度別の算数少人数指導を行うとともに、週1回、放課後に学年別算数の補習教室を実施した。実施に当たっては地域の人材の支援を得た。

サタデースクールは6月ホタル鑑賞会、9月かけっこ教室、11月防災訓練、12月たこづくりと4回実施することができた。また、サタデースクールとは別に校内にある水田を活用して5年生にお田植えと稲刈りの体験をさせた。これらの活動の際には地域の経験者に指導してもらった。



## 活動の目的・概要

## 地域の風が行き交う学校

コミュニティ・スクール 式分方小学校

地域住民から式分方小学校への関心を高めることで、小学校を中心とした地域コミュニティの再生を目指す。

子どもたちが、保護者や教職員だけではなく、多くの大人たちと出会い、活動をともしることにより、地域と関わろうとする心、地域を大切にしようとする心の育成を図る。



## 活動の特徴・工夫

## 夏休み体験講座「わくわくサマースクール」の企画・運営

夏休み中も子どもたちが安全に過ごせるよう、学校が居場所となり、「わくわくサマースクール」を学校運営協議会主催で開催している。地域人材を活用し、工作・手芸・理科実験・地域探索・各種球技・パソコン教室など、10を超える講座を開催した。



## 式分方スポーツフェスティバルでのPR活動

学校運営協議会の知名度拡大と活動の理解を図るために、式分方スポーツフェスティバル当日のジュース購入者に「カップ三兄弟」がデザインされた缶バッジを配布し、認知度を高めている。多くの保護者・地域の方に配布することができた。



マスコットの「カップ三兄弟」

## 青少年対策元八王子地区と連携した緑化活動

学校正門周辺や使用されていない花壇の整備に青少年対策元八王子地区の緑化活動部と連携して取り組ん



でいる。学校を彩る草花を育て、卒業式や入学式のころには、卒業生を祝うために5年生が育てた「さくら草」の花々が咲き誇っている。

## 広報誌「にぶっこみゆこみゆ」を年3回発行

広報誌を通して、学校運営協議会の活動報告、ボランティア募集等を行い、地域の学区内の各町会、学校関係者に配布している。



## 八王子観光PR特使「UPLIFT」をお招きして！

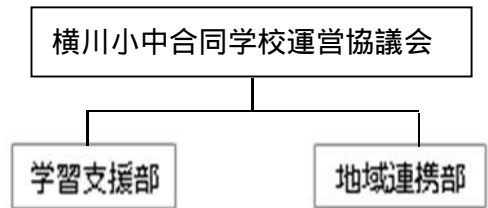
UPLIFT をゲストティチャーに迎え、5月には道徳授業地区公開講座を、12月には6年生を中心に、一昨年作った歌「未来へ」の歌詞を基に、今後の人生について考えを深めたキャリア学習をおこなった。



## 活動の目的・概要

横川地区の子どもである横川小学校・横川中学校の児童、生徒を小中合同の学校運営協議会が中心となって、小中の教職員、PTA、青少年対策横川地区委員会等の各種団体との連携を強化し、地域ぐるみで育てていく。

- ・定期的な学校運営協議会の開催（2か月に1回程度）
- ・学力向上の手立てを図る（学習支援部）
- ・地域防災体制の確立に向けた活動の推進（地域連携部）



- ・学習教室
- ・漢字・英語検定
- ・日常の学習支援
- ・地域防災
- ・小中合同引取り訓練

## 活動の特徴・工夫

### 小学校の学習支援、地域のボランティアの活用

小学校からの要請により、学習支援部が中心となり、地域ボランティアを募って学習支援を行っている。ボランティアの内容は多岐にわたり、家庭科のミシンボランティア、社会科の「昔の道具紹介」ボランティア、生活科の「町たんけん」引率ボランティア、花いっぱいボランティアなど、様々な地域人材集めの中心を担っている。

地域の様々な特技をもつ人材が集まることにより、体験的でダイナミックな学習を展開することができ、学習を活性化することができた。

また学習の中でのちょっとした関りが、地域での関りにつながり、学校安全ボランティアや、地域行事での出会いを通して、児童のより密接な地域とのつながりとなり、地域の一員としての自覚を高めている。

### 学校運営協議会企画事業「まちをつくろう」の運営

実践女子大学名誉教授高田典夫先生と、協力建築家の方々をお招きして、「まちをつくろう」というプロジェクトを学校運営協議会主催で毎年行っている。校庭いっばいにダイナミックに安全な木材を組み合わせてグループごとに家を建て、町を作って発表会を行っている。

6年生が代表して行っているが、全校児童が休み時間には見学しに来て、様々な質問をしたり感想を言ったりして、異学年交流の場になったり、数年後の活動の憧れをもつきっかけの場となったりしている。

### 漢字検定・英語検定の実施

PTAの協力を得て、漢字検定・英語検定を年間3回ずつ実施している。小学生、中学生だけでなく、保護者も受験できるように募集をかけている。年度の終わりの保護者会では、次年度の予定を配布し説明するなどして、計画的に取り組むきっかけとなるよう、保護者にも早めにお知らせをしている。



ミシンボランティア



「町たんけん」引率ボランティア



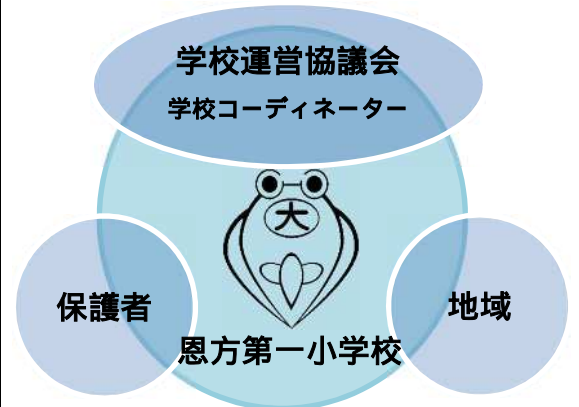
まちをつくろう



## 活動の目的・概要

恩方第一小学校の学校経営方針の具現化をめざし、学校・保護者・地域が協働する学校づくりを実現する。

- ・学校運営協議会を年 11 回行い、学校とともに家庭・地域社会が連携した学校づくりを推進する。
- ・広報活動により、地域運営学校の主旨や活動内容について積極的に周知するとともにボランティアの人材発掘を図る。
- ・学校と協働して、学力向上の取組を行うことで、児童の学力の向上を図る。



## 活動の特徴・工夫

### 地域清掃活動

青少対恩方地区委員会やPTAなどと連携・協働して年 3 回の地域清掃活動を実施している。児童・保護者・教職員・学校運営協議会委員が協働して行う清掃活動を通して、相互の交流を図るとともに、地域を知り、地域を愛する心を養っている。



### 漢字検定・漢字検定模試（ボランティア）

恩方第一小学校では、漢字検定を準会場として行っている。年 2 回の漢字検定と漢字検定前の模試を行っている。学校運営協議会を中心として、地域・PTAと連携して会場運営や模試の丸付けを行っている。子どもたちの参加だけではなく、生涯学習の観点からも保護者等にも参加を募集している。また、恩方中学校と連携して各校での実施の通知を行い、恩方地区で年間計 5 回の漢字検定受験の機会を設定している。



### サマースクール支援（学習ボランティア）

夏季休業中に学校で実施するサマースクールの運営を支援している。放課後学習の夏季休業版であり、学習時間が長時間になる活動である。学校運営協議会として、ボランティア募集を行ったり、丸付けボランティアとして児童の学習プリントの丸付けを行ったりしている。





## 活動の目的・概要

学校経営方針の具現化をめざし、学校・家庭・地域が協働して達成していく。

地域住民や保護者に対し、恩方第二小学校学校運営協議会の運営目標や協議結果を積極的に情報提供していく。

学校運営協議会を年10回行い、学校の運営を参観し、行事等に参加する中で、学校・家庭・地域が連携した学校づくりを推進する。

年間行動目標を「地域の特性をさらに生かした学校運営」とし、学校運営協議会として協議を行う。

## 恩方第二小学校学校運営協議会

### 学校・地域・家庭の協働

学校コーディネーター

学校サポートチーム

教育支援ボランティア

放課後子ども教室

## 活動の特徴・工夫

### ○豊かな学習機会の設定に向けた熟議

学校運営協議会では、子どもたちが学習する機会や場の確保を第一に考え、協議を重ねてきた。校庭や裏山、ビオトープで学習する際、草木が生い茂り、支障があるため、計画的に美化活動を行うこと。また、本物の良さに触れる体験を、という考えから地域に在住しているプロの音楽家による演奏会を開くことなど、地域の人材を活用し、児童が豊かな学習機会を得られるよう熟議を重ねた。

### 学校の教育環境整備

自然豊かな環境を十分活用できるよう、校庭や裏山、ビオトープに生い茂っていた木々を剪定し、見通しが良くなった。子どもたちは裏山でタケノコ掘りをしたり、探検をしたりして自然環境を活かした活動に取り組んでいる。



### 学校運営協議会主催「音楽会」の実施

「音楽の素晴らしさを体験させたい。」という思いから、中之島流大正琴の演奏会を企画し、保護者や地域の方々も参加した。子どもたちが知っている曲を多数演奏していただき、生演奏でしか感じられない迫力を肌で感じる事ができた。



### 災害に対する対応

土砂災害、雪害に見舞われる危険の高い土地柄で、地域としてどのような対応が可能か話し合っている。合同地域防災訓練では、防災会会長と緊密に話し合い、全児童、教職員と地域との防災訓練を実施している。



### 地域を生かした教育活動

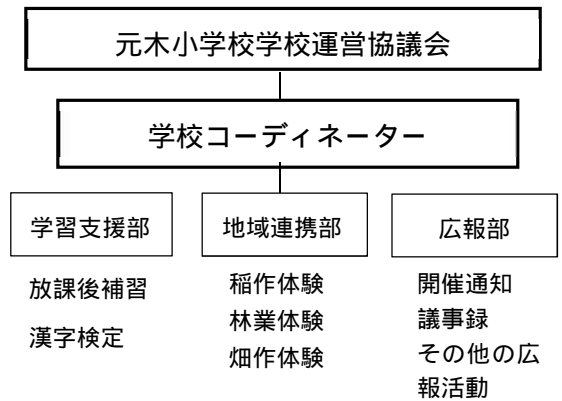
恩方漁業協同組合の協力のもと、自然豊かな地域を活かしたヤマメ里親体験を全児童で行っている。ヤマメを卵から育てることでヤマメの育て方を知るとともに、命の大切さを学んでいる。また、地域の環境について考え、環境保全に努めようとする態度も育てている。



## 活動の目的・概要

地域の将来を担う子どもたちを自らの手で育成することを目的に、学力向上や地域と連携した「生きる力」の育成について熟議を重ねている。

学校運営協議会の運営目標である「学校と地域とのパートナーシップを確立し、学校・地域・保護者が一体となって学校・地域の活性化を図る」をモットーに、多様な活動を地域全体で行う仕組みを構築している。



## 活動の特徴・工夫

### 水曜放課後補習

従前から毎週水曜日に3～6年生の希望者を対象に実施していた放課後補習教室を、平成29年度から学校運営協議会が実施主体となって活動を展開している。地域の方に学習アドバイザーとして協力いただき、基礎学力の定着に向けて、学習のつまずきをなくす取組を行っている。児童は意欲的に参加し、「できる・分かる喜び」を味わっている。



### NPO法人小津倶楽部と連携した活動

- 平成29年度から、3年生を対象にNPO法人小津倶楽部と連携した農業・林業体験活動を実施している。耕作放棄地を活用した農業活動では、学校運営協議会、NPO法人小津倶楽部の立会いのもとで、児童・保護者が参加し、オリーブ植樹を実施。60本のオリーブが植樹され、その成長を見守っている。植樹されたオリーブの管理は、日本オリーブ協会の指導により、市の協力のもと、学校、学校運営協議会、NPO法人小津倶楽部が連携して行っている。3年～5年の期間の生育状況を見て農業として成り立つかを検証していく構想である。
- 平成30年度からは、薪割りやブンブンごま作り、のこぎりを使っての檜コースター作りなどの体験学習も行っている。
- 令和4年度は、カンナを使って箸を作ったり、かわいい木の家を完成させたりした。



H30.2.3 大雪 極寒の中  
頑張ったオリーブ

### 漢字検定の実施

平成29年度から、漢字検定を実施している。恩方中学校で5月、元木小学校で1月に実施し、小中連携しての事業となっている。



令和4年「箸・かわいい家作り」

### ○熟議

- 学校経営方針(案)を検討した。
- 大きな行事について、実施方法や感染対策等を検討した。

## 活動の目的・概要

地域に根ざした学校運営を進めるため、青少対、各町会等地域の組織と連携した学校運営協議会を運営し、学校の応援団として教育活動を支えていく。

家庭・地域が連携した学校づくりを推進する。

地域の人材を活用し、教育活動の充実をめざす。

### 構成メンバー

- ・地域関係者
- ・各町会長
- ・民生児童委員
- ・主任児童委員
- ・保護者
- ・学識経験者
- ・校長（副校長）

## 活動の特徴・工夫

### 学校運営協議会での協議に関すること

○新型コロナウイルス感染症対策をしながらの運動会・日光移動教室・静岡移動教室。開校150周年記念式典の実施について協議した。

○開校150周年に向けての組織について検討し、計画通り実施できるよう確認・助言した。

○環境を生かした川口川の生き物の学習や田んぼ体験を実施することができた。

○読書活動の充実として、読み聞かせの本を購入し、ボランティアの方々が子どもたちのために活用できるよう取り組んだ。

○先生方の様子や困っていることを把握し、学校運営協議会としてできることを考え取り組む土台を構築することができた。

○本校が避難所になった時の組織や対応について課題があるため、各町内会の防災担当・町会長さんと連携を図り、秩序ある避難所として機能できるよう今後話し合いを進めていく。

○学校コーディネーターがさらに機能し、教育活動が充実できるようコーディネーターを3名にし、地域の協力人材リストを作成し活用できるよう整理していく。

○校長の学校経営方針の具現化に向けて、感染対策を講じながら学校行事の実施方法や保護者への周知について協議し、安心かつ円滑な学校経営ができるよう取り組んだ。

### 教育活動に係る支援及び地域と連携した取組に関すること

○2月10日に、6年生の総合的な学習の時間「私の将来」プロから学ぶ取組で、地域の方を6名ゲストティーチャーとして招き、授業を行った。将来について考え、職業観・勤労観を意識し、中学校の職場体験につなげる取組を実施することができた。

○3月4日に、保護者・地域の方を対象に、「スマホ依存の3大元凶は何か。ルールのない崩し・子ども任せ・見て見ぬふり」というテーマで学校運営協議会主催の講演会を実施した。

講師は、大正大学 地域創生学部 中島 由紀 先生

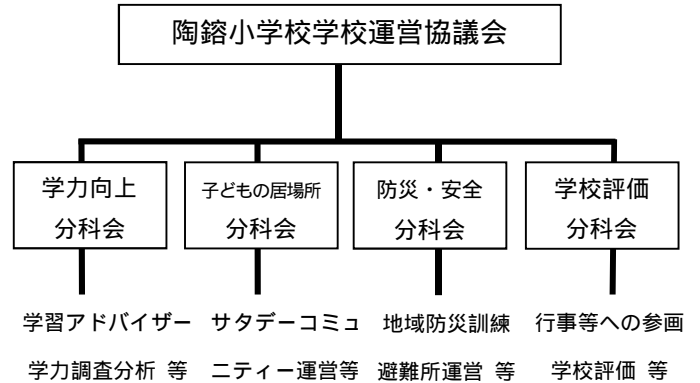




## 活動の目的・概要

「進んで学び、粘り強く自己を高める子どもを育てる学校づくり」「子どもの社会性を育てる地域づくり、安心・安全な地域づくり」を推進するために、年11回の定例会での審議のほか、学校や地域のイベントに参画する。

それぞれの分科会がコーディネーターとして地域・家庭・学校を協働させ、知育・徳育・体育の調和のとれた「真の学び舎」を目指した取組を実施している。



## 活動の特徴・工夫

### 陶鎔サタデーコミュニティ

子どもたちの「サードプレイス(心のよりどころとして集う場所)」の実現を目指し、毎月第1土曜日に実施している。PTAサタコミ委員会を中心に運営を行い、地域の方を指導者として、様々な体験的な活動を展開している。

「和太鼓」「スポーツ」等の講座を開設し、100名以上の子どもたちが活動に参加している。さらに「陶鎔小学校おやじの会」との共催で、夜の学校を巡る「ナイトツアー」や「ランタンナイト」を毎年実施し、300名以上が参加する地域行事となっている。今年度は「水鉄砲大会」も行えた。



### 学習アドバイザー

学習指導や児童の心理について見識の深い委員が、週1回「学習アドバイザー」として、各学級を巡回している。学校生活になじめない子どもや学習に困難を感じたりしている子どもたちへのサポートや教員への指導方法について具体的なアドバイスを行っている。



### 「どんぐり山」「心の池」「成長の池」の改修工事

おやじの会との連携により、平成29年度は「どんぐり山」、平成30年度は「心の池」、令和3年度は、「成長の池」の改修工事を実施。人件費をゼロにするために、おやじの会のメンバーが、熱心に工事に参加して、それぞれ1年近くかけて完成した。さらに、本校の児童が委員会活動として、1年間通して、池のごみを取ってきれいにしたり、落ち葉拾いをすることができた。



## 活動の目的・概要

地域の教育資源を活用し、児童への学力の保証を行う。

○児童の豊かな心の育成を図る。

学校、地域、保護者が協働した教育活動を行う。

計画的に人材を活用できる組織を作る。



以上の目的のもと、互いに意見を交換し合いながら教育活動の充実を図る。

### 構成委員

- ・地域関係者  
各町会長、学校コーディネーター、  
民生児童委員、育成指導員、子ども会会長
- ・保護者代表
- ・学識経験者
- ・校長  
学校関係者として副校長、主幹教諭が参加  
必要に応じて、主任教諭や教諭も参加

## 活動の特徴・工夫

### ○稲作体験活動の充実に向けた協議

学校運営協議会では、学校に隣接する里山で実施されている児童の稲作体験活動について、児童数・教員数の減少に伴う問題を解決するため、学校運営協議会とPTAで連携して、サステナブルな活動とするための方策を協議した。地域への呼びかけ、小中連携の試みなど、実現可能なアイデアが生まれ、企画立案につながった。



### ○地域の人材を活かした学習支援

学校運営協議会、学校コーディネーターを中心に、地域の人材を発掘し、学習支援につなげた。読み聞かせのボランティア、陶芸や竹細工などのゲストティーチャー、野鳥観察会の解説員など、学校運営協議会の企画事業として、継続的に取り組むことができている。



### ○通学路の環境整備に向けた取組

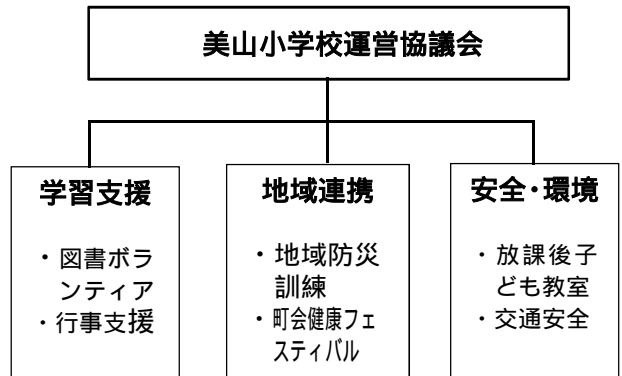
八王子警察署等の関係機関と通学路点検を実施したことをきっかけに、通学路の環境整備について協議を重ね、安全確保に努めた。関係機関と連携をとったことで、なかなか整備できなかった個所の整備が進み、登下校の安全を確保することができた。



## 活動の目的・概要

教育目標「考える子」「やさしい子」「元気な子」を育てるために、学校と保護者・地域が連携して諸課題に取り組み、地域と共に発展する学校を目指す。

学校運営協議会の中で、学校や地域の課題解決となる支援について検討したり、実施したりすることで、地域を愛し、地域の発展を願う児童の育成を目指す。



## 活動の特徴・工夫

### 学校運営協議会での協議に関すること

- ・学校運営協議会を年間で8回実施し、授業や行事の見学をして実態を把握する。また、意見交換を行い、学校評価に参画したり、人事に関する意見をまとめたりする。
- ・東京都や八王子市の学力調査の結果をもとに、本校の課題を分析し、本校の児童にとって身に付けるべき具体的な学力を明確にし、その実現に向けて学校運営の在り方について協議を行う。
- ・3年生の児童に、八王子川口造成作業所（圏央道物流拠点の工事現場）を見学する機会を設ける。また、道徳授業地区公開講座で、児童とのコミュニケーションの取り方に関する、保護者・地域向けの講演会を企画する。

### 教育活動に係る支援及び地域と連携した取り組みに関すること

- ・美山ファームを保護者・地域と連携して運営する組織づくりに取り組む。
- ・学校図書館の整備や学習ボランティアの人員拡充等、豊富な教育資源や地域人材を活用した教育活動を計画的に進める。
- ・学校が地域の防災拠点となることを見越して、地域と連携して行う防災訓練の開催について協議を行う。
- ・地域防災訓練や健康フェスティバルといった地域行事に参加する。

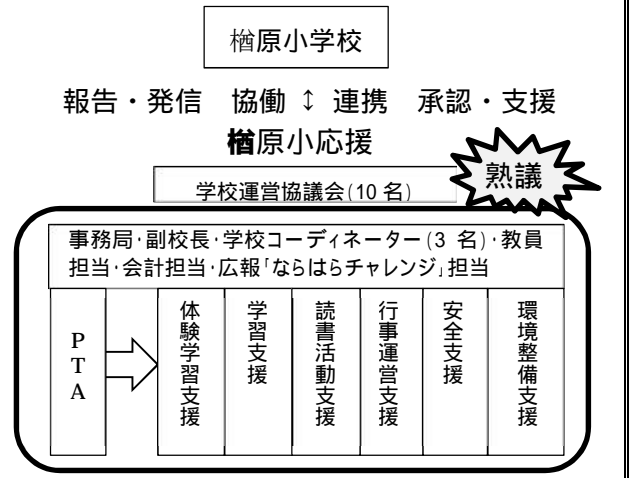




## 活動の目的・概要

子どもたちの幸せのために、人と人をつなぐ。そして、檜原の素晴らしい豊かな資源(自然・人材)を活かし、各々が成長できるような学びの環境をつくるため、以下の3点を活動の指針とする。

- 1 豊かな自然環境を利用した、「体験学習の場」と仕組みづくり
- 2 学校を含めた地域の人々との、「温かな交流の場」と仕組みづくり
- 3 個性豊かに一人一人の児童が、たくましく成長し、自分らしく輝けるよう、「見守り支える場」と仕組みづくり



## 活動の特徴・工夫

### 広報活動・情報共有

地域運営学校としての取組を学運協だより「ならはらチャレンジ！」で発信。学校だよりやPTA通信でも紹介している。毎回の議事の中で、自治会や青少対の情報ははじめ、地域の行事についても、情報共有を図っている。また、地域運営学校としての理念と目的意識を共有するために、全教職員との熟議を行っている。

### ○地域人材・地域団体の活用

・学校コーディネーターを中心に、保護者・地域からボランティアを募り、教育の充実を図っている。教員・保護者以外の大人との交流が、子どもたちの多様な人と関わる機会となり、新たな学びにつながっている。また、保育園・幼稚園との園児・児童交流ができ、保幼小の交流が深まっている。

・檜原小学校を会場とした檜原東部町会防災訓練を地域行事として開催し、学校HPでも発信している。

### ○学校支援活動

PTAや地域による支援活動(学校行事支援や安全見守り、読書活動、体験活動の支援など)に加え、下記項目等にも力を入れて活動を推進している。

・学校農園「ハピネスファーム」の整備

敷地に隣接する学校農園用地を活用し、地域の専門家と連携した、農作物栽培体験活動を充実させている。

・不登校支援のための「ハピネスルーム」の整備

不登校児童に教室、保健室以外の居場所をと整備し、学校コーディネーターを中心に運営している。

・漢字検定の実施

平成29年度より学校運営協議会主催で年に2回実施している。

・様々な学習支援と体験活動の充実

総合的な学習の時間や家庭科等の実習授業、校外授業等の支援を行う。また、放課後子ども教室「ならっ子クラブ」にも学習アドバイザーを配置し、児童の見守りと支援を積極的に行う。授業や放課後子ども教室に専門家を呼び、教育の充実を図っている。これまで、東京八王子ビートレインズによるバスケットボール指導や女子児童と保護者を対象にした「ツボミスクール」などを行っている。令和3年度より、NARAHARA GLOBAL GATEWAY (NGG)のサポート事業としてCLIL教育も開始、継続している。



## 活動の目的・概要

- 学校運営協議会のスローガン「皆で見守り、皆で育てる」の達成
- 「すべての子どもたちに居場所があり、一人一人を大切に」「子どもたちの良さや可能性を伸ばす」「子供・保護者・地域・教職員に愛される」学校に
- 上記2つの達成のために、「安全」「読書」「学び・遊び」「地域連携」の4つの柱を立て、自主的に創意工夫をして活動し、学校・地域・保護者が一体となって、子どもたちのために多様な活動を行う仕組みを構築。

### 学校運営協議会

防災・安全グループ(地域防災会議)

読書のまちグループ(読み聞かせ)

学び・遊びグループ(放課後子ども教室)

学校連携グループ(保・中・高校など)

## 活動の特徴・工夫

### 防災・安全グループ(地域防災会議・登校の見守り・おむすび大作戦・通学路点検)

- 【活動内容】学校安全ボランティアの拡充と継続、新たな見守りの取り組み(おむすび大作戦)を行う。地域防災会議等との連携を図り、地域五町会合同避難訓練に児童も参加し地域防災への関心を高める。
- P T A・からまつ明生会・交通安全協会で曜日等を分担し、子どもたちの安全な登校を見守る。
- 児童が安心して学習に励むことができるように、週1回のおむすびを町内会館で食べさせて見守る。
- ・防災会議(五町会合同) ・学校安全ボランティア ・P T A 校外

### 読書のまちグループ(地域図書館連携・読み聞かせボランティア)

- 【活動内容】特色ある教育活動として読書の充実を図るため地域の人材を活用し推進する。
- 川口図書館との連携を図り、授業として全ての学年、学級が訪問し、図書活動を行う。
- ボランティア団体「りいでいんぐくらぶ」が、毎月1回、全学級一斉に読み聞かせを行う。
- 放課後子ども教室に図書を置き、活字に触れさせる機会を多くする。
- ・川口図書館 ・町内会、自治会 ・図書館ボランティア ・P T A ・放課後子ども推進委員会

### 学び・遊びグループ(放課後子ども教室・漢字検定)

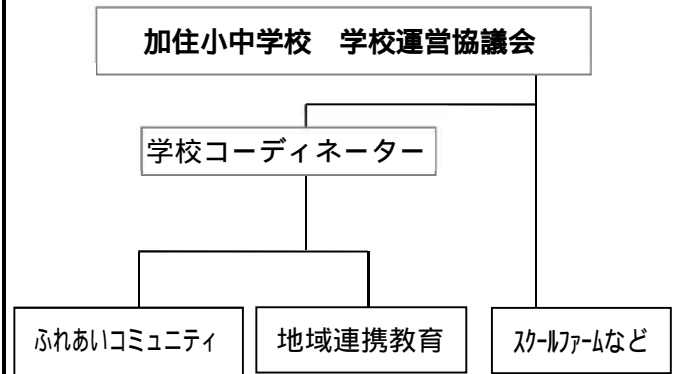
- 【活動内容】放課後や長期休業中における安全な学び・遊び場の居場所づくりを行う。
- 主催するN P O法人と連携し、週5日の放課後子ども教室(松枝っ子)を支援し、学習アドバイザーの配置、かけっこ教室、ボール運動教室等の企画等を行う。放課後も長期休業中も入学式等の行事の日でも、児童が宿題をしたり遊んだりできる場所を確保する。
- 毎年100名以上の参加がある漢字検定を年に一度行い、学ぼうとする意欲を高める機会を設ける。
- ・町内会、自治会 ・放課後子ども推進委員会 ・P T A

### 学校連携グループ(幼保中・学童クラブ・川口児童館・子ども家庭支援センター・民生児童委員等との連携)

- 【活動内容】保幼・学童クラブの連携、地域団体との連携による、子どもたちの健全育成を図る。
- 新一年生や卒業生の情報共有等を行う。小中一貫教育では、地域郷土学習として訪問したり、合唱祭りハールに参加したりし、交流活動を行う。学童保育所や子ども家庭支援センター、民生児童委員と連携を図る。
- ・からまつ学童保育所 ・からまつ保育園 ・川口中学校区(上川口小・美山小・川口小)・川口児童館

## 活動の目的・概要

小中一貫校における9年間を通じた教育を推進していく上で、学校の応援団として、基本的な計画や基本的な方針を熟議・承認するとともに、教育活動に必要な地域の人材を確保する。  
地域運営学校ならではの特色ある取組（加住ふれあいコミュニティ・地域と連携した教育活動・スクールファーム等）を学校・保護者・地域の連携の中で推進・支援していく。



## 活動の特徴・工夫

### スクールファーム

地域の方の協力のもと、総合的な学習の時間を活用し、スクールファーム（学校における農業体験）に取り組んでいる。栽培した野菜は、宿題として家に持ち帰った後に、料理・レポート作成を行い、学習発表会で掲示することで、地域の方にも成果を見ていただく機会を設けている。スクールファームが生徒と地域の方とが関わるきっかけとなっており、人の輪が広がっている。



### 滝山城址見学

地域の方たちで組織されている「滝山城跡群・自然と歴史を守る会」の方と、今年度は拓殖大学国際学科町づくりゼミの方たちも一緒になって、地域の歴史的な場所でもある滝山城跡地を見て回り、学んだ。

なぜこのような地形になっているか、ここはどのような工夫がされているのかといったことを教わりながら、身近なものから歴史を感じ、郷土への愛着を深めていた。



### ふれあいコミュニティ

学校コーディネーターが中心となり、地域の高齢者の方々と本校の放課後子ども教室「スマイル」に参加している児童や学童の子どもたちの交流機会を設定している。

「春の七草植え」や「折り紙・クイズ」などの交流体験を実施、地域の方々とのふれあいの中で、思いやりや高齢者の方々に対する労りの心を育んできた。



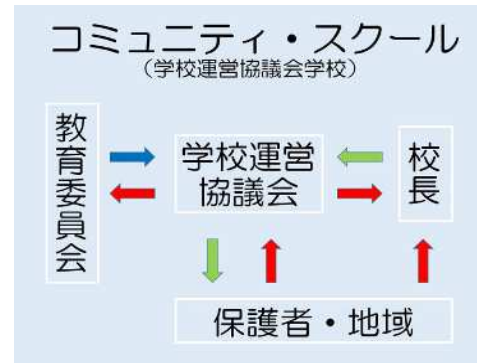
## 活動の目的・概要

地域を愛する

地域に愛される

みんなが輝くシャイニースクール

- ・学校運営協議会を年10回行い、学校の運営を参観し、行事等に参加する中で、学校・家庭・地域が連携した学校づくりを推進する。
- ・年間行動目標を「地域の特性をさらに生かした学校運営」とし、学校運営協議会として協議を行う



## 活動の特徴・工夫

学識経験者、町会長、住民協議会会長、保護司、青少年育成指導員、主任児童委員など地域を支える人材の他、元PTA会長や元学校コーディネーターなど、学校現場に詳しい人材が委員となっている。地域の子どもの育成にかかわっていききたいというメンバーが多い。

### 150周年行事に向けて

令和5年度の150周年行事に向けて、様々なアイデアを提示し、協力を継続している。

令和4年度は、学校運営協議会長による地域の歴史講話を3年生に行った。

### あいさつ運動

青少対、近隣3校で連携し、地域全体であいさつ運動に取り組んでいる。

### 安全の見守り

児童の登下校の安全管理に目を配り、交通安全協会や南大沢警察署とも連携を図っている。

### ピオトープの整備

校内にあるピオトープや校内の樹木、田んぼ、畑を有効利用できるようにしている。



あいさつ運動



安全の見守り



ピオトープの整備

## 活動の目的・概要

地域運営学校として、広報・啓発活動を推進し、学校とともに家庭・地域社会が連携した学校づくりを目指す。  
 地域人材を活用し、学力向上・自然観察・農業体験・地域伝統芸能等について学ぶ活動を推進する。  
 小中一貫教育の取組を推進する。

### 由井第二小学校学校運営協議会

学習支援担当  
 放課後子ども教室担当  
 環境整備担当  
 小中一貫教育担当

教職員  
 地域  
 PTA  
 近隣小中学校

## 活動の特徴・工夫

### 学校運営に関する協議

年度当初に学校経営計画について協議し、年度末には学校長より評価を説明し、次年度の計画に活かしている。また、地域での安全・安心について随時協議し、地元町会と連携して、防犯カメラの設置や交通安全の取り組み等について情報交換したり検討したりしている。

### 放課後子ども教室

「放課後子ども教室」を全平日開催し、1～6年生までの放課後の安全な居場所として機能している。運営は外部団体に委託し、シルバー人材センターを活用して実施している。学校の時間割に応じて、体育館や校庭、図書室などを使用し、子どもたちは、宿題をしたり、校庭で運動遊びをししたり、将棋やカードゲーム等を楽しんだりしている。



### 漢字検定の学習支援等

平成30年度から、年間2回、金曜日に漢字検定を実施。約100名の受検者がいて、検定当日には地域のボランティアに協力いただき、運営を行っている。漢字検定の実施を通して、基礎学力の向上や漢検に対する意識が定着してきている。

令和4年度は、その他、夏季補習支援、昔遊びゲストティーチャー、校庭花壇整備ボランティア等を実施した。



### 地域行事への参加

令和4年度は、青少対主催のCC大作戦（地域清掃活動）へ2回参加し、由井中学校、由井第三小学校、片倉台小学校と小中一貫教育グループとして連携して活動することができた。

### 由井二小桑畑チャレンジ

3年生が総合的な学習の時間で育てる蚕のための校内の桑の木が枯れてしまった。時節柄地域に集めにいくこともできず困っていたが、学校運営協議会を中心とする地域の方が桑の挿し木の仕方を教えてくださり、今、校内で桑の栽培中である。去年の夏の厳しい暑さを乗り越えた株は、ぐんぐんと背丈を伸ばして順調に育っている。



## 活動の目的・概要

地域の教育資源を活用しながら、本校の特色ある教育活動である「夢大地」の取組（自然観察・農業体験・伝統芸能習得活動等）を継続し、さらなる充実を目指す。学校運営協議会委員による授業参観を設定し、さらなる授業改善に努める。

令和5年度に迎える開校150周年に向けて、学校、PTAと連携し、記念式典・記念行事の準備を進める。

## 150周年準備部会

記念式典・記念行事の計画・準備  
記念誌の作成

## 学習応援部会

夢大地の取組  
地域の調べ学習、昔遊びの支援  
海洋教育の支援

## 安全・安心部会

校内施設・設備の安全点検・改修等促進  
通学路等、校外環境の安全確保  
児童を見守る体制の充実

## 活動の特徴・工夫

## 海洋教育

平成30年度に、東京海洋大学の教授を招聘し由井中学校区における小中一貫教育プログラムとして、日本財団の「海洋教育パイオニアスクールプログラム」に参加以降、毎年学校運営協議会の主催行事として実施している出前授業である。今年度も協議会で実施計画が検討され、4年生以上の学年において、2時間ずつの授業を実施した。4年生は下水処理場の水にいる微生物の観察、5年生は近隣の池にいる微生物の観察、6年生は海のプランクトンについて観察（ちりめんモンスター）を行った。児童は豪華な講師陣による学習に意欲的に取り組んでいた。



## ○校内施設の清掃

10年前に校地改良をした本校であるが、雨天時に校庭の土が排水溝に流され、排水溝が機能しない問題が学校運営協議会で挙がった。協議会で検討した結果、11月に協議会主催で校庭の排水溝の清掃が企画され、PTAや校庭使用団体の協力を得て、実施した。排水溝の土は除去され、景観としても改善された。今後も継続的に校庭施設の清掃、修繕に意欲的である。

## 夢大地

本校の特色ある教育活動「夢大地」の取組は、学校運営協議会の支援によって一層充実した活動となり、学校周辺の豊かな自然とのふれあいや、古くから伝わる伝統文化の理解につながる教育が更に充実している。

1年生は、学校の隣の広場で季節ごとに虫や植物の変化を楽しみ、2年生は、この地域ならではの牧場見学を行っている。3年生、5年生は、地域の方からお借りしている畑で、野菜の栽培について教えていただき、ほうれん草や大根を育てている。4年生は、学校のそばを流れる湯殿川を探検し、6年生は、太鼓の先生に教わり、毎年運動会で豊年太鼓を披露している。



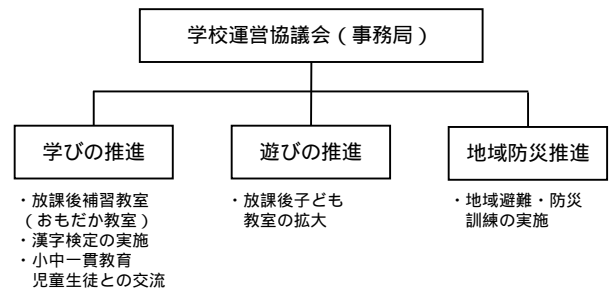


## 活動の目的・概要

学校運営協議会の運営目標の柱を、学校・保護者・地域で子どもと一緒に育てる「共育」(ともいく)とする。

子どもの学力の向上、放課後の子どもの居場所の確保、防災教育の推進という3つの運営課題の解決のために、具体的な取組を計画・実施する。

会長、副会長、事務局を置き、委員が「学び推進部」「遊び推進部」「地域防災推進部」の3つの組織に分かれて活動する。



## 活動の特徴・工夫

### 学校運営に関する協議

学校行事について協議を行った。運動会は子どもの思いを実現させながら、どのように実施していくかを検討し、午前中に種目を精選し開催することができた。また、学芸会では、感染症対策を考えながら、他学年の鑑賞ができるようにした。学校運営協議会として「学びを止めない」ための対応を協議した。



### 地域のボランティアと連携した放課後補習教室の運営

平成27年9月から、毎週木曜日15時25分～16時25分に高学年児童を対象として基礎・基本の定着を目的にした補習支援を展開している。地域・保護者から学習ボランティアを募り、児童には課題を決めさせ、自主学習を支援する活動を行っている。専用の出席カードの配布や年度末には修了証を発行するなど、子どもたちの参加意欲を高める工夫を凝らしている。地域の方と子どもたちとの交流も深まっている。



### 地域人材を活用した農業体験

生活科・総合的な学習の時間に野菜作りや米作りを地域の方をゲストティーチャーとしてお招きして、学習の充実を図ってきた。学校にある畑で野菜を栽培したり、地域の方の畑をお借りして稲作や野菜作りをしたりするなど子どもたちの体験活動を充実させることができた。



### ○放課後子ども教室の拡大

水曜日と金曜日の週2回実施。地域の安全管理員にお願いし、また、子どもの参加数も年々増加している。令和5年度に向けて学童保育所との連携も図り、週3回の実施を検討してきた。子どもたちの放課後の居場所の確保だけでなく、学力や体力の向上にもつながっている。

### ○地域防災について

令和5年度に向けて、令和5年12月に地域防災訓練を計画した。町会の方々と協力し合い開催することを確認した。

## 活動の目的・概要

教育目標の「心も体も健康な子・すすんで助け合う子・よく考えて実行する子」を学校・家庭・地域の協働により達成することを目指す。

学校運営協議会を年9回行い、学校とともに家庭・地域社会が連携した学校づくりを推進する。

「地域の特性を生かした教育支援体制の推進」を年間行動目標に位置付け、学校運営協議会と学校で協働して活動する。

片倉台小学校学校運営協議会

学校コーディネーター

学習支援事業

- ・夏休み補習教室
- ・学習ボランティア
- 他

地域連携事業

- ・花いっぱい栽培活動
- ・地域防災訓練
- 他

## 活動の特徴・工夫

### 夏休み補習授業・学習ボランティア事業

平成29年度より、夏休みの補習学習に学校運営協議会の協力を得ながら、補習授業を実施。地域の方に学習アドバイザーとして協力いただき、基礎学力の定着に向けて、学習の躓きをなくす取組を行ってきた。ここ数年コロナ禍のため中止としていたが、令和5年度は、2学期、3学期に向けて、算数を中心に困り感のある児童の支援に当たれるように、学校運営協議会で検討していく。



### 花いっぱい笑顔いっぱいの学校を目指した活動

学校運営協議会の設置に伴い、「花いっぱいの栽培活動」を、より地域の方々と連携した活動として実施している。月に1回程度、縦割り班活動として、地域の方にも各班に入ってもらい、児童と地域の方が一緒になって花壇の整備や花を植えたりしている。



### 学校・家庭・地域・行政が連携した総合防災訓練

学校運営協議会の設置を契機に、地域と学校、関係団体が一体となって災害に立ち向かう体制づくりを行うため、学校や自治会が個々に行っていた防災訓練をより連携を深めて実施している。

訓練は授業の一環として全校児童が参加している。たてわり班に分かれ、地域や保護者の方と一緒に体験コーナーを回って体験訓練を行うことで、地域のつながりが深まり、お互いの顔を知ることができるように工夫している。また、訓練内容は、市や消防と連携して、応急救護や初期消火など、本格的な内容となっており、学校を拠点とした防災体制の確立につながっている。



令和4年度も実施に向けて学校運営協議会で検討を重ね実施した。

## 活動の目的・概要

高嶺小学校学校運営協議会が目指す学校

子どもファーストで判断し、教員一人ひとりが生き生きと楽しく教育活動を行うことにより 児童が生き生きと主体的に学ぶ学校  
～高嶺っ子『共に育てる』～

- 学校の教育目標に、協力・参画します
- 高嶺っ子をしっかり支えています
- 『地域に根ざした開かれた学校づくり』の後押しを！
- 未来に希望をもてる子どもたちを応援します

高嶺小学校学校運営協議会	環境美化部	「花壇、校庭の草取り」「池、高嶺富士の清掃」「花植え」等
	学習支援部	「放課後補習教室『くすの木教室』」「漢字検定」等
	体験活動部	天体観望会」「焼き芋大会」等
	安全対策部	「交通安全教室」「登下校時の見守り」「行事の安全対策」等
	子ども保護者支援部	「親子草取り」「青少対クリーン活動」「世話人会と連携」等

## 活動の特徴・工夫

## ○高嶺富士の草取り

環境美化部が中心となって、本校のシンボルである高嶺富士の草取りを行いました。伸びきった草をたくさんの方々できれいにしてくださり、気持ちの良い高嶺富士が顔を出しました。教職員の手が回らない箇所に気付いて、環境美化部の皆さんが積極的に動いて、きれいな高嶺小学校が保たれています。



## ○放課後補習教室「くすの木教室」

令和3年度は実施できなかった放課後補習教室「くすの木教室」を令和4年度の9月から再開するために準備・調整してきました。学習指導部が主導となり、30名以上のボランティアの方が集まってくださり、月曜日は2・3年生、金曜日は4・5・6年生がミライシードのベーシックドリルに取り組み、苦手分野を克服することができました。次年度も継続し、さらなる学力向上を目指していきます。



## ○地域連携講座の実施

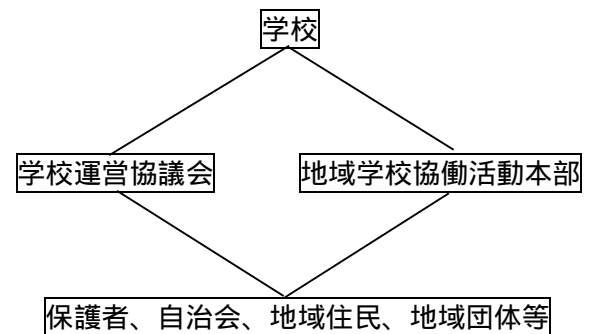
保護者・地域・教職員の連携を密にしようと、子ども保護者支援部が、3者が共に学ぶ「地域連携講座」を開催しました。愛宕小学校の学校運営協議会の貴家由美子会長を講師に招き、「地域で子どもを育てよう～学校・地域の連携の実際～」をテーマにお話を伺いました。子どもたちを見守る環境を整えるにはどうしたらよいかを考える機会となりました。





## 活動の目的・概要

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」(第47条の5)に定める学校運営協議会の役割を再度確認するとともに、令和4年4月1日に発足した「みなみ野小中学校地域学校協働本部」との共創・協働・連携の体制を整え、令和4年度学校経営方針を踏まえ、意義ある協議を計画的に行う。



## 活動の特徴・工夫

### 学校運営協議会での協議に関すること

学校運営協議会と新たに立ち上げた「みなみ野小中学校地域学校協働本部」の協働・共創・役割分担などについて協議した。

学校運営協議会機能のさらなる充実を図るために、委員と参加教員とでミニワークショップを開催し、改善策を協議した。

「みなみ野中学校区地域づくり推進会議」(八王子市未来デザイン室)との連携について検討した。

みなみ野自然塾や目籠づくりを保存するグループなど、里山環境・里山文化を継承し育てている団体と協働・共創し、街づくりと教育活動をつなげる活動を活性化させた。

「みなみ野会」「かたくりの会」「青少対」「放課後子ども教室」などの活動と学校との協働・共創に取り組んだ。学校コーディネーターを中核とした地域と学校との協働・共創の展開に取り組んだ。



### 教育活動に係る支援及び地域と連携した取組に関すること

ミニワークショップ実施後、委員と教職員間の率直な意見交換が行えたことで、学校運営協議会の運営・議事進行を工夫し、協議の活性化を図ることができ、充実した活動を展開できた。

地域学校協働本部を立ち上げたことで、役割分担が明確になり、協働・共創など、より柔軟に迅速に行えるようになった。

コロナ感染の影響を受けた一年であったが、メール等を活用し、学校の対応について、委員との連絡を密接にとり、連携して対応することができた。

地域の人材・団体の掘り起こしと、学校との協働・共創のシステムづくりについて、地域づくり推進本部とも連携し取り組み始めたが、さらに工夫していきたい。

卒業生・大学生・大学院生と学校との協働・共創システムを構築に取り組み始めた。今後、そのシステムを、ICTなども活用し、構築していきたい。

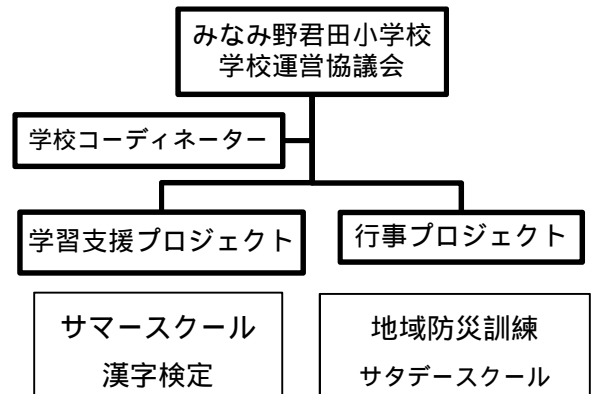
コロナ禍で十分に行えなかった、教職員と委員との交流や教育活動の現場を見ての意見交換を充実させる。



## 活動の目的・概要

学校教育目標の「学んで伸びる子・強く優しい子・健康に過ごす子」を学校・家庭・地域の協働により達成する。

○地域住民や保護者に対し、運営目標や協議の結果を積極的に情報提供する。



## 活動の特徴・工夫

### 学校運営協議会での協議に関すること

- ・「教育課程」「放課後や週休日の子供の居場所」「いじめ対策」「青少対活動」「PTAに準ずる組織の運営」「学校情報の発信」「漢字検定」などについて、経営、運営に参画した。
- ・「教育活動支援」「学習支援」などについて、教育活動のねらいを受け、教育活動の意に沿った地域人材の確保をすすめた。

### 教育活動に係る支援及び地域と連携した取組に関すること

#### 地域防災訓練

- ・放課後子ども教室推進委員会の共催で身近な地域における児童の防災意識を高めることを目的に行っている。
- ・毎年、町会の協力を仰ぎ、消防署・消防団・自衛隊・赤十字奉仕団等を招いて初期消火訓練やロープワーク、心肺蘇生法など体験活動を多く取り入れている。



#### 漢字検定

- ・学力向上の一環として団体の準会場受検を行っている。家庭の関心が高く、例年全校児童の半数近くが挑戦している。
- ・学校運営協議会でボランティア（監督者）を募り、会場の環境整備や試験監督等の運営を実施している。

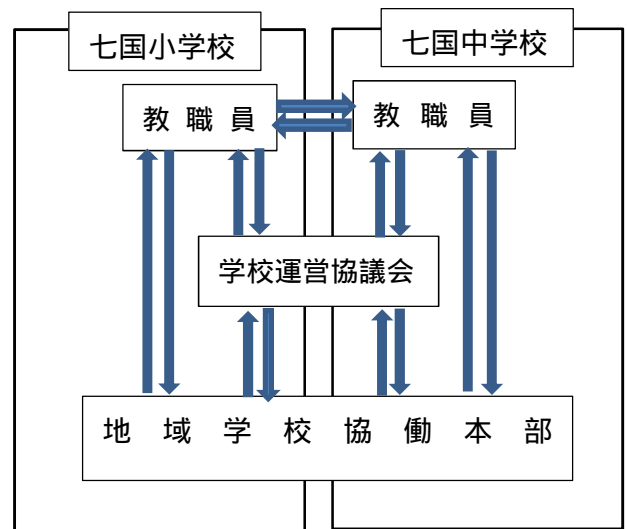
#### サタデースクール・サマースクール

- ・放課後子ども教室推進委員会との共催で、土曜日に毎月1回、夏休みに1回それぞれ行っている。
- ・学校のクラブ活動や地域の団体が集まり、音楽、ダンス、演劇など多様なジャンルの表現活動を披露し合う場となっている。

### 活動の目的・概要

学校の経営・運営・管理上の課題を改善・解決することを目的に、次の(1)～(3)の視点から学校運営について協議するとともに、学校の運営にかかわる地域学校協働本部を組織化し、支援する。

- (1) 子どもにかかわる各種組織・団体が連携し、地域の子どもである七國小・中学校の児童・生徒を、地域ぐるみで育てる。
- (2) 七國小・中学校の学習指導、児童・生徒理解、学校・学年行事等の行事、特別支援教育等の教育活動全般にわたり、各種組織・団体がより一層連携し、学校の教育活動を活性化させる。
- (3) 七國小・中学校が、地域に開かれた教育拠点としての役割を果たす。



### 活動の特徴・工夫

#### 学校運営についての協議等

- ・学校運営を進めていく上での課題や今後の取組についての協議
- ・地域との連携を深めていく上での課題や今後の取組についての協議
- ・地域学校協働本部の役割について協議
- ・他の学校運営協議会の取組についての研修

#### 地域や保護者への周知

地域運営学校としてスタートしたことや学校運営協議会の目的、活動、学校運営協議会委員について学運協だよりを発行し、学校ホームページ掲載、印刷配布し、周知を行った。

#### 七国コミュニティ・カレンダーの作成

小学校、中学校、どんぐりの会、ななくに会、地域、青少対、その他関係諸機関等、それぞれの活動・取組を一覧できる七国コミュニティ・カレンダーを作成した。

#### 特色のある取り組み

- ・コーディネーショントレーニング研修会（小中学校）
- ・七国 学びのフェスタ（小学校）
- ・数学検定（中学校）

#### 学校行事

小学校…運動会、学校公開、校内書写展、展覧会、卒業式 等

中学校…避難訓練、道徳授業地区公開講座、意見交換会、合唱コンクール、薬物乱用防止教室  
展示発表会、卒業式 等



## 活動の目的・概要

キャッチコピー「ふるさと高尾、ふるさと浅川、心豊かな浅川の子」を掲げ、自ら進んでやりぬき、思いやりを持ち、助け合う、健康で明るい子どもを、みんなで話し合い、協働しながら実践し、振り返る活動を重視しながら、育成を図る。  
地域の教育力を生かし、緑あふれる高尾の自然を活用した郷土学習などを推進できるようサポートする。  
教職員及びPTA、地域の関係諸団体と緊密に連携し、子どもの実態や主体性に沿った支援を行う。

## 浅川小学校学校運営協議会

## チーム あさかわ

## あいさつチーム

～あいさつ運動など、  
地域ぐるみの運動～

## さがそうチーム

～地域人材・  
学習素材～

## かがやきチーム

～個性伸長、  
基礎学力向上～

## わをつなごう

チーム  
～地域や、組織との連携～

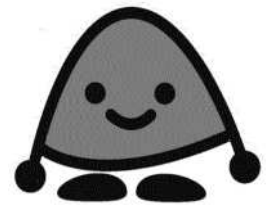
## 活動の特徴・工夫

## 熟議を重ねて活動し、キャッチコピー、あさっこマークを作成

・学校運営協議会の活動は、常時活動の学校サポーターや行事ごとの係の仕事など、学校と連携しながら進めている。会議では事前会議で焦点化した問題点について意見を出し合い、異なる立場の各委員の多様な考え方から合意形成を図り、よりよい学校作りに寄与できるよう取り組んでいる。  
さらに次世代の学校運営協議会委員の参画・育成を図るためにも、活動や主旨を広く周知し、協力体制を充実させるPR活動も行ってきた。本校では目指す児童の活動や様子を想起させる「キャッチコピー」を定めるとともに学校教育目標としても掲げ、アイキャッチ的なモチーフとして「あさっこマーク」を地域学校協働活動推進組織と連携して活用している。

## キャッチコピー

ふるさと高尾、  
ふるさと浅川、  
心豊かな浅川の子



あさっこマーク

## NEWキャラクター3テング

・平成30年度には、「3テング」のキャラクターを新しく開発・作成し、あさっこマークに続く、本校の代名詞となるように活用している。

運動頑張る 「いだてんぐ」  
お仕事頑張る 「がってんぐ」  
勉強頑張る 「まんてんぐ」



## 学校運営協議会事前会議の実施

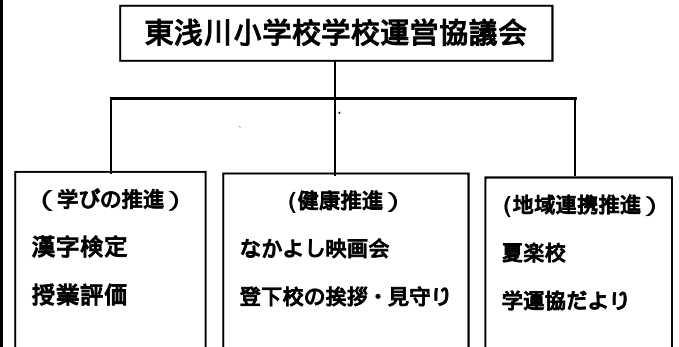
基本的には協議会の前日に会長、副会長、校長、副校長による事前会議を実施している。会の議題を事前に確認し、会議の流れや意見を出し合う方向性を協議して、本会議の効率化、熟議の充実を図っている。

## 歴史ある小中一貫教育 中学校と行う「あいさつ運動」

浅川小学校と浅川中学校は1対1校の小中一貫校として連携を図っている。学校運営協議会の委員にも両校で活躍している方も多く、「あいさつ運動」では年に3回、地域の方も巻き込みながら、青少対と一緒にあいさつの輪を広げている。

## 活動の目的・概要

児童の学力向上に向けた取組を企画・推進する。  
豊かな心を育む環境作りを推進する。  
保護者、地域住民の学校運営への参加を促進し、  
地域に開かれた学校づくりを推進する。



## 活動の特徴・工夫

**夏楽校**

例年、児童が日頃味わえない様々な体験活動を通し、日常生活の中でも生かされることをねらいとして事業を実施している。

内容としては、ポッチャ、昔遊び、バスの安全と乗車マナー、車椅子体験、AEDの使い方、戦争体験学習を各学年の実態に合わせて実施している。

**なかよし映画会**

1学期の学校公開で、人間関係をテーマとした映画鑑賞会を行っている。いじめや不登校、自殺等の現代社会の問題について取り上げ、親子で語り合い、ともに考え、自他の心に向き合うことをねらいとしている。

**漢字検定**

3学期に本校を準会場として実施している。確かな学力を身につけた子どもの育成のひとつとして、多くの児童の漢字力向上をねらいとしている。

**授業参観・授業評価**

学校公開での授業参観と授業評価を通して教師の授業力向上をねらいとしている。

**登下校の挨拶見守り**

大規模マンションや大型ショッピングセンターが通学路と近接していることから、甲州街道や町田街道、けやき通り等、通学路における登下校の挨拶見守りを通し、安全を図ることをねらいとしている。

**学運協だより**

月に1回の学校運営協議会の内容を、保護者や地域の方々に周知し、理解と協力を仰ぐことをねらいとしている。

## 活動の目的・概要

教育目標の「すすんで学習しよう・あったかい心をもとう・じょうぶな体をつくろう」を学校・家庭・地域の協働により達成していく。

学校運営協議会について、地域住民や保護者に情報を発信していくとともに、組織の活性化を図る。

令和4年度の「プレ150周年」として、学校行事を中心に教育活動全般における地域とのつながりを重視し、地域とともに学校の150周年の準備を進めていく。



## 活動の特徴・工夫

### ○学校運営協議会での協議に関すること

本校の学校運営協議会のメンバーは、地域の健全育成に関わる諸団体に所属されている方々が多い。学校の教育活動への理解も厚く、子どもたちや教職員を応援し、我々も支えてもらっていることを実感できる存在である。

本校もコロナ禍を契機に様々な教育活動の制限や開催方式の変更が生じたが、学校側が学校の感染状況や子供たちの様子について積極的に情報発信を行うことで、委員から状況に応じた判断をもらっている。以下は、学校運営協議会と検討した内容である。

- ・教育課程及び学校経営方針の承認
- ・運動会の午前開催と春秋の二回実施について
- ・宿泊的行事の実施可否
- ・文化的行事の実施方法
- ・各種ボランティア事業の実施
- ・次年度の開校150周年に向け、「プレ150周年」としての取組について 等

教育的効果がしっかりと得られ、子供たちの成長につながる活動に対し、開校149年の歴史ある地域の小学校としては以前から行っている形式にこだわらず、改革と進化については理解も深いと感じている。

### 環境部の取組

学校運営協議会と保護者のボランティアが連携した園芸活動を通して、学校環境向上に取り組んでいる。ガーデニングに詳しい保護者の方の協力を得て、月に1回、花壇の整備を行っている。登下校する児童達だけではなく、由木中央小学校前バス停を利用する地域の方々にも憩いの花壇としても親しまれている。入学式では桜は散り始めていたが、育てた花々をバックに写真撮影をする家族が多くみられた。



### 図書部の取組

本校の言語活動向上の一環として、詩の暗唱と読み聞かせを行ってきた。コロナ禍のためボランティアによる関わりは控えてきたが、読み聞かせは、令和4年10月より再開している。環境整備に力を入れ、図書室前には読書への意欲をもたせるような掲示を作成する等、取り組んでいる。

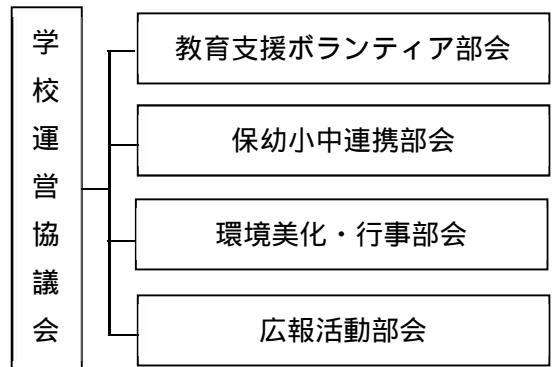




## 活動の目的・概要

教育目標「見つめ 考え 言える子、ねばり強く やりとげる子、心も体もじょうぶな子、すすんで力を合わせる子」を学校・家庭・地域の協働により達成していく。

- 1 学校運営協議会を年 11 回行い、学校とともに家庭・地域社会が連携した学校づくりをさらに推進する。
- 2 年間行動目標を「地域の良さを生かした運営体制」とし、学校運営協議会として協議を行う。



## 活動の特徴・工夫

### 由木東小学校運営協議会での協議に関すること

教員の働き方改革について

電話対応時間を今まで 8 時から 18 時までとしていたが、8 時から 16 時 45 分までとする。

学校だよりを Home & School で配布することで、印刷する作業の軽減と紙の減量を図る。

(成果) 電話対応時間の短縮や Home & School の活用によって、教員の在校時間の短縮、紙やインクの削減等が図られた。また、教員が子どもと向き合う時間の確保ができた。

学校行事や学校公開の保護者の参観について

大規模校であることから、全員を一度に集めることが難しいため、分散させて参観してもらうこととする。

(成果) 大規模校であることから、学年ごとに参観の時間をずらしたり、人数を制限したりしながら開催した。混乱なく実施することができた。

### 由木東小学校教育活動に係る支援及び地域と連携した取組に関すること

#### 保幼小中交流

幼稚園の園児が展覧会や学芸会の参観と校内見学を行った際に、5 年生が園児のお世話をした。6 年生は、多摩動物公園での「動物ガイド」を行い、保護者だけでなく、近隣幼稚園の家族も招いてガイドを行った。中学校とは、部活体験活動や、夏季休業中の補習教室にリトルティーチャーとして参加してもらうなどの交流を図っている。

#### 図書ボランティア

保護者から図書ボランティアを募り、図書室の整備や読み聞かせ等の活動を行っている。読み聞かせは、各クラスで、朝の時間を活用して実施している。

#### 学校探検(新1年生)・学校に泊まろう(4年生)

新1年生とその保護者を対象に、学校案内と紹介を目的とした「学校探検」を実施している。オリエンテーリングのように、校内の各所に設置されたアトラクションを親子で回り、学校に慣れ親しんでもらえる企画となっている。

「学校に泊まろう」は4年生を対象としており、段ボールハウス製作・アルファ米カレー・消防体験、また天体観測・牛乳パックで作るホットドッグ作りなど、おやじ会が中心となって実施している。

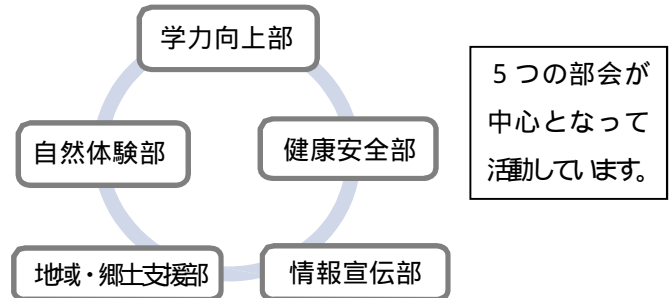


## 活動の目的・概要

「由木西小だからこそできる教育の実現」を推進するため、学校運営協議会は以下の役割を担い、学校教育活動を支援する。

- (1) 学校の基本方針について承認する。  
(教育目標・学校経営計画・教育課程の編成・学校の組織編制・予算編成・施設管理等)
- (2) 学校運営や職員の採用・任用について校長や教育委員会に意見を述べる。
- (3) 特色ある学校づくりを推進するために様々な活動を行う。

### 由木西小学校運営協議会 組織図



## 活動の特徴・工夫

### グリーンファミリーズとガーデニングラバーズ 自然体験部

学校林を利用した自然体験活動は、本校の特色ある教育活動の一つである。グリーンファミリーズは、学校林の自然を維持・保全する活動を行い、児童、保護者、卒業生、地域住民、教職員の交流促進を図ることを目的としている。また、ガーデニングラバーズは、学校の花壇や植栽の整備活動を行い、季節ごとの美しい草花で学校を彩っている。



学校林保全活動

### 交通安全ボランティア 健康安全部

登下校の安全を守るために毎日通学路に立ち、児童と笑顔で挨拶を交わし、コミュニケーションを図っている。



交通安全ボランティア

### 地域の歴史研修会 地域・郷土支援部

上柚木地区、鑓水地区の歴史研修会を実施している。令和4年度は永林寺を見学し、地域の史跡についての理解と愛着を深める企画を行った。学校運営協議会のメンバーと教職員、保護者の交流の機会となっている。



地域の歴史研修会

### 由木西小だより 情報宣伝部

毎月情報宣伝部から発行される「由木西小だより」では、学校の紹介や行事のお知らせを掲載している。また、この歴史ある地域の自然環境や史跡についての興味深い考察や、語り継がれる物語の連載、数十年前の由木西小の子どもたちが書いた作文の紹介など充実した内容となっている。

### 校内研究への参画 学力向上部

本校の校内研究テーマ「ICTを活用した学習活動を通じて『主体的・対話的で深い学び』の実現を目指す」の研究講師として本校の研究を支え、学習における適切なICT活用の指導・助言を行っている。



ガーデニングラバーズ



## 活動の目的・概要

教育目標「じょうぶな子 よく考える子 なかよくする子 がんばる子」を達成するため、学校・保護者・地域が協働する学校づくり、地域に根ざした、地域とともにある学校づくりを実現する。

- 1 学校を応援し、地域の実情を踏まえた特色ある学校づくりを進めていく。
- 2 小中一貫教育推進のため、3校合同学校運営協議会を行い、児童・生徒のよりよい育ちについて協議する。

### 3校合同学校運営協議会

鹿島小学校学校運営協議会  
松が谷小学校学校運営協議会  
松が谷中学校学校運営協議会



青少年対策  
松が谷地区委員会

鹿島連絡協議会

松が谷連絡協議会

## 活動の特徴・工夫

### ○小中一貫教育

松が谷中学校、松が谷小学校の3校で、「自ら考え判断し、行動できる児童・生徒」「自主的に学習に取り組むことができる児童・生徒」「思いやりや感謝の心をもった感性豊かな児童・生徒」「地域に愛着をもち、貢献できる児童・生徒」の育成を目指し、9年間を通じた教育課程の編成について協議している。

### あいさつ運動

青少対松が谷地区委員会と、本校の保護者と教師の会が、門に立って、「あいさつ運動」を行っている。登校してくる児童にあいさつをすると、少し照れながらも、すすんであいさつをする児童がたくさんいて、気持ちの良い一日のはじまりになった。地域と学校が一体となって、すすんであいさつをすることができる児童を育てていく。

### 鹿島から世界へ（外国語・国際理解教育）

平成30年度からイングリッシュルームで1年生から6年生まで英語に親しむ活動、英語活動、英語の授業を進めている。国際交流学習として、台湾の小学校の児童との直接交流を行っている。児童は、習った英語や手作りのイラストを使って、積極的に交流した。

### 地域とともにある学校

学校コーディネーターでもある学校運営協議会委員が、地域の方をゲストティーチャーとして紹介し、生活科等の授業で教えていただいている。令和4年度は、13名の方に来ていただき、1月に昔遊びを行った。2学期に行ったサツマイモの収穫祭は、地域や保護者の方々のお手伝いをお願いした。学校運営協議会と学校コーディネーターとの連携で、体験活動等の充実を図っている。

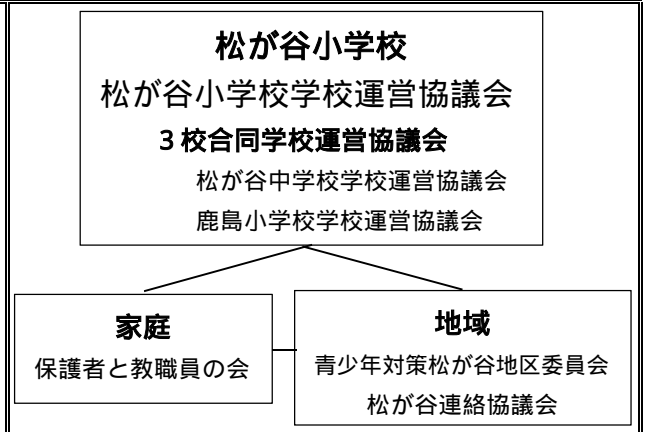




## 活動の目的・概要

地域の将来を担う子どもたちを自らの手で育成することを目的に、地域や地域にある教育機関と連携して、心豊かな児童を育成していく。

学校運営協議会の運営目標である「学校と地域との連携を確立し、学校・地域・保護者・教育機関が一体となって、生き生きとした活動を展開する」ことを目指して、地域や地域の教育機関と連携して、多様な活動を行う仕組みを構築していく。



## 活動の特徴・工夫

### 学校運営協議会での協議

「安全・安心な学校」を目指すため、感染症対応に留意しながら、「学びを止めない」方針のもとで、児童が生き生きと学ぶ場を保障する学校経営を支援する。

松が谷中学校、鹿島小学校と共に迎える3年後の創立50周年に向け、児童・生徒の育成方針と各種行事、地域づくりについて協議する。

### 学校運営協議会委員による行事・授業の参観・視察

道徳授業地区公開講座、スクールプレイフェスティバルなどの行事・授業の参観・視察を行うことで、学校・家庭・地域で共通した児童像をもち、その成長を支えるために、教育活動に対し助言・提言を行う。

### 低学年英語活動

英会話等学習指導補助者に協力を依頼し、抵抗感の少ない低学年段階から英語のコミュニケーションスキルを伸ばすことを目的とした英語活動を行っている。その結果、多くの低学年が英語でのコミュニケーションを楽しむことができ、年齢が上がっても積極的に英語活動を楽しむようになっている。

### 放課後英語活動

松が谷高校のESS同好会による放課後英語活動を3年生・4年生を対象に行っている。ESS同好会の生徒さんとALT、顧問の教諭が来校して、児童たちと英語でゲームや歌を楽しんだり、英語のフレーズを使って楽しくコミュニケーションを図ったりして、英語への関心を高めている。

### SDGs 学習の発表会

松が谷高校の1年生が総合学習で追究しているSDGsについて、松が谷高校の体育館に設置されたテーマごとのブースを、4年生が順番に回って高校生のプレゼンを聞き、SDGsの取り組みについて学びを深めている。

### プログラミング学習

必修化されたプログラミング学習を推進するため、中央大学と連携を図り、大学生が来校して、児童への学習支援を行っている。タブレット端末に馴染みがない児童もスムーズに使いこなせるようになっている。

### 小中一貫教育（松が谷中学校・松が谷小学校・鹿島小学校）

6年生が中学校で授業や部活動の体験を行ったり、合唱祭りハーサルを参観した。また、中学校教諭による出前授業も実施した。3校合同学力定着プロジェクトチームを設置し、各教科等の授業改善に取り組んだ。

## 活動の目的・概要

学校・家庭・地域の連携を深める  
 家庭の教育力・地域の教育力を取り入れ、開かれた学校づくりに努める。  
 個性を尊重する  
 子どもたちの個性を生かし、能力・適性に合った活動を展開する。  
 豊かな人間性を育てる  
 人間教育を基本に、福祉・ボランティア活動を推進する。

中山小学校学校運営協議会

学校コーディネーター

生き生き部会

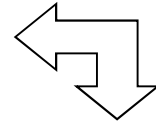
栽培・食育

元気な子部会

行事

のびのび部会

学習



地域・校内支援団体

おやじの会 ひまわりの会

放課後子ども教室

図書ボランティア

(読み語りの運営を含む)

## 活動の特徴・工夫

### ○読み語り、エコキャップ運動

朝の時間に、本の世界で落ち着いた時間をもつため、毎週水曜日、図書ボランティアや教員による読み語りを各教室で実施している。

また、児童会が中心となり、エコキャップ運動（児童や地域の方が持ってきてくださるキャップを集めて、発展途上国へ支援をする活動）を推進できるように、活動を継続的に支援している。



### ○焼きいも祭り

さつまいもの栽培活動を支援し、収穫を祝い焼いて食べる活動までを、子どもたちと一緒にやっている。焼きいも祭り当日は、おやじの会の協力を得ながら、校庭でかまどのセッティングから後片付けまで協力してやっている。



### 環境整備

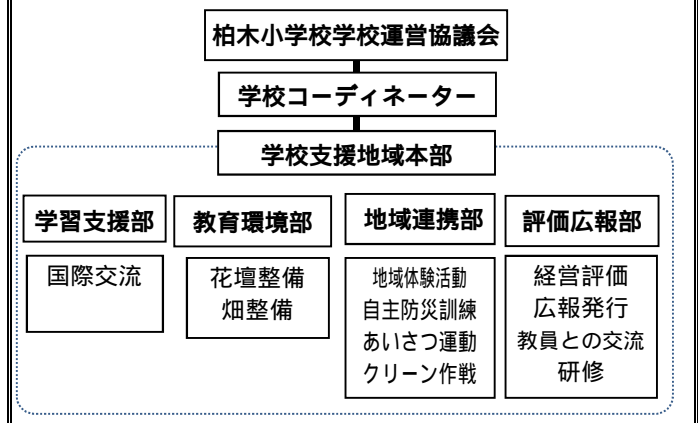
学校の正門前や、校舎の周りの花壇の花植えや手入れなどを、定期的に行っている。

また、児童が大好きな校舎裏手のピオトープの維持のための環境整備や手入れ、清掃活動等も、適時実施している。



## 活動の目的・概要

持続可能な地域づくり、自治力のある人材の育成を目指し「明日を生きる力を育むために」というテーマのもと、地域の将来を担う子どもたちを地域自らの手で育成することを目的とし活動している。学校運営協議会の役割である「学校と地域とのパートナーシップを確立し、地域全体で教育活動の質的向上を支援していくこと」をベースに、学校・地域・保護者が一体となって多様な学校支援活動等を行う仕組みを構築している。



## 活動の特徴・工夫

### ○学校運営に関する承認

- ・学校経営計画や教育課程、学校予算の承認、児童や保護者の学校評価に関するアセスメントを行った。
- ・学校や地域の取組に関すること、学校の課題や児童・保護者対応に関することについて協議を行った。
- ・教職員の人事に関することについて、協議を行った。



### おはようコミュニケーション

南大沢中・南大沢小との3校学校運営協議会で「あいさつができる子」の育成とそれを支える地域づくりを目指し、毎月第一水曜日の朝にあいさつ運動を行っている。

### 「本物との出会い」体験

コロナ感染症対策のため、例年の体験活動は中止になってしまったが、「国際理解教育」を実施した。



### ○展覧会

親子鑑賞ができなかったため、「音声読み上げペン」で児童の作品解説が聞けるようにした。会場内に「学運協コーナー」を設け、運営補助を行った。児童のプログラミング体験も行い、興味をもたせることができた。



### ○教員との連携

教員との交流や研修を実施し、児童理解に役立てることができた。



### 花壇・畑整備

校地内に畑を作り、地域の方の協力のもと、野菜を栽培している。収穫した野菜は給食食材としても使用し、食育にもつなげている。また、近隣保育園との交流として保育園児が収穫にきた。保小連携にも栽培活動が一役買っている。花壇やプランターで花を育て、「花いっぱい運動」に取り組み、飼育・栽培委員会が中心となって、学校環境の整備を図っている。自然愛護や生命尊重の学びにもつなげられた。





## 活動の目的・概要

学校に対する地域の興味関心を高め、将来、地域の核となる学校づくりに向け、学校や学校と地域がともに考えるべき問題・課題を地域と学校がともに話し考える場(学校運営協議会)を中心に共同運営する地域運営学校を目指して、熟議を重ね活動を展開している。

「みなみ会」(保護者と教職員の会)・南大沢地区3小中学校及び幼保育園・青少対南大沢地区委員会等地域諸機関との連携を図り、「地域の子どもたちを地域で見守り、地域で育てる」との意識のもと、多様な学校支援活動や放課後支援を行っている。



## 活動の特徴・工夫

○協議会での協議事項として、「コロナ禍における学校が必要としている支援と、どのように学校運営協議会委員がその支援に応えていくのか」、「学校と連携した教育的人材開発」、「南大沢中学校区の連携」があげられる。

学校運営協議会の場で、教員から学習支援に関するニーズを把握し、地域の施設や人材との橋渡し役となり、委員自身が次にあげる活動への参加を通し、児童・保護者とともに汗を流す場面があった。

### (1) 農園活動

地域の方の支援を受けて、全学年で農園活動に取り組み、稲作については、田んぼ作りから精米、米や稲わらの利用まで御指導いただき、豊かな実りの喜びや農作業の体験をさせていただいている。



### (2) 保護者への制度理解支援

保護者に対して、地域運営学校としての理解促進を図るとともに、「みなみ会」(保護者と教職員の会)や放課後子ども教室、サタデースクール等の学校が主体ではない児童に関わる地域組織の活動について、学校説明会などで学校運営協議会委員が説明をする場を設けている。また、毎月小中3校合同の挨拶啓発活動である「おはようコミュニケーションデー」の開催や地域の保育園・幼稚園に学校や地域の行事についてまとめたパンフレットを置き、活動への参加や学校・地域についての理解を深める活動を行っている。



### (3) 学習支援

主に社会科や生活科・総合的な学習の時間・特別活動(児童活動)で、地域の方から戦争体験や昔の地域の様子等のお話、縄ない・わら細工・昔遊び・身の回りの自然について教えていただいている。また、全校に向けて学校公開の時間を活用し、防災教育を実施した。



## 活動の目的・概要

○教育目標「みなぎる力 やさしい心 考える知恵 見たす世界」を達成し、地域の将来を担う子どもたちを育成するために、地域運営学校として地域との連携の充実を図る。

地域運営学校としての特色を活かした学校教育活動を充実させる。

宮上中学校グループ(3校)の学校運営協議会が連携を図りながら、学校支援体制を確立する。

宮上小学校  
学校運営協議会

三校合同分科会

・漢字検定  
・秋祭り

【熟議】

地域学校協働活動推進員

【支援】

<協議事項>

・学校経営計画の承認  
・英語講師の招聘  
・プログラミング教室の開催について  
・学運協主催行事開催について  
・学校評価に関する意見交換  
・学運協会計報告  
・今後の学運協の開催の在り方 等

<特色ある取組>

・英語講師の招へい  
・夏休みイベントの開催  
・宮上中学校区秋祭りの開催  
・漢字検定の実施

## 活動の特徴・工夫

## 1 英語講師の招へい

地域の英語教育で実績のある講師の招へいという形で、充実した英語活動を行っている。子どもたちへの授業のほか、英語講師の授業を教員が参観することにより、英語指導のスキルを高めることにつながっている。

昨年度に引き続き、令和4年度も平日に開催した学校運営協議会の際に英語の授業を参観する機会があった。英語講師の授業はとても充実しており、子どもたちがとても楽しそうに授業を行っていた。

令和5年度も昨年度と同様に英語講師の招へいを行い、子どもたちの授業や教員の英語指導スキルを高めていきたいと考えている。

## 2 夏休みイベント「チアリーディング体験と花火の夕べ」の開催

昨年度に引き続き、学運協の主催行事として、子どもたちに感動を与えられるようなイベントを行いたいという願いから、今年度は「チアリーディング体験と花火の夕べ」を7月29日に開催した。

子どもたちからは「楽しかった」という声が多く聞かれ、また一緒に参加していた保護者からも「とても良かった。次回は子どもが喜ぶ企画に協力したい。」などの嬉しい言葉をいただいた。

チアリーディング体験



チアリーディング演技



花火の夕べ



## 3 3校合同による漢字検定の実施

今年度、宮上中学校グループ(宮上中学校・下柚木小学校・宮上小学校)の3校の学校運営協議会が主催し、本校を会場として合同で漢字検定を実施した(1月28日)。これは初めての取組であったが、学校運営協議会が主催することにより、持続可能な取組になると考えており、合同で実施することで小学生が中学校で行われる英語検定に参加する事も可能になると考えている。今後もよりよい実施方法等を3校で模索していきたい。

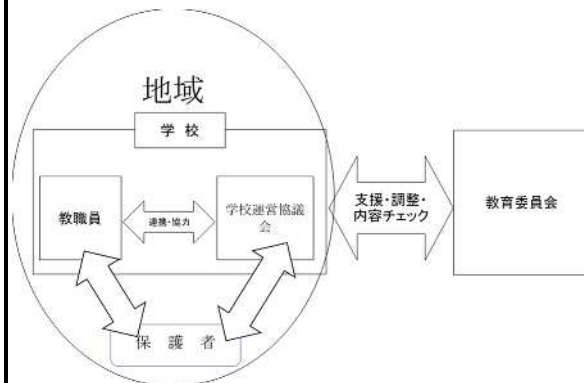


## 活動の目的・概要

本校の開校は平成2年4月である。開校当時は学校周辺の児童が多く在籍していたが、世代が変わりゆく中で、野猿街道やニュータウン通りを越えてやや遠距離を通学してくる児童が増え、児童数全体の増加とともに交通安全等に対する懸念が増大している。地域運営学校として活動するにあたり、児童の安全・安心を第一に、地域とのつながりを強め、「子どもたちのために」共生し活動する学校をつくる。

### 【学校運営協議会を中核とした取組】

交通安全や花壇などのボランティアの活性化  
サマースクールを中心とした地域の大学や企業有識者との連携事業の推進  
読み聞かせや英語ボランティアによる授業支援  
地域と連携した避難訓練などの緊急時対応の充実  
放課後子ども教室の拡充などによる児童の居場所づくりの創生



## 活動の特徴・工夫

### 別所フェスティバルの実施



秋葉台小学校では、夏季休業中に行う「補充学習」と保護者・地域の方のご協力のもと行う体験的な学習講座を合わせて秋葉台・サマースクールを行っている。

また、例年「別所フェスティバル」を保護者の会と連携し学校運営協議会で開催していた。また、地域、保護者がブースを担当していたが、令和4年度は、コロナ過のため内容を変更し、子供まつりを企画した。参加児童は551名で、子どもたちにとって久しぶりの大きな行事となり、生き生きと活動できる場となった。

令和4年度もサマースクールはコロナ感染予防のため、直前で中止となったが、令和5年度はコロナ感染症が落ち着きを見せているため実施する予定である。

### ボランティアによる活動



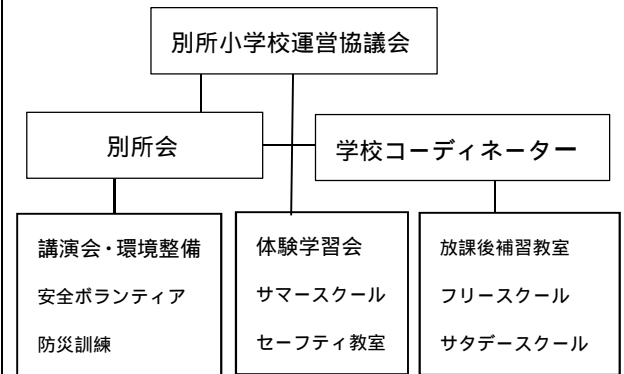
秋葉台小学校では、ボランティアによる活動が充実している。四季折々の花を植え、きれいに整えている花壇ボランティア、毎週火曜日朝に読み聞かせを行い、図書室の掲示や蔵書の整理などに力を貸してくれる図書ボランティア、野猿街道とニュータウン通りを横断するなど学区が広がった本校の交通安全に力を貸してくれる交通安全ボランティア、外国籍の児童や保護者への支援を行う外国語ボランティアなど多くのボランティアが学校コーディネーターを軸に活動している。中でも特色として挙げられるボラン

ティアが「交通安全ボランティア」である。これは平成30年度に立ち上がったボランティアで、広い学区や大きな幹線道路2本を挟んだ学区のため、地域・学校全体で取り組む必要がある。犬の散歩、ランニング、日々の生活の中で交通安全や防犯に取り組む事として、全家庭への黄旗・オリジナルバンダナの配布、希望者への防犯ランニングベルト・散歩バック等の配布を行い、地域全体で子供たちを守る意識を高めた。



## 活動の目的・概要

学校経営方針の「チャレンジを大切にできる学校」の具現化をめざし、地域で育つ子どもたちのチャレンジを応援し、生きる力を育てるための様々な体験学習等の活動を通して学校・保護者・地域が協働した学校づくりを実現する。



## 活動の特徴・工夫

### セーフティ教室

学校との協働事業として、ファミリー e ルール講座の講師を招き、SNSに関する講演会を行い、児童は、SNSの危険性や自分の身の守り方について学ぶことができた。保護者へは、「子どもの安全をどう守るか」というテーマで講演と意見交換を行い、地域で子どもの安全を守っていくための考えを深める活動となっている。



### 土曜日・夏休み体験学習・学習支援ボランティア活動

放課後の補習や土曜日・夏休み体験学習として、地域・保護者の方に協力してもらい、学校の図書室や家庭科室等で補習や体験教室を行っている。子どもたちのチャレンジを大切にできる機会になるとともに、地域で子どもたちの健康や安全を守るという意味でも有効な活動となっている。



### 地域の教育力の活用

地域の方や地域のプロアスリートを講師として招いた体験授業により、子どもたちが将来への夢や希望をもち、キャリア教育につながる活動となっている。



## 活動の目的・概要

## 学校運営協議会運営目標

- ・愛宕小学校児童の「生きる力」を身に付けさせる教育充実のため、地域住民の潜在能力を活用することにより、社会との接点を保持しつつ、より一層の支援を行う。
- ・様々な実働的支援活動を通して、学校・家庭・地域が連携を強め、地域住民による協働を推進する事によって、子どもを取り巻く地域環境そのものを向上させる。

総務・学校運営協議会だよりの発行各種事業の会計業務

## 環境整備担当

- ・学校図書館
- ・学校事務 用務との連携

## 行事企画担当

- ・放課後子ども教室推進委員会
- ・愛宕 Camp 実行委員会
- ・漢字検定実行委員会
- ・講演会企画
- ・保護者ケア（さくらの会）
- ・授業サポート
- ・卒業式児童サポート

## 地域連携担当

- ・町内会担当
- ・保幼小担当
- ・医療機関担当
- ・人材活用担当（地域住民・近隣大学）

## 活動の特徴・工夫

## 愛宕Camp

夏休みに学校施設を利用した児童の防災体験活動を実施。地域の方や卒業生等にボランティアとして参加してもらっている。例年愛宕Campでは、防災体験だけでなく、お菓子作りやプール遊び、火起こし体験などの毎年恒例の行事の他、星空観察や音楽鑑賞、チャンバラなど新しい企画を取り入れて活動を行っていた。また、夜間は、市から借りた防災用の毛布などを使用し、校庭に張ったテントや体育館でダンボールを使用して仕切りの中に泊まる宿泊体験を行っていたが、今年度は、感染症拡大防止のため防災体験のみ行った。

## 教育支援

学校コーディネータを中心に地域の方や近隣大学の学生等を巻き込んで、活動を展開し、学校と地域が一体となって子どもを育てていくための体制づくりを構築している。

学習支援やキャリア教育授業をはじめ、たけのこ掘りや地域防災訓練等の体験活動も実施している。地域の方による放課後の音楽指導を経て、青少年音楽祭での発表会に参加する児童もいる。

また、土曜日に保護者と地域住民で練習を重ねた「スポーツ鬼ごっこ」では、大会にも出場している。

## 放課後子ども教室

子どもの居場所づくりとして、放課後子ども教室への参加が増えている。令和5年度から朝の時間の放課後子ども教室を実施し、始業までの時間に校庭で遊ぶことができるようにする。



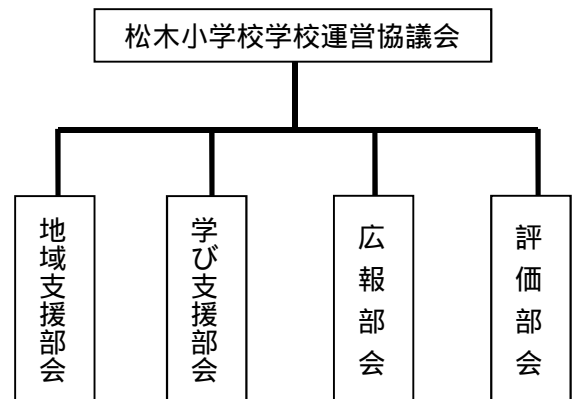


## 活動の目的・概要

## 活動方針

学校経営方針の「自己実現できる学校」を目指し、「みんなの子どもをみんなで育てる」ことを重視した学校・家庭・地域協働の学校づくりを実現する。

- ・ 松木中学校区3校合同協議会を行い、学校とともに地域等が連携し、参画意識の向上に努める。
- ・ 学校運営協議会が核となり、実働できる人材の確保と実働支援組織の立ち上げを行う。
- ・ 広報・HPなどを活用し、地域運営学校の趣旨や活動内容について積極的に周知する。



## 活動の特徴・工夫



## 放課後・夏休み学習会

5月から10月・3月の金曜日の放課後、夏休みの3日間、開催。指導者は保護者・地域の方、学生にお願いし、毎回100名程度の子どもが参加している。



## 学習支援ボランティア

コーディネーターを中心に、ニーズに合わせて、年間を通して募集をしている。ボランティア登録者専用メールがあり、円滑な運営ができるようになっている。



## まつぎプリントはなまる先生

自分の課題に合わせて自由に取組める「まつぎプリント」を、毎日、保護者・地域の方が「はなまる先生」になって丸つけをしている。毎年1万枚以上の提出がある。



## 学校運営協議会通信

ボランティア活動の理解と協力を得るために、その様子や感想等を掲載し、年1回通信を発行。カラー印刷にすることで購読者が増加している。



## 教職員との交流

学校運営協議会と教職員のコミュニケーションを図ることを目的に本音トークの会を開催。教職員の思いを直接聞ける良い機会になっている。



## 漢字検定

「級合格！」を目標に、毎年多くの子どもが参加。受検監督は保護者・地域の方にお願いしている。毎年挑戦する子どもも多く、成績優秀者は朝会で表彰している。

その他の活動として、松木中学校区3校合同学校運営協議会、学習支援各種ボランティア（授業支援・校外学習引率補助・新1年生生活指導補助・低学年水泳着替え指導補助）、特別支援ボランティア、松木小学校避難所運営会設置・防災訓練等を展開している。



## 活動の目的・概要

宮上中学校区の学校運営協議会と連携を図りながら学校支援体制を確立する。

「地域運営学校」としての取組を充実させ、保護者・地域の教育力を発揮しながら、協働した学校運営を推進する。

## 学校運営協議会

(下部組織として)

## 5委員会

【学力向上委員会】【学校図書館推進委員会】

【放課後見守り委員会】【地区班担当委員会】

【学校林活用推進委員会】

## 活動の特徴・工夫

## 学校運営協議会の活動内容

主に学校運営承認機関としての役割を果たし、平成27年度から学校運営協議会に下部組織として4つの委員会を設置し、平成28年度には、さらに1委員会を加え活動している。

学期に1回、拡大学校運営協議会を開催し、保護者・地域・関係機関と学校とが協働して、児童の健全育成に取り組む仕組みづくりにより、学校運営協議会を軸に「地域運営学校」としての運営力が確実に発揮されている。

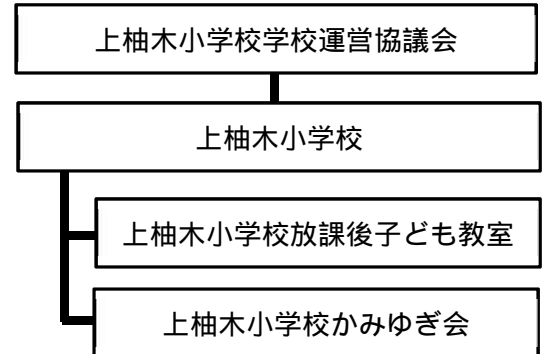
- (1) 学力向上委員会：平成25年度に「放課後算数教室」(通称・下柚木道場)を開始。3年生以上の入門希望児童(対象児童の約20%)が、東京都ベーシック・ドリルを活用して学習している。また、授業時間にも保護者や地域からボランティア支援を募り進めている。
- (2) 学校図書館推進委員会：毎週金曜日、朝の読み聞かせ(全学年)学校図書館整備、寄贈図書運動の推進などを主な活動とする。平成29年度からは、休み時間にも読み聞かせを行い、毎回約3分の1の児童が参加している。
- (3) 放課後見守り委員会：主に放課後子ども教室の企画・運営に携わり、委員の人選等も行っている。地域や施設使用団体、近隣中学校とも連携し、同時間帯に催し等を実施している。
- (4) 地区班担当委員会：各地区の担当者(保護者)と学校とが意見交換をして課題解決に当たっている。拡大学校運営協議会の回を重ね、PDCAが機能してきたため、円滑な運営につながっている。
- (5) 学校林活用推進委員会：八王子市都市公園指定管理者等の支援の下、講師やボランティアの協力を得て、計画的に学校林を活用した学習を進めている。特に5年生は、環境学習の観点から、学校林の自然観察を行い、森林保全についてレクチャーを受けるなどの体験的環境学習を実施している。

左から、下柚木道場  
朝の読み聞かせ  
学校林学習活動 風景



## 活動の目的・概要

学校長の経営方針を理解し、学校運営協議会として情報共有等しながら、学校と家庭・地域が連携した上柚木小学校らしい地域運営学校の運営を目指すため熟議を重ねている。(上柚木小学校学校運営協議会として、どんなコミュニティスクールを作れば、学校と家庭・地域が連携した学校づくりが推進できるか、保護者・地域に何を・どう発信していくか)



## 活動の特徴・工夫

### 漢字検定

学校運営協議会設置以前(平成26年度)から、学校コーディネーターの活用により、児童・保護者の参加を促し、年2回の漢字検定を実施している。学校運営協議会を設置した平成29年度からは、学校運営協議会のバックアップにより、地域人材の確保や検定運営に協力している。令和4年度は英語検定も実施した。

### 星空観望会

令和4年度からの新事業として、「星空観望会」を実施した。コニカミノルタサイエンスドーム館長と八王子天文同好会に協力を依頼し、理科を専門とする教員が中心となって企画した。当日は学校運営協議会メンバーも運営に協力し、参加児童とその保護者が安全に参加できるように見守った。



### 放課後子ども教室「ゆずっこひろば」との連携

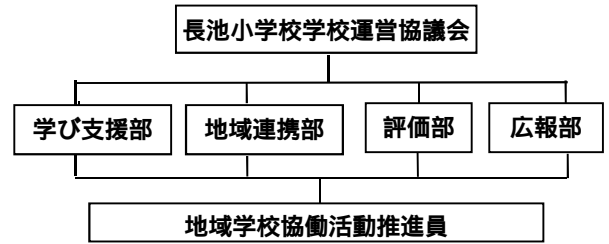
放課後の子どもの居場所として保護者の有志が自発的に立ち上げ、学校運営協議会と連携しながら活動している。毎日実施しており、放課後の子どもたちの居場所として、重要な役割を担っている。校庭遊びだけでなく、複数の教室を使って室内遊びや工作遊びなど、多くの児童が楽しい時間を過ごしている。さらには、週1回の学習教室や音楽教室、地域のスポーツ団体と連携したスポーツ教室、サタデー教室と活動は多岐にわたり年々充実している。スタッフは、児童にとって『信頼できる地域の大人』であり、保護者にとって『安心して子どもを預けられるご近所さん』となっている。



活動の目的・概要

長池小学校の学校経営方針の具現化を目指し、学校・保護者・地域が協働する学校づくりを実現する。

- ・学校・家庭・地域が連携し、児童の健全育成に努める。
- ・中学校区3校と連動し、E S Dの構成概念である公平性「一人一人を大切に」、連携性「力を合わせて」を目指して地域の教育力を向上させる。
- ・学校運営協議会が核となり、学校教育への協力者を確保する。
- ・広報活動により、地域運営学校の主旨や活動内容について積極的に周知する。



「学び支援」「地域連携」「評価」「広報」の4部会を設置し、活動を分担して推進。松木中、松木小の各学校運営協議会でも同じ部会を設置し、3校合同学校運営協議会としての活動も展開。

活動の特徴・工夫



子育て応援講座の開催

八王子市元教育委員 興水かおり先生をお招きし、保護者の悩みや疑問に答える保護者向け子育て応援講座を実施。



あいさつ運動の実施

あいさつの大切さを子どもの社会性を育てるための一つ的手段として取り入れ、あいさつ運動を推進。



いじめ対策委員会への参加

長池小学校のいじめ対策委員会へ参加し、長池小のいじめ対策について、教員との意見交換を実施。



保護者や地域との連携

登校時の危険個所について学運協として検討し、児童の登校時の見守り活動を企画、実施。



漢字検定の実施

年間1回、土曜日に長池小の児童を対象に漢字検定を実施。(4・5・6年生が実施)



学校運営協議会だよりの発行

学校運営協議会だよりを発行し、広報活動を実施。また、3校合同学運協のお便り、HPも作成。

その他の活動

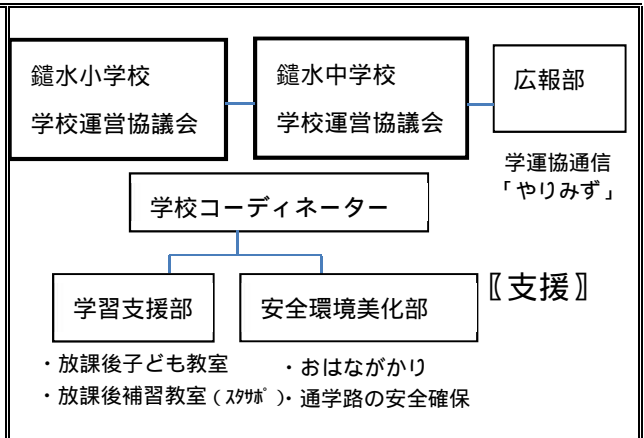
松木中学校区3校(小学校2校・中学校1校)合同学校運営協議会(年間2回)  
 学校運営協議会とながいけ会(保護者の会)との意見交換会 避難所運営会運営の補助  
 浄瑠璃祭りの企画・運営 子どもたちの居場所づくり(ぬくぬく) 教職員との懇談会 等



活動の目的・概要

学校・保護者・地域が協働して、学校教育目標「本気で考える子 勇気をもって行動する子 元気で心豊かな子」の実現を目指すとともに、ふるさと鏡水（八王子）を愛する子どもを育成する。

- 1 学校運営協議会は、学力向上、子供の安全確保、学校・地域の環境美化と地域防災という3つの学校経営課題の改善に向けて、具体策の評価・改善・拡大などを一層推進する。
- 2 学校運営協議会は保護者・地域住民に活動を公表し、支援者の一層の拡大を図り、子供と一緒に育てる『共育』（ともいく）を推進する。



活動の特徴・工夫

放課後子ども教室の充実

放課後子ども教室およびスタサポ（放課後補習教室）でのスタッフ募集を行い、学習支援活動の充実を図る。

緑あふれる学校づくり

おはながかりのボランティア募集増員を図り、学校花壇やみどり広場の整備を行う。

通学路の安全確保

児童の安全確保のため、青少対との連携によるパトロールや、通学路の夏草刈り、落ち葉掃き、融雪剤散布等を行う。

小中学校運営協議会の連携

鏡水中学校学校運営協議会とともに、鏡水地区の子どもの成長を支える基盤を整備する。また、広報活動を一本化し、学習支援部や安全環境美化部の具体的活動の様子や成果などを「学校運営協議会通信やりみず」にまとめて発行している。



放課後子ども教室



通学路落ち葉掃き



「学校運営協議会通信やりみず」



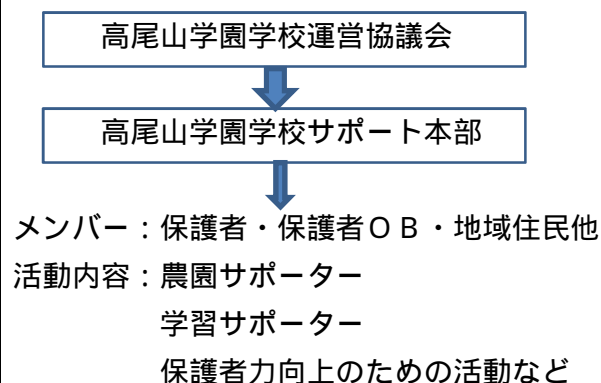
運動会ボランティア



花いっぱい活動

## 活動の目的・概要

- 高尾山学園の教育目標の効果を最大限に高める環境づくりのため、市教委と連携しつつ、「不登校対策拠点校としてのあるべき姿の協議」及び「高尾山学園の抱える課題を明確にし、具体的な改善や対策の協議」を行う。
- 学校運営協議会委員を中心として下部組織として「学校サポート本部 ( T S n e t )」を立ち上げ、保護者や保護者OB、地域住民などが活動できる場を創設している。



## 活動の特徴・工夫

### ○運営協議委員による意見交換会及び研修

学校運営協議会委員には複数の学識経験者が参画しており、学校運営協議会委員による保護者との意見交換会や情緒障害、発達障害の理解の他、様々な市の支援や助言を受けられる意見交換会及び研修を実施している。

### ○学校運営に関する協議

本校学校運営協議会委員の豊かな知識を生かし、不登校対策拠点校として抱える課題を明確にし、具体的な改善や対策の協議を行っている。

また、年度当初には、教員全員と学校運営協議会委員が面談を実施し、教員の抱える課題などに対する確かなアドバイスをし、円滑な子どもへの指導が行えるようにしている。

### ○地域ボランティアを活用した「学力と社会性の向上」への取り組み

地域住民の方々を活用し、「講座学習」への学習支援や、「落ち葉拾い」等を実施し近隣住民とのふれあいを通じ、「学力と社会性の向上」への取り組みを行っている。

### ○学校サポート本部（通称：T S n e t）の取り組み

平成27年度に設立準備を行い、平成28年度から運用開始。

本校にはPTA組織や青少対、育成指導員、子どもの会などの支援組織がない。また、保護者も八王子市全体に点在し、かつ途中転入生が多くを占めるため、横のつながりがもちにくい環境となっている。そこで不登校対策の一つとして「保護者力向上（参画意識や保護者の体験活動）」を目的として「学校サポート本部」を立ち上げ活動を行っている。学校運営協議会委員が中心となり、教職員と連携して活動企画やボランティア募集、イベントの実施、コーディネーションを担当し保護者の参加を促している。

また、近隣団地住民との交流の場として、農園サポーターを導入し小学部の農園支援だけでなく、「落ち葉拾い」や団地の方々との交流を深める「館ヶ岡団地謎解き巡り」などの交流を図っている。

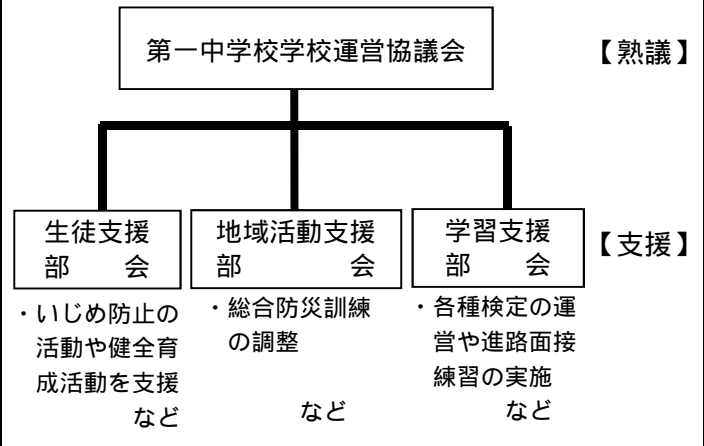
- ・図書ボランティア・・・図書司書による読み聞かせ教室や整備活動支援
- ・農園サポーター・・・近隣団地住人による学校農園での作業支援
- ・放課後カフェ・・・運営委員、民生児童委員によってカフェで保護者と地域、児童生徒の交流会

## 活動の目的・概要

学校運営の報告や教育活動アンケート、授業の参観や懇談などから学校運営の状況を把握・分析し、熟議を重ね、改善策を提言する。

学習状況アンケートなどから、生徒の学習状況の実態を把握・分析し、放課後学習教室などの学習機会を支援する。

学校と地域が連携する総合防災訓練を充実させ、生徒に地域の担い手としての意識づくりをする。また、防災への具体的な技能習得を支援する。



## 活動の特徴・工夫

### 学力向上に向けた協議・取組

学校運営協議会では、学力向上に向けて、放課後学習教室を継続していくことを決定した。ボランティアを探すにあたり、指導・助言を行った。また、年度途中で人数が増えた特別支援学級での個別学習支援について協議し、ボランティアによる補助の必要性を確認した。その結果、学力向上のための取組の支援として、ボランティアの方に依頼し、週に1回放課後学習教室を実施。特別支援学級での個別学習支援を週2日程度実施した。

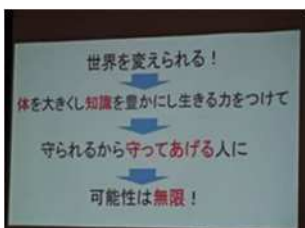
### 円滑な学校運営に向けた協議・取組

学校運営協議会では、教育委員会からの連絡により、本校が昨年度にがん教育の取組が行えなかったことから、年度内に実施する必要性を認識し、当初予定していたSNS講座を変更し、喫煙防止教育を実施するという学校の提案を協議し、了承した。喫煙防止教室は1・2年生を対象に実施し、近隣大学の講師・国立がんセンター職員の方を講師としてお招きし、1年生ではクラスごとに、2年生では学年全体で講演を行った。

また、第一中学校がキャリア教育として実施している、道徳授業地区公開講座での講演に、本校の卒業生である舞台演出家に依頼することを協議し、決定した。運営支援として、講師の招へい、学年ごとに計3回の講演を半日の中で実施した。



### 地域と連携した総合防災訓練



「学校と地域が連携した総合防災訓練」は、学校運営協議会の会長が実行委員長を務めている。学校運営協議会は、生徒と地元消防団、地域の消防署、市の防災課と、地域の企業が連携した防災訓練となることを目指し、協議を重ね、具体的な方法を模索した。しかし、コロナ禍のため、企業の防災関係部署と調整がつかず、実技を伴った訓練ではなく、消防署長を講師とした講演を行った。

### 学区内の3小学校の学校運営協議会との連携

学校運営協議会委員が学区内3小学校の会議に参加することで、協議会レベルでの小中連携を深め、義務教育9年間の取組を模索している。

### 進路決定に向けた支援、健全育成のための支援

学校運営協議会委員が自ら面接練習を行い、進路決定に向けた支援を行っている。



## 活動の目的・概要

校訓「自律」 学校教育目標「進んで学ぶ生徒」「心の豊かな生徒」「協力し勤労する生徒」を学校、家庭、地域の協働により達成する。

学校運営協議会を年6回開催し、学校とともに家庭・地域社会が連携した学校づくりを推進する。地域住民や保護者に対して、運営目標や協議の結果を情報提供していく。

運営目標を「授業の充実」「地域貢献」とし、学校運営協議会として熟議を重ね、支援を行う。

【熟議】

学校運営協議会

学校

【支援】

地域学校協働活動推進員

【学校活動支援】

- ・定期考査前学習教室
- ・安全ボランティア

【地域活動】

- ・ふれあい講座
- ・地域清掃

## 活動の特徴・工夫

### 基礎学力定着に向けた協議

学校運営協議会では、生徒の学力向上に寄与するために、基礎学力の定着に向けた取組について熟議を重ねた。

学校運営協議会委員が授業観察を行ったり、校内研究の研究協議に参加したりして、授業での指導方法、家庭学習や学習教室での工夫について教員とともに協議した。



### 定期考査前学習教室

定期考査前に年20回の学習教室を実施している。生徒からの質問に対するきめ細かな指導のためには、人材の確保が必要となる。令和4年度は、学生インターンシップによるサポートのみとなったが、地域学校協働活動推進委員とともに地域人材の発掘、近隣大学との連携を図っている。

学習教室での生徒からの質問も増え、学習意欲も少しずつ高まっている。学力調査においても市平均値に近づいてきた。



### ふれあい講座

生徒がスポーツや伝統文化にふれること、地域とふれあうことをねらい、下記のような講座を10以上開設して年2回実施している。指導は、地域の方々（約50名）にお願いしている。

講座では、生徒が普段できないことを体験したり、興味関心を深めたりすることができた。また、実施後は地域の方から「もっと教えたい」「生徒から元気をもたらしている」という声も聞こえてきた。生徒は地域の方々とのふれあいを通して多くのことを学んでいる。

「卓球」「ネオテニス」「剣道」「サッカー」「ダブルダッチ」

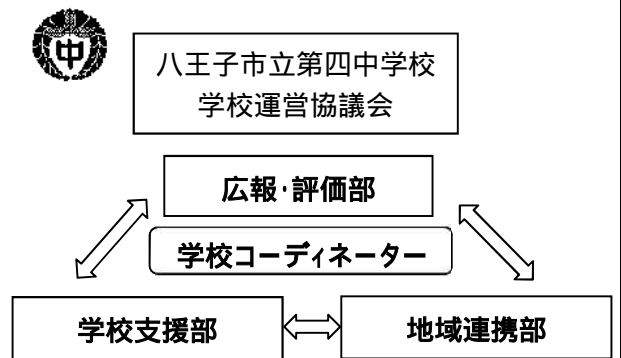
「囲碁」「箏」「お手玉」「手話」「和太鼓」「写真教室」「民謡踊り」



## 活動の目的・概要

本校の校章『藤の花房』のごとく、一人一人の子どもの輝きが美しい花房となり、それを温かく力強く包み込む地域社会となるよう、学校運営協議会がパイプ役となり協働体制を構築する。

- 学校運営に関する熟議
- 保護者、地域住民の学校運営への参画促進、連携
- 開かれ信頼される学校づくり
- 義務教育学校に向けた準備



## 活動の特徴・工夫

### 学校運営、教育活動に関する協議 教職員との連携

年間3回以上の学校運営協議会委員と教職員の協議会を行っている。『持続可能な社会の実現に向けて、子どもたちが地域と共に学べること』『前期学校評価アンケート結果を踏まえ、後期教育活動の充実に向けて』『地域全体で子どもたちの道徳性を育むために』などをテーマとして意見交換を行い、育てたい生徒像を共有し、教育活動への具体的な連携体制を築いている。



### 学校コーディネーターを中心とした教育活動への支援

学校コーディネーターを中心として、学校支援部、地域連携部、PTA、青少対と連携を図りながら教育活動への支援を進めている。花ボランティアによる校内環境整備、学校図書館の蔵書点検や整備、朝の挨拶運動、放課後学習クラブ、授業への支援など、地域社会の力を教育活動に活用できる体制を築いている。



### 学校関係者評価の取組

学校が1年間の教育活動について、保護者・地域・生徒によるアンケート調査結果や授業評価等を基に成果と課題を明らかにし、次年度の教育活動における改善点を示す自己評価を行っている。学校が示した成果と課題、改善点などの自己評価について、その妥当性や今後の方向性について学校運営協議会で熟議し、次年度の教育活動への指針を提示するための学校関係者評価を行っている。





## 活動の目的・概要

- 学校運営方針の承認と学校運営への支援。
- 年間 10 回の協議会を開催し、地域とともにある学校づくりを目指す。  
「歴史と伝統のある地域社会、卒業生、保護者等の思いをつなぎあわせ、子どもたちの成長のために、具体的な行動へと道筋をつけ育成環境を創り上げる。地域の子どもの育てるという観点から、小中（一小・四小・五中）合同学校運営協議会を実施している。



## 活動の特徴・工夫

### 学校運営協議会委員と教職員の連携

年度当初に、学校運営協議会委員と教職員が目指す生徒像・学校像・教師像について、夏季休業中には「いじめ防止」「学級経営」「道徳授業」等の教育活動に関する協議を行っている。相互に顔の見える関係づくりを進めるとともに、教育活動を客観的に見つけ、具体的な改善策を考えることのできる時間となっている。道徳授業地区公開講座では、協議に参加してもらい、地域の子は地域で育てる観点から、お話をいただいている。1・2月には学校の自己評価に対する学校関係者評価を実施している。



### 文化芸術・スポーツ講演会の実施

地域連携部が中心の活動で、世界で活躍する方たちを招へいし、本物に触れることを目的としている。今年度は、「子どもを笑顔にするプロジェクト 八王子市版」として、講師の招へい、企画、当日の進行に至るまで、学校運営協議会と協力し、実施した。桂幸丸さんら落語家の生の話を聞くことで、言葉からイメージを広げることの楽しさを体感した。また、卒業間近の卒業生に向けて、フラチナリズムに演奏、講演いただき、音楽の力で集団が笑顔になる大切な時間を過ごすことができた。



### 五中応援団による支援

学校支援部・学校コーディネーターを中心に、P T A・地域との連携を図りながら教育活動への様々な支援を進める「五中応援団」のコーディネートを行っている。「放課後楽習会」「学校図書館ボランティア」「体育大会等学校行事支援」「学習見守りボランティア」等の充実を図り、子どもたちの育成環境の質を高めている。





## 活動の目的・概要

「志高く、高い目標・理想の追求」「グローバル人材の育成」を目指し、年8回の定例会での評議のほか、4つの事業に取り組んでいる。特に、学習支援事業であるマンデイクラスは、教育サポートセンターコーディネーターが約30名の学習サポーターと連携し、生徒の自主学習支援にあたっている。

また、地域総合防災訓練は災害時に共助の精神のもと、地域とともに動ける生徒の育成を目指し、総合的訓練を実施。平成28年度から生徒も町会ごとに分かれ、同じ地域の方と訓練をしている。

青雲の学舎 第六中学校

## 学校運営協議会

## 学習支援事業

マンデイクラス  
生け花教室 他

## 地域連携事業

地域総合防災訓練

研修事業(6月)

## 学校評価事業

教育活動アンケート

## 活動の特徴・工夫

## 学習支援事業

- ・教育サポートセンターコーディネーターと、地域の人材との連携による、生徒への各種学習支援活動
- ・マンデイクラス(放課後自習教室)
- ・寺子屋(テスト前自習教室、夏季休業中)
- ・生け花教室
- ・図書サポート(図書館開館)
- ・音楽サポート(指揮者・伴奏者など)



【生け花教室】



【マンデイクラス】

## 地域連携事業(令和4年度は生徒と青少対のみ参加)

- ・平成23年度から生徒と地域による協働行事「地域総合防災訓練」を実施
- ・地域20町会中、毎年15町会以上、総勢500名規模
- ・初期消火訓練、仮設トイレの設営、避難所設営、炊き出し、防災討議
- ・学校・地域・消防署・市役所と多岐にわたり連携
- ・令和2年は中止、令和3年は生徒のみ参加、令和4年は生徒・学運協委員が参加という形で実施した。



【地域総合防災訓練】

## 研修事業(令和4年度はオンラインによる交流を行う)

「グローバル人材の育成」に関する理解の深化を図るためにヨコタミドルスクールの生徒と本校の生徒(希望者)をオンラインで結び、自分の「志」を発表しあう交流などを行った。



【ヨコタミドルスクールとのオンライン交流】

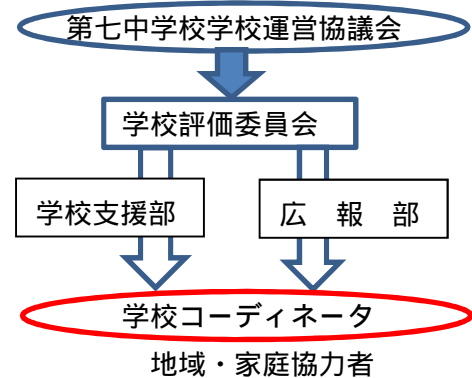
## 学校運営協議会

- ・年間8回実施。うち3回は評議員も出席し、活発な質疑を行っている。
- ・いじめ対策に特に注目し、毎月実施している生徒アンケートの結果について学校から詳細な報告が行われ、不登校生徒の情報交換も定期的に行っている。
- ・令和4年度は、9月に第三小学校との合同開催が実現し、令和5年度も合同で開催することが決定した。

## 活動の目的・概要

保護者を含めた地域住民の学校運営への参画により、第七中学校の生徒が生き生きとした学校生活が送れるようにするとともに、地域住民に張り合いや生きがいを創出することを実現する。

各種取組や協働を行うための組織を構築する。



## 活動の特徴・工夫

### 学校運営委員会の役割・目的の明確化と組織づくり

- ・学校・家庭・地域が共通の目標をもって第七中学校の生徒の成長を支えていくため、学校運営協議会の役割・目的を明確化、学校・家庭・地域の連携・協働体制の構築し、内容の協議を重ねている。
- ・学校運営協議会に部会を設置し、学校コーディネーターとの連携を図りながら学校運営・学校支援の充実を推進している。

### 地域人材の活用について

- ・図書ボランティアをはじめ、学校支援者を地域から発掘し、地域の教育力を学校運営に生かしている。
- ・美化ボランティアによって学校の花壇等の整備に取り組んでいる。多くの方々に協力をいただきながら、生徒と一緒に春の開花に向けて、整備を行ってきた結果、学校の敷地内に沢山のきれいな花を咲かせることができた。
- ・令和4年度から放課後学習教室「チャレンジタイム」を展開し、生徒の学力向上に取り組んでいる。



### ○図書ボランティアの実践例

- ・「富士山が見える図書室」のテーマを掲げ、学校図書館利用者数の増加を目標に、図書館へ至るまでの廊下の壁にフォトギャラリーを設置した。定期活動として、富士山の写真や地域・行事・その他の写真、図書の紹介に関する資料や写真を定期的に入れ替えている。令和4年度来室者数は、図書室紹介の効果もあり、令和3年度の約2倍となったことは大きな成果といえる。



### 学校経営計画・教育課程への意見、承認

### 学校の活動報告・予算執行状況等の確認

### 学校評価のまとめに対する意見及び人事に関する要望



## 活動の目的・概要

地域の人材を生かし、学校と保護者・地域が互いに双方向の連携・協働する特色ある学校教育を実現することを目的に、「学力向上部」「農業振興部」「地域支援部」を設置し、熟議を重ね、地域運営学校づくりに取り組む。



### ひよどり山中学校学校運営協議会

#### 企画事業運営担当

#### 学校コーディネーター

##### 学力向上部

放課後学習教室、夏季学習教室、チャレンジ学習（英・漢字等検定）の実施。

##### 農業(林業)振興部

「総合的な学習の時間」の農(林)業体験学習支援、農業アドバイザーの確保。

##### 地域支援部

青少対地域連携行事への参画・協力による健全育成活動。ひよどり太鼓取組。

## 活動の特徴・工夫

### 学力向上部の活動

学校運営協議会設置当初より、生徒の基礎学力の定着・向上を目指し取組を展開してきた。安心できる学校生活の確立を重点とし、情報交換、支援の工夫について常に議題として、取組経過・進捗を注視している。

年5回ある定期考査前に「放課後学習教室」、7月下旬に「夏休み学習教室」を地域の学習ボランティアの方と教職員が連携し、数学・英語を中心として補充・自主学習支援を行っている。生徒の「意欲を喚起するための指導の在り方」や「できる・わかる喜びや達成感を実感させ基礎・基本を定着させるには？」等、学習支援・指導の工夫を確認・実施している。



放課後学習教室

### 農業(林業)振興部の活動



林業体験学習

総合的な学習の時間(ひよどりタイム)に全学年で「農(林)業体験学習」に取り組んでいる。指導スタッフは、教職員はじめ、市農業塾修了生等、地域の農業経験のある方に依頼し「農業アドバイザー」として指導・支援していただいている。「土作り・畑作り」「種まき・苗植え」「雑草とり・肥料散布」「収穫」という、作物を収穫するまでの一連の活動を生徒個々が体験し、「食」「いのち」「共存共栄」「地産地消」「命のリサイクル」等のキーワード=『生きる』力を身近に感じた課題学習に取り組んでいる。

### 地域支援部の活動

本校は、青少対や町内会・自治会等、青少年健全育成団体との関わりが強く、生徒の健全育成に通じる地域行事等に多く連携・協力・協働した活動を行っている。具体的には、町内子供会の野外体験活動として本校校庭で子どもキャンプの実施。青少対クリーン作戦(地域清掃活動)の実施。小中一貫連携校である市立第十小学校でのひよどり山音楽祭を実施している。その他、地域と連携した防災訓練や各自治会等の活動にも、本校施設を可能な限り開放し学校と地域で相互に協力しあう関係を築いている。



青少対クリーン作戦(地域清掃)

また、20年近くの伝統を持つ「ひよどり太鼓」の保存、運営を担い、令和4年度は生徒11名とOBや支援者によって見事な演奏を披露することができた。地域に根付いた活動をレガシーとして引き継いでいる。



## 活動の目的・概要

学校の応援団としての位置づけ

- ・学力向上の支援
- ・図書室運営及び図書環境向上の支援
- ・地域に貢献する生徒の育成の支援
- ・様々な課題を抱える生徒の個別支援 等

学校ボランティアのとりまとめと人材確保

甲中美術館の地域作品の情報収集と連絡・調整

地域での生徒の見守りと情報提供

学校運営協議会の運営方針

- ・肩ひじ張らず力まない。
- ・小さくゆるやかに活動する。
- ・スモールステップ(小さな一歩)精神を大切にする。
- ・学校運営協議会委員の個性を活かす。
- ・学運協だよりを発行する。
- ・開催通知は、メール等で発信する。

## 活動の特徴・工夫

## 学校への主な支援

## (1) 学力向上の支援

授業内における学習支援

チャレンジタイム(学校主催の自学自習教室:希望者)の支援

- ・毎週水曜日の放課後:全校生徒対象
- ・夏季休業中:全校生徒対象 ・冬季休業中:3年対象
- ・土曜日の午前中:3年対象(9月以降、月2回程度)



授業内での学習支援

## (2) 図書室運営及び図書環境向上の支援

平日の図書室の開館、閉館業務の支援と生徒の見守り

図書ボランティア定例会

- ・月1回、学校司書の勤務日に開催
- ・図書担当教員、学校司書、図書ボランティアが参加
- ・図書、書架の整理、飾り物の制作と図書の廃棄作業



チャレンジタイムでの学習支援

## (3) 地域に貢献する甲中生の育成の支援

青少対活動への参加

- ・健全育成標語 ・クリーン大作戦 ・小さな冬の音楽会
- ボランティア募金

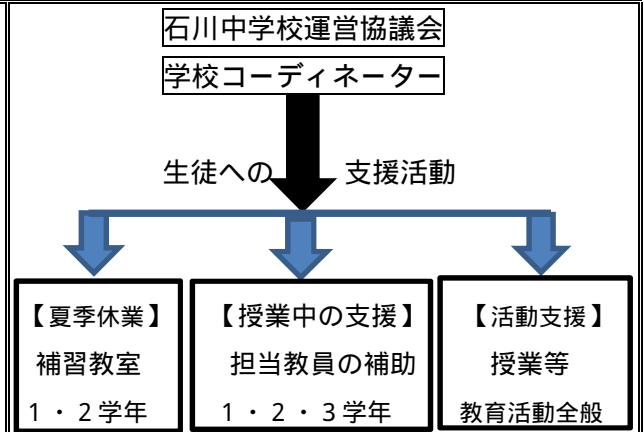


図書ボランティア:書籍の廃棄作業

## 活動の目的・概要

本校の教育方針に基づいた、すべての生徒が『わかる・できる・楽しい』ことをめざす授業である「石川中 授業スタンダード」を実現するために、学校と地域が連携し、生徒への支援方法の一つとして「学習ボランティア」を充実するよう力を注いでいる。

授業・夏季休業中の補習教室や校内研修会を参観や支援することにより生徒理解を通して教職員への助言を行っている。



## 活動の特徴・工夫

### ○放課後の補習教室からの基礎学力の充実を目指す

平成29年度から、放課後の学習教室の充実を核として「学ぶことが楽しい」と感じることができるよう、基礎学力の定着を目指している。少人数指導を行う数学・英語は、放課後学習教室を定期的に行っている。支援者は地域の方や学校運営協議会委員の方々をお願いして取り組んでいただいている。担当教員と共に教室に入り生徒たちの様子を共有し、石川中生への理解を深めている。全学年の授業に入り、机間巡視や生徒への声掛け等、支援活動も行っている。支援者が入ることにより、生徒が安心して授業に取り組むことができる環境づくりの一助となっている。



### 開校40周年記念行事への支援活動

開校40周年記念実行委員会を立ち上げ、教職員と連携し、学校ホームページ等の情報を活用し、全生徒からのメッセージをまとめ、記念誌を作成・発行した。同時に、保護者の協力を得て、生徒のキャリア教育を含めた学びの機会として、講演会を実施した。



### 授業等の参観における支援活動

令和4年度NIE（Newspaper in Education）実践指定校として、生徒の思考・判断・表現の力を向上のため、日頃から新聞を全生徒が読む時間を設けた。小中一貫教育では、2学年生徒が新聞記事から考えた意見を発表する「意見発表会」を実施。道徳授業地区公開講座を授業参観することにより、現在の道徳授業への理解を深め、生徒の思考活動の様子を直接見て、教員への授業展開について活発な意見交換をし、生徒の育成と教職員の指導力向上につながっている。

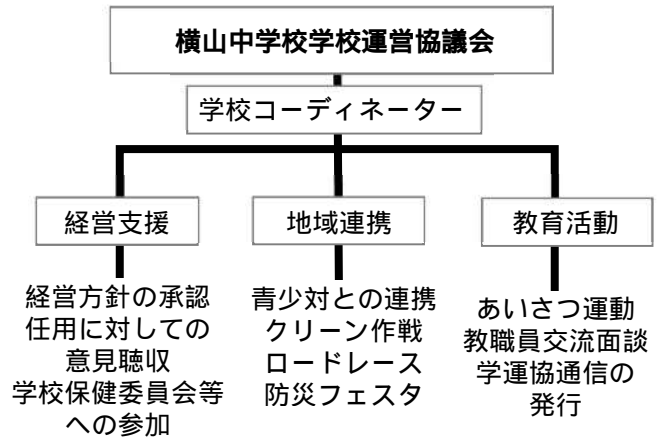


## 活動の目的・概要

運営目標 「地域の力を生かした学校づくり」  
横山中学校と保護者・地域の方が生徒の健やかな成長のために考え、話し合える環境作りに努める。

横山中学校が地域のコミュニティの中心となるように支援し、横山中学校の学校力、生徒育成力の向上を目指す。

学校運営協議会として学校・地域・保護者が一体となって多様な学校支援活動を行う仕組みを構築する。



## 活動の特徴・工夫

### 教職員との交流面談と授業参観

学校運営協議会委員と教職員との交流面談、学校運営協議会委員による授業参観を行っている。教職員から意見を聞いたり、授業参観をしたりすることで、学校の様子を知ることができて、具体的な支援策の策定・実施につながっている。



### 経営支援

学校保健委員会や修学旅行業者選定等で意見を出している。  
また、学習支援室への地域ボランティアの導入では、学校コーディネーターが地域人材の導入計画を立て、配置を行っている。



### 地域との連携

クリーン作戦（地域清掃活動）（7月）、ロードレース大会（12月）等の青少対に関わる行事に協力して取り組んでいる。多くの地域の方にもボランティアとして参加していただき、中学生も地域の一員として活躍している。多くの生徒が参加することで、地域の活性化にもつながるとともに、学校と地域の協力関係を高めることにもつながっている。





## 活動の目的・概要

地域の将来を担う子どもたちを自らの手で育成するために、「生きる力」の基本となる学力向上を目的に、長房中学校生徒の自立した学習を支援する。

時間を掛け、「学習支援ボランティア」を募集し、PTAの協力や地域人材を導入し、本校の教育職員の負担を加重にすることなく、独自に実行できる範囲で放課後学習教室を開設している。

## 地域運営学校【長房中】

落ち着いた環境、落ち着いた生徒の授業態度の中で、生徒の基礎学力の定着と更なる学力の向上を目指す。

- ・基礎学力の定着と学習習慣の育成・・・支援部
- ・授業内容の改善、生徒の習熟度の向上・・・評価部
- ・挨拶や礼儀の徹底・・・・・・・・・・健全育成部

## 活動の特徴・工夫

### 学校運営協議会での協議に関すること

#### (1) 学校での課題について検討協議

家庭の人間関係や学習等が原因での不登校生徒が全都的にも増加の傾向であるが、本校でも増加の傾向があり、担任の先生を中心に空き時間に面談等を実施し対応している。

しかし、個々の生徒に教員が対応するには時間等限界があるので、不登校生徒対応の学校内の居場所作りの検討を行った。その結果、民生委員さんに協力を依頼し、登校支援教室「はばたき」を週1回、2時間開設することになった。

### 放課後学習教室『まなび』の内容

#### (1) 放課後、自学・自習する場所を学校が提供する。

#### (2) 本校の実態に合わせて開室時間を決める。

(17時00分閉室とする)

#### (3) 自習教材は原則として各自が持参する。

#### (4) 自習している時にいつでも質問ができるように、学生を中心とした学習ボランティアをお願いする。

放課後学習教室担当教員と連携して、個別の支援を行う。

#### (5) 週1回開室する。(木曜日)

#### (6) 夏季休業中にも1週間程度開室し、1学期の復習などの支援を行う。



<まなびの様子>

### 図書ボランティア・園芸ボランティアの内容

#### (1) 学校コーディネーターを中心に、ボランティア活動の計画を立て、環境整備を行う。

#### (2) 図書ボランティアは月1回程度、書庫整理、展示物作成等を行い読書活動を推進する。

#### (3) 園芸ボランティアは季節に応じて、花壇の整備、落ち葉掃き等で美化活動を推進する。



<図書室装飾作り>

## 活動の目的・概要

教育目標及び目指す学校像の「生徒や保護者、地域に信頼される学校」の実現を学校・家庭・地域の協働により達成する。

- 1 学校運営協議会を年9回実施する。また、協議会以外の取組にも積極的に活動し、青少対梶田地区委員会主催の行事にもすすんで協力する。学校・家庭・地域が連携し、心身ともに健康で社会に貢献する生徒を育てる。
- 2 地域の力を活用した多様な教育活動を推進するため、学校運営協議会が学校及び生徒を支える原動力となる。

## 活動の特徴・工夫

### 学校運営に関する協議

学校教育目標や経営方針について、校長が提示し、それについて協議した。

各学年主任や養護教諭からの報告を受け、学校運営についての意見交換を行った。

各行事に参加し、事後に意見・感想を共有し改善点等について協議した。

道徳地区公開講座に参加し、学校が取り組んでいる「命を大切に作る教育」について意見交換を行った。

修学旅行、スキー移動教室の業者選定のためのプレゼンテーションに参加し、協議した。

### 地域のボランティアと連携した登校支援教室の運営

登校支援教室「ひだまり」の運営を行い、不登校生徒の居場所づくりや学習支援などを行った。「ひだまり」の運営を安定的に行うことができたことで、不登校生徒が引きこもりにならず、定期的に通学してくるきっかけとなった。また、「ひだまり」のボランティアが生徒の話し相手になったり、学習支援を行うことで、通常登校への橋渡しをできたケースもあった。

### 校内外の環境美化活動

学校の花壇整備を生徒とともにやり、明るい校内環境を作ることに努めた。また、入学式、卒業式の会場内外を花で飾り、生徒の入学・卒業を祝うムード作りをした。学校の中に花があることで、生徒、教職員の気持ちが和む要因となった。また、生徒が地域住民と協働して花壇の整備を行ったことで、地域やそこに住む人々に関心を向け、地域の一員としての意識をもたせることができた。令和4年度は「バイオネスト」の設置を行った。

### 地域人材の発掘

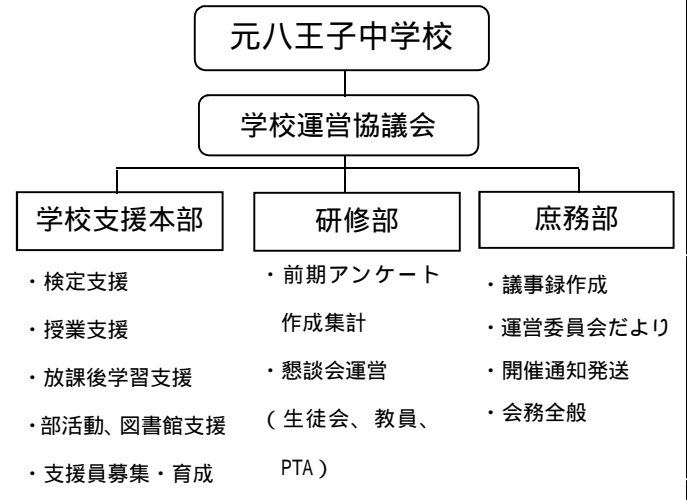
スクールサポートスタッフや「ひだまり」のスタッフ、環境整備活動のスタッフなど地域人材発掘をした。



活動の目的・概要

特色ある教育活動の実現に向けて、今までの取り組みを中心に一層の充実を図る。

- 生徒の学力向上のための学習支援として、各種検定試験の企画とサポートを実施する。
- 生徒、保護者及び地域との情報共有を図る。
- 地域とのかかわりを深める。



活動の特徴・工夫

**各種検定（漢字検定・英語検定・数学検定）のサポート**

地域・家庭で学ぶ機会を広げ、学習意欲の向上を図るため各種検定試験を実施している。受検者は本校生徒だけでなく、近隣小学校の児童も対象としている。地域の方も受検できる機会を設けたことにより、親子での受検や卒業生の参加が見られた。

学校運営協議会の学校支援本部を中心に、学校コーディネーターと連携を図り、学習協力ボランティアとして地域の方に入っていたいただきながら、全7回実施し、延べ256名が受検した。

- ・漢字検定試験・・・年間3回（7、11、1月実施）
- ・英語検定試験・・・年間3回（5、9、1月実施）
- ・数学検定試験・・・年間1回（10月実施）



家族合格証

（地域の方からは延べ7名の参加がありました）



放課後学習サポート教室では、各自が持ってきた学習教材や教科で出された宿題に取り組み、わからないところはボランティアの方に質問し、教えてもらいながら進めました。

**○放課後学習サポート教室**

年間18回の放課後学習サポート教室に、地域の方のボランティアを活用し、生徒の学習意欲の向上や基礎学力の定着を図った。

生徒は約1時間、自分の学習したい教科をボランティアの方に質問しながら、宿題等を進めた。

（延べ108名の生徒が参加）

**学校運営協議会だよりの発行**

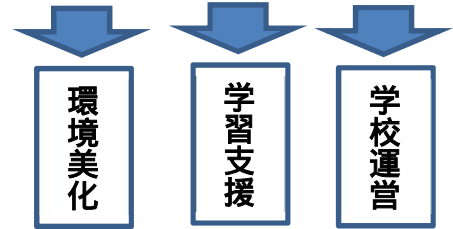
学校運営協議会の取り組みの内容について、保護者や地域の方に周知し、学校の教育活動に協力するために学校運営協議会だよりを学期に1回発行した。また、学校運営協議会主催で保護者アンケートを実施し、学校と保護者とで、現在抱えている課題に対する必要な取り組みについて共有することができた。



## 活動の目的・概要

1. 学校運営協議会を年6回開き、学校とともに家庭・地域社会が連携した学校づくりを推進する。
2. 「学力向上」を基本方針とし、学校運営協議会として協議を行う。
3. 小中連携を推進する。
4. 教職員の勤務負担軽減への地域協力の在り方について検討していく。

### 四谷中学校学校運営協議会



## 活動の特徴・工夫

### 学校運営協議会での協議に関すること

基礎学力未定着生徒への対応について協議した。

四谷中におけるいじめの実態と対応について協議した。

地域全体での健全育成について具体策について協議した。

学校運営協議会を開催する際には、生徒の活動を必ず参観してもらい生徒の実態に基づいて協議を行っている。

### 教育活動に係る支援及び地域と連携した取組に関すること

#### 1. 学習教室の運営と検定実施

地域人材を活用した授業サポートや放課後学習教室を実施しており、一斉授業では学習内容の定着が困難な生徒たちに対し、個別指導や少人数指導の学習形態で丁寧に学習支援を行った。また、大学生ボランティアを採用し、個別指導や少人数指導に適した「学習室」を設置したことで、居場所づくりや不登校対応をすることが出来た。

6月の学校説明会の時にラベンダーカフェを実施した。不登校の問題や子どもに対する大人の関わり方などの情報を共有することが出来た。

漢字検定や英語検定を年3回実施した。受検者は確実に増加し、地域の小学生も受検するようになった。

#### 2. 校内外の環境整備

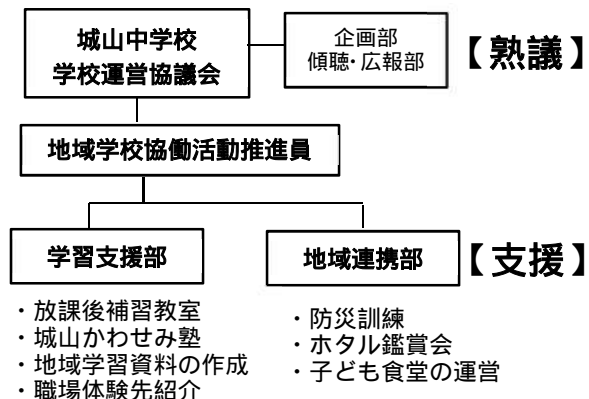
学校運営協議会を設置してから、恒常的な取組として「学校花壇の整備」を毎月定期的に行っている。雑草で荒れ放題だった花壇が、今では一年中花が咲くようになった。生徒たちが優しい心で学校生活を過ごすためには、「まずは環境美化」と考え、学校運営協議会最初の取組として始められた。特に入学式や卒業式に向けては、たくさんの花で学校が飾られている。生徒たちは登下校時だけでなく、教室の窓から美しい花・可愛らしい花を見ながら学校生活を送ることができている。

## 活動の目的・概要

### 学校運営協議会の基本方針

- ・城山小学校の学校運営協議会と連携した活動を推進する。
- ・不登校や問題行動生徒の支援を行う。
- ・教職員の負担を減らすための方策を提案し、支援する。
- ・快適な学び舎にするための環境整備を推進・支援する。
- ・地域の情報や要望を学校に伝える。

年間行動目標を「生徒・教職員支援」とし、学校運営協議会として実施方法を熟議し、遂行する。



## 活動の特徴・工夫

### 学校運営協議会での協議

創立 40 周年記念行事として、音楽コンサートを企画し生徒たちのモチベーション高揚を図るための協議。

城山小学校とは小中一貫教育のパートナーなので、双方の学校運営協議会委員にも小中一貫意識を植え付けるための方策について協議。

学校運営協議会の存在や不登校生徒の居場所「かわせみ塾」の実施内容について保護者や地域の方に周知し、協力を仰ぐために、広報資料等の編集内容と配布方法について協議。

緑や花のあふれる城山中学校への取組のために草花を購入し、植栽することによって、生徒の心の醸成を図るための協議。



小中合同会議風景



40周年記念コンサート



城山かわせみ塾の入り口



きれいに整備された花壇

### 教育活動に係わる支援及び地域と連携した取組

若い世代に共感をよぶ3人組ボーカルユニット「UPLIFT」と折衝し、9月にコンサートを体育館で開催した。

小中各学校運営協議会の標語を「地域とともに未来を拓くコミュニティスクール」に統一し正門に掲示した。

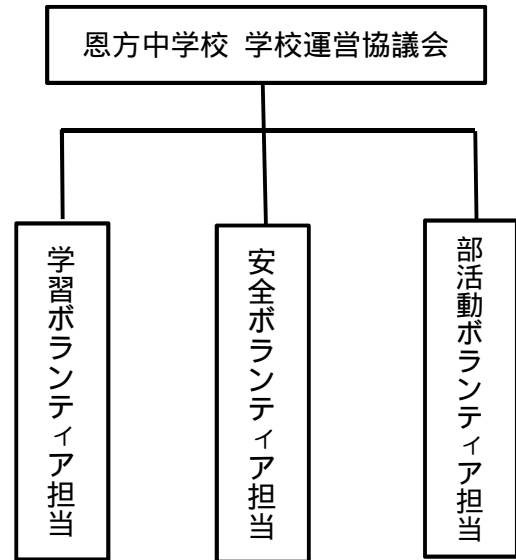
学校運営協議会だよりをカラー印刷で作成し保護者や地域の町会に配布した。この印刷代は市の配当予算で賄った。また、不登校生徒に対しては無料の「城山かわせみ塾」を週1回運営している。

緑や花のあふれる環境づくりのために草花を約 400 株購入し、PTAと学校運営協議会役員や地域の有志で植栽することにより生徒の心の醸成を図った。なお今回は東京都緑化基金助成金を活用したため無料で実施できた。

## 活動の目的・概要

「地域に根差した学校」としての教育活動に参画し、地域力を活用して「生きる力」を育成するために、地域との橋渡しを行う。

- ・教育活動への参画
  - 「教育課題」への対応策の協議
  - 「学校行事」への積極的な参加
  - 「放課後基礎教室」「英語・漢字検定」の実施
  - 「福祉体験」受け入れ施設の紹介と調整
- ・環境整備の推進
  - 「夏休み環境整備」の実施
- ・地域との関わり
  - 「地域行事」への積極的な参加
  - 「学校運営協議会だより」の発行



## 活動の特徴・工夫

### 放課後基礎教室

本校の課題である学力向上への対応として、平成27年度から実施している。水曜日の放課後に定期開催、定期テスト前に特別開催として、基礎・基本の定着を目的とした補習学習を行う。地域人材の活用により、個に応じた少人数指導を実現している。また長期休業期間中には「夏休み（春休み）基礎教室」として、補習学習を実施している。特に、夏休み基礎教室では、教員と協働運営をすることで活動を充実させることができている。さらに漢字・英語・日本語検定を主催して実施し、リスニングや面接指導などの検定対策講座を実施し、合格者を多数出している。学区内小学校と連携を図り、小学生の検定受験生も受け入れている。



### 夏休み環境整備

より良い教育環境をつくることを目的として、平成27年度から実施している。夏季休業中、普段は十分に取り組むことができない場所（体育館や特別教室等）の清掃を重点的に行っている。教員・生徒・PTA・地域との協働により、活動に対しての成就感や一体感を味わうことで、それぞれの立場における「愛校心」の醸成に結びついている。



### 特色ある様々な取組

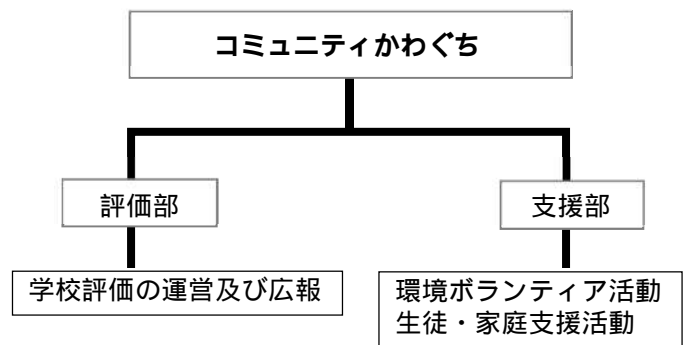
基礎学力向上と学習意欲喚起を目的として、英語・漢字・日本語検定に対する取り組みに力を注ぎ、長期に渡り継続させてきた。今後も基礎学力の定着を図る「放課後基礎教室」と「英語検定・漢字検定対策」を活動の根幹に据えていくとともに、更なる学習意欲の向上に繋げている。また特色ある恩方地域の伝統、文化をより浸透させるべく新任、転任教員の地域巡検も再開させていきたいと考えている。令和5年度からは恩方中校区四校生活指導連絡会や部活動のボランティアを再開予定である。



## 活動の目的・概要

生徒の教育に関わる支援の充実に重点を置き、年間6回の学校運営協議会(会議)を行うほか、委員は公開授業や学校行事等へ積極的に参加する。

各部に分かれ、支援部・教養部の活動を通して、「コミュニティかわぐち」の認知度を上げ、評価部においては年2回の学校評価アンケート結果を集計・考察し、大人に見守られた穏やかで落ち着いた学校づくりを推進する。



## 活動の特徴・工夫

### 定例会、公開授業・学校行事等への参加

定例会は年6回実施。他にも学校公開をはじめ、体育祭では学校運営協議会会長が表彰する場面を設けるなど、様々な学校行事に積極的に参観し、学校経営方針や生徒の様子、課題等について意見を交わしている。コロナ禍の行事の実施など、学校運営協議会への説明・承認をおこない、学びを止めない活動が実施できた。

### 教養講座

平成26年度から講座を開設し、平日に地域の方が楽しみながら活動する場所を提供している。展示会に生徒とともに出品するなど、地域の方と生徒との交流を図っている。

#### 【開設講座(令和4年度)】

火曜日：囲碁教室 <ふるさと学習室>

水曜日：竹クラブ竹細工教室<地域の部屋>

(金曜は地域人材がふるさと学習室を生徒に開放)



### 支援部(フラワーサークル、学習支援、標準服リサイクル)

生徒が花のある環境のもと、落ち着いて学習に取り組む学校を目指して、フラワーサークル活動として、春・秋・冬の3回、花の植え替えを行っている。12月に青少年対策地区委員会主催で行われる地域清掃には、生徒がボランティアも参加しており、その際にも花植え活動を実施している。

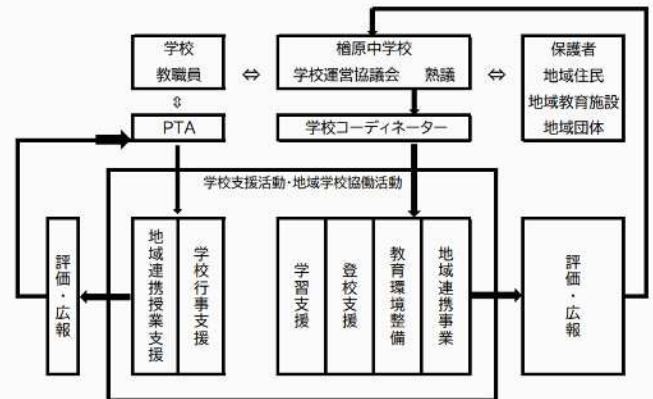
生徒・家庭への支援活動として、英語検定の実施や標準服等のリサイクル活動を行っている。年3回の英語検定では、2級から5級まで、延べ60人の生徒が受検している。

### 評価部(学校評価)

前期と後期の年2回、学校評価アンケートを行い、学校経営に生かしている。集計・考察の結果は、学校だよりに掲載し、地域や保護者に周知している。

## 活動の目的・概要

- 保護者と地域住民と教職員等、互いの意向を適切に把握する機会を積極的に設定し、情報共有を一層深め、学校支援体制を強化する。
- 学力向上について教職員と情報共有や協働を図り、各種検定（漢字検定・英語検定等）・補習教室の定着と活性化を促進させる。
- 地域の小学校・高等学校・大学と連携して教育活動を展開し義務教育9年間で「人間力」「社会性」を育む。



## 活動の特徴・工夫

### 学校経営に関わる課題共有と活動支援

学校運営協議会委員と教職員が、学校の教育課題を積極的に意見交換し、改善策を模索した。その結果、特別に支援が必要な生徒に対して、学習支援サポートを実践し、教育環境を整えながら、学習活動を展開することができた。

### 生徒の登校支援室「ポケットルーム」の試行（令和5年度より本格始動）

学校に登校できず、なかなか教室に入ることができない生徒を対象に、毎週金曜日（10：00～15：15）図書室にて学習支援や創作活動、話し合い活動等を実施した。学校に少しずつ慣れていく取り組みを通じて、様々な活動に参加できるように、これからもサポート体制を充実させていきたい。

### ○漢字検定・英語検定監督サポート

学校運営協議会委員、保護者、地域のボランティアの方々が、学習意欲向上のための各種検定に取り組む生徒に対して、試験監督を通じて支援を行った。

### ○制服リサイクル

卒業生から譲っていただいた制服をサイズ別に管理し、様々な形で生徒たちに利用してもらえるよう、体制を構築した。

### ○図書室蔵書点検

保護者ボランティアを募り、急務であった図書室の蔵書点検作業と、書架の整理を行い、生徒たちが利用しやすい環境を整えた。

### ○小・中・高・大 地域社会との連携

八王子北高校生徒会と連携し、「服のチカラプロジェクト」に参加し、協働しながら、社会貢献について考えた。また工学院大学・創価大学と連携し、「生協」で職場体験を実施した。地域にある高等学校や大学で、中学生が将来を身近に感じながら、地域と共に学ぶことができる環境を提供していく。

学校運営協議会委員の中には、小中一貫連携校である、檜原・陶鎔小学校の委員を兼任している方が複数名おり、3校での情報共有がしやすい状況にある。今後は3校の学校運営協議会で連携した、地域学校協働活動も充実させていく。

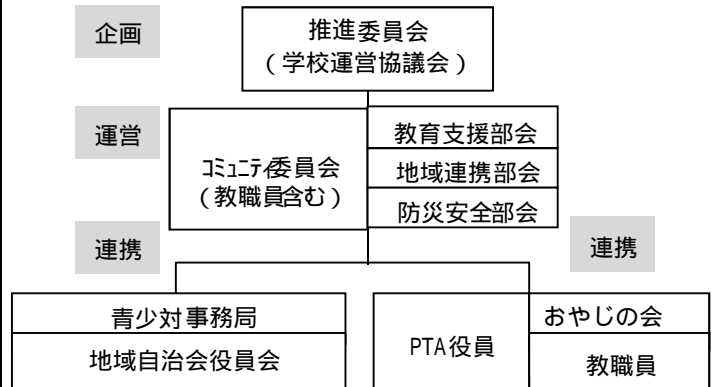


## 活動の目的・概要

学習を支援する取組（各教科・放課後学習教室）  
地域連携と大学連携について強化。2つを連携することで構築させ、生徒へのきめ細かな学習を展開する。

地域行事や地域美化活動における主体的な役割を担えるように、具体的活動目標と達成基準を設定して地域活動に参加する。

年3回行うCC大作戦（清掃活動・炊き出し訓練等）を通して地域の連携する力を強化する。



## 活動の特徴・工夫

### 高尾山校外学習(1年)

地域の自然環境を活かした生物多様性に関する学習を推進するため、高尾599ミュージアムやビジターセンターを利用し校外学習を実施している。事前学習では、1人1台の学習用端末を利用して、調べ学習を行い、発表する活動を行い、生徒の課題設定能力やまとめる力、わかりやく発表する力を育てている。本学習を実施するために作成した「高尾山フィールド調査」冊子を片手に、珍しい植物について調べたり、外国から観光で来られた方へ高尾の魅力英語で紹介する活動を行ったりしている。これらの取組を行うことで、理科教育、英語教育、地域理解教育につながる効果的な学習を展開している。



### 放課後学習教室

地域の方や学生サポーターに協力をいただき、放課後の学習教室を開催。前期・後期各10回程度をベースに実施している。本校教員が作成したプリントや学習ドリルを活用した学習など、個に応じた少人数学習を展開している。地域の方には、青少年健全育成指導員の方も含まれ、多くの生徒とふれあうことで、成長を感じとっている。また、生徒との接点も多いことから、話をしていく中で困ったことを察知し、相談できる関係が築かれている。



### CC大作戦(避難所受付炊き出し訓練)

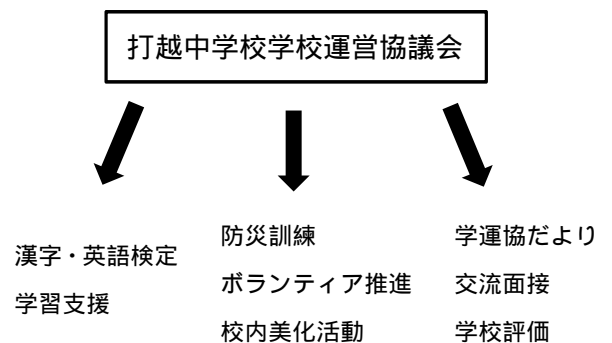
青少年対策由井西地区委員会、PTA、GSO(おやじの会)学校運営協議会が連携し、地域の清掃活動と災害時に備えての炊き出し訓練を行っている。本活動は生徒の地域への所属意識を高めるとともに、学校と地域との交流を深める貴重な機会となっている。





## 活動の目的・概要

「共に学ぶ、人に優しい学校」を目指して、生徒の学習、教育環境、防災等、多方向から、生徒の活動を支え、学校、家庭、地域が協働する体制づくりを行う。学校と共に、家庭、地域が連携し、学び合う学校づくりを推進する。  
打越中学校区の小学校との連携を図る。



## 活動の特徴・工夫

### 地域と連携した総合防災訓練の実施

これまで、各町会自治会、学校と個々に防災訓練を行ってきたが、平成 30 年度より、学校と地域が連携した総合防災訓練「地域と共に・打越中防災フェスタ」を実施。学校と学校運営協議会が主体となり、各町会自治会、青少対由井東地区委員会、打越中学校区の小学校、PTA、関係各機関が連携して行っている。

中学生の防災意識を高めるとともに、地域の方と一緒に訓練を行い、交流を深めることで、地域の一員であることの自覚を促し、万が一の災害時に中学生が少しでも地域の力となれるようにすることをねらいとし、この取組を企画・実施している。



<防災訓練に参加>

### 漢字・英語・数学検定の実施

学校運営協議会の主催で漢字検定、英語検定、数学検定を実施している。また、年に 1 回、由井第一小学校と合同で漢字検定を実施している。

### 学習支援

授業の学習や実技教科の実習、放課後補習の人材支援を行っている。

### ボランティア活動の推進

平成 29 年度より、ボランティアカードを導入し、地域の行事や活動への打越中学生の積極的な参加を促している。生徒の地域貢献に対する意識も高まり、地域ボランティアへの参加も増えてきた。

### 学校環境整備

学習環境の整備に向けて、PTAとも協力し、雑草を抜いたり花を植えたりして学校花壇の手入れを行った。



<クリーン活動>

### 評価活動

学校生活アンケートやいじめアンケート等の各種アンケート、学校評価等を分析し、課題や成果の確認を行うことで、学校改善に向けて協議を行う。また、各学年の学力調査の結果を分析し、生徒の学力の達成状況を把握することで、課題や改善点を整理する。

## 活動の目的・概要

学校目標の実現に向けて、地域力を学校経営に取り入れ、地域との協働で子どもを育てる学校づくりを推進する。

学校運営に関して協議し、学校の運営、管理、改革などの審議、提案、実施を推進する。(地域住民が積極的に学校運営に関わる地域運営学校の実現を目指す。)

学校と地域が子どものために、ともに考え、手を携え、支援する体制を構築する。(地域力を活かし、学校支援を行う地域運営学校を目指す。)

浅川中学校学校運営協議会『まなびの杜 あさかわ』

学校評価部

総務部

学校支援部

学校評価 情報発信 各種能力検定 地域の部屋  
授業評価 生徒会と連携 あさかわ支援の会と連携

学校支援コーディネーター

あさかわ支援の会

- ・授業支援
- ・学習支援
- ・施設、環境整備
- ・部活動支援
- ・図書支援
- ・行事支援 など

## 活動の特徴・工夫

### 学校評価部

学校評価部が主体となり、年間2回、「学校評価アンケート」と「授業評価」をオンラインで実施している。「学校評価アンケート」は、保護者、生徒、教職員、地域住民(年間1回)を対象に実施、集計し、学校運営協議会が推薦した評価委員により分析、提言を校長に行い、校長の学校経営を支援している。

### 総務部

学校運営協議会の活動を地域に知ってもらうため、学校運営協議会だよりの発行や学校運営協議会で協議した議事をHPへ掲載している。また、部活動支援プロジェクトとしてパンフレットを作成し、学区の小学生への配布や地域住民へのPRにも役立てている。その他にも、年間3回の小中合同のあいさつ運動や生徒会役員との懇談会等を実施している。2年目となった生徒会主催の展示会「アサテン」には全面協力し、双方から意見を出し合っており充実した内容になった。



### 支援部

活動ごとに約60名、述べ約100名でボランティア活動を実施。学校の要望に応えるため、学校コーディネーターが中心となり活動。幅広く活動を展開しており、これらの活動は、生徒や教職員から好評で、地域の方が毎日来校する学校の実現に寄与している。主な活動は以下のとおり。



- ・家庭科や技術科の実習時の補助や支援
- ・放課後の数学と英語の学習支援
- ・年間2回開催する漢字検定・英語検定の実施。
- ・図書ボランティア
- ・学校林「栗山」の整備
- ・環境教育支援「林をつくるコミュニティ」
- ・花壇の手入れ「花のうるおいボランティア」
- ・行事支援ボランティア など

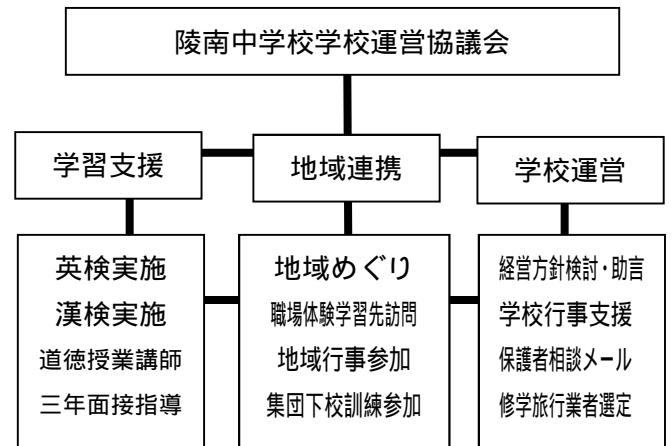
中でも漢字検定・英語検定の実施に際しては、地域ボランティア及びPTAに当日手伝いを依頼しており、PTAとの連携が良好に保たれている。

## 活動の目的・概要

教育目標の「みずから学び工夫し 思いやりの心を持ち 体を鍛える生徒」を学校・家庭・地域の協働により達成していく。

年間 11 回の学校運営協議会での協議を通じ、学校と家庭・地域社会が連携した学校づくりを推進する。

年間行動目標を「生徒が誇りに思える学校づくり」とし、学校運営協議会として協議を行う。



## 活動の特徴・工夫

### 学校運営協議会と生徒会の会食

生徒たちが自主的に創意工夫しながら活動していく生徒会活動、この活動を支えることは生徒たちの健全育成の目的からして大変重要なとりくみといえる。日常の関りを持つ教職員と生徒の関係から、普段話すことのない、地域の大人との話しあいは、新鮮な空気の中で、「大人たちが私たち生徒のことを真剣に考えてくれている」との「安心感」を持つことができる機会と言える。

食事をしながらの会話は、アットホームな雰囲気、率直な悩み、思い、意見が出せる利点がある。この日の会話の中心は、「意見箱」に入れられた「制服の変更」要求であった。意見をどのように取り扱うのか、改善していくための道筋は、などなど、普段語れないことが次々と学校運営協議会の委員に投げかけられた。委員それぞれが、意見を出し合いながら会話が進んでいった。生徒会からは「自分の思っていることが話しできてうれしかった」との感想が出された。

生徒たちの気持ちを身近に感じる場として、非常に重要な取り組みであったといえる。来年度も引き続き開催していきたい。

### 陵南中学校「ふれあいプロジェクト」事業の支援

「ふれあいプロジェクト」目的は、陵南中学校の生徒たちと地域住民が各事業を通してふれあうことにより以下を達成することにある。

地域の教育力を活用し、陵南中学校の教育水準の向上を図る。

地域の教育力を活用し、陵南中学校生徒の健全育成を図る。

各事業を通して、地域の活性化を図る。

2020東京オリンピックパラリンピック教育のレガシーとする。

この目的達成の事業として、「陵南中学校花づくりの会」「陵南地区空手道同好会」「陵南中学校和太鼓の会」(陵南翼太鼓)この3団体が活動している。

「花づくりの会」(ボランティア精神)は、生徒たちと地域の大人が毎月1回、3つの花壇とプランタを活用した花づくりをおこない、花に囲まれた陵南中学校の学び舎としている。

「陵南地区空手道同好会」(陵空会)は毎週1回木曜日、「陵南中学校和太鼓の会」(翼太鼓)は毎週水曜日に本校体育館を使用し、小学生から大人までが一緒に練習している。本校生徒にとって、大切なコミュニケーションづくりとなっている。

この事業の意義を踏まえて、学校運営委員会も携わることとしている。





## 活動の目的・概要

教育目標の「豊かな心をもち優しく強い人、心身の健康に努め夢と志を抱く人、向上心と主体性に富み共に学ぶ人」を育てるため、学校と地域が協働し、生徒に自己有用感をもたせる教育活動について熟議を重ねた。

広義の学力向上を目指し、地域の教育力を活かした教育活動を推進する。

ボランティア活動を推進し、社会や地域に貢献する生徒を育てる。

### 由木中学校学校運営協議会

#### 4つの部会

広報活動	環境美化	読書活動	教育支援
地域人材の活用による 広報活動の 推進 広報活動	地域人材の活用による 環境整備の 推進 花壇整備	地域人材の活用による 図書活動の 推進 読書活動	地域人材の活用による 学習支援の 推進 補習学習

## 活動の特徴・工夫

### 放課後「楽習会」(教育支援部会)

平成28年度から始まった本活動は、毎週水曜日の放課後に学校図書館を利用して生徒の勉強会を行っている。学習ボランティアとして地域の方や大学生にあっていただき、数学や英語等の基礎学習を中心に授業の補習や宿題などの学習サポートを行っている。

令和4年度は、この会の目的の方向性について熟議を重ねたが、「楽習会」の名称通り、強制的な勉強会でなく「楽しい場所と時間」となるように、コミュニケーションをとりながら活動することを目的とすることを再確認した。



### ビブリオバトル(読書活動部会)

放課後の学校図書館を活用し、決められた時間内に本を紹介し合うビブリオバトル大会を開催した。本に親しむ態度を育て、読書活動を活性化させるとともに、発表する体験を通して自分に自信をつけてもらうことをねらいとしている。

令和4年度の学校代表となった生徒が全国中学ビブリオバトル大会で優勝し、メディアにも取り上げられ、本の面白さを広く伝える活動となった。



### 花いっぱいプロジェクト(環境美化部会)

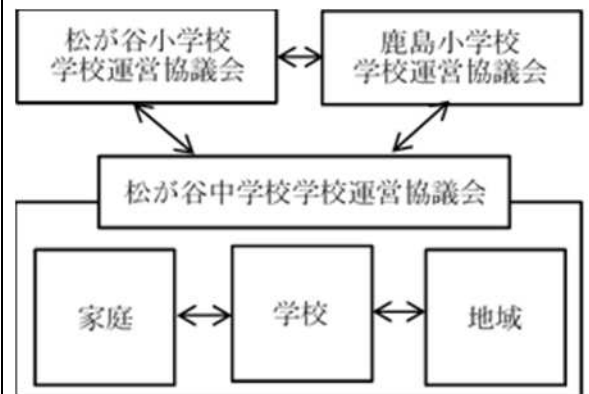
春に花開く花の苗を校庭にある11か所の花壇に植える活動を行った。生徒・教員・保護者・地域の方でコミュニケーションをとりながら、自然を愛する心情を育てることを目的としている。当日の様子が地域のケーブルテレビで紹介され、由木中の活動を地域の方々に知ってもらう機会となった。日常の水やりや整備は生徒会やPTA、生徒ボランティアで行っている。



## 活動の目的・概要

教育目標である「進んで学びよく考える人・正義を愛し心の豊かな人・体を鍛え健康な人」の達成に向けて、学校・家庭・地域の連携、協力を推進する。

- 1 年間目標を「地域の力を活用した生徒の支援及び健全育成」とし、学校運営協議会で活動内容を検討する。
- 2 3校合同学校運営協議会の充実を図るとともに、地域にある幼稚園、小学校、高等学校、大学等と連携した活動を推進する。



## 活動の特徴・工夫

### 学校運営協議会での協議に関すること

#### (1) 学校の状況について（生徒、教員の様子）

学校経営計画とその成果、体育祭、合唱祭、授業参観等の保護者アンケートの内容と回答について各種検定や作文コンクール・部活動等の成果

不登校生徒の状況とその対応

来年度の学校運営協議会の充実について

#### (2) 50周年行事に向けての準備について

近隣小学校での取り組みの様子

式典の実施と合同行事の実施について

### 教育活動に係る支援及び地域と連携した取組に関すること

#### (1) 大学生による補習指導の支援

教職課程の大学生ボランティアの協力により、平日（火、水、木、金の4日）の放課後に、「放課後学習教室」を開催し、生徒の基礎学力の定着を図っている。参加者数も1, 2年生を中心に増加しており、引き続き、この取組を実施する。

#### (2) 花いっぱい運動

毎年3月に、卒業・入学に向けて青少年対策松が谷地区委員会が実施している「花いっぱい運動」に参加・協力している。中学校では、園芸部がプランターに花を植え、校内に配置する活動を展開している。

#### (3) 合同挨拶運動

毎年11月に青少年対策松が谷地区委員会が実施している「あいさつ運動」に近隣の小学校、高校とともに参加している。中学校では、11月を「あいさつ月間」として、「地域の中でも小学生や知っている大人の方に積極的にあいさつしよう」をスローガンに取組を展開している。

#### (4) その他

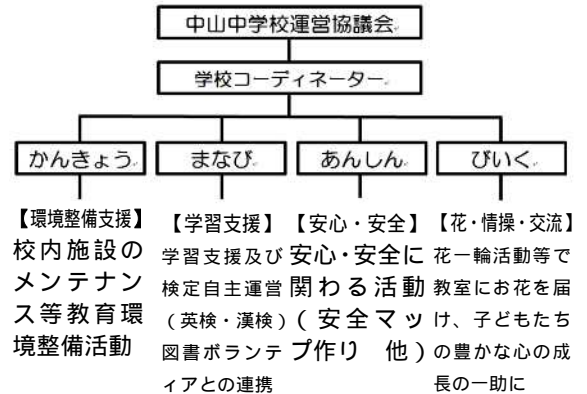
学校参観...体育祭、合唱祭、授業

施設の点検...敷地内の樹木、建物等



## 活動の目的・概要

中山中学校区学校運営協議会が「共に育てる」という理念で連携し、地域とつながる学校づくりを推進  
 学校・家庭・地域の連携・協働による学校の活性化  
 「目指す学校」実現に向けた学校支援体制の構築  
 「地域運営学校」を基盤とした特色ある小中一貫教育の推進  
 P T A 杉の沢会と連携した、生徒のより良い成長の支援



## 活動の特徴・工夫

## 学校運営協議会の開催

月1回、学校運営協議会を開催し、学期に1回3校合同学校運営協議会を開催。

令和4年度は、1月28日（土）に、三鷹五中の学運協を見学し、「熟議」についての新たな視点と実践を確認することができた。

## 「花一輪の活動」

平成25年度から花をとおして心を癒し、情操を高めて欲しいとの願いから活動を開始。月に一度、地域の方から花をいただき、各教室、職員室、保健室、校長室、応接室に花を届けている。



花一輪の活動

## 地域と連携した「環境整備」の実施

石碑と花で飾られた花壇の一つである「希望の丘」を中心に校庭に点在するいくつかの花壇の整備。（年4回、本校の「ボランティア部」、P T Aである「杉の沢会」と共同して、草取り、種や苗の植え付けを行った。



環境整備

## 「英語検定」「漢字検定」の自主運営

学校運営協議会の主催で地域の方の支援をいただき、「英語検定」「漢字検定」をそれぞれ年間2回実施している。これまで漢字検定は中山小学校の児童も本校に来て行っていたが、令和4年度はコロナ感染症予防のため、会場を小学校、中学校に分けて行った。



環境整備



## 活動の目的・概要

目標：地域の活力を活かした学校づくり

- ・地域の学校としての南大沢中学校づくりを進める。
- ・学校運営協議会の活動を学校教育に活かす。
- ・学校ボランティアや学校サポーター、学生ボランティア等の人材を確保する。
- ・小規模校に適した学習活動・校外活動を推進する。

### 南大沢中学校学校運営協議会

おはようコミュニケーション

地域防災

学習支援

おはようコミュニケーション活動の調整・運営

地域防災訓練の企画・運営。防災の啓発

地域人材を活用した学習支援

学校の教育活動の見守り、支援、参加・協力  
学校の教育活動の報告、地域と学校をつなぐ

## 活動の特徴・工夫

### 学校運営に関する協議

学期中月1回実施 18時30分から19時30分で開催（年8回開催）

### 活動内容

学校運営協議会の存在や取組内容について、保護者や地域の方に周知し、協力を仰ぐために、学校通信やホームページ、コミュニティスクール通信等で発信する。

勉強に対して不安を抱えている子どもたちの支援を充実させるために、地域人材を活用し、学習端末を使用した放課後補習や学習支援に取り組む。

地域防災の取組内容を、生徒に周知し保護者、地域の方と協力し、地域防災の担い手を育成するため、体験型の学習を支援する。

講師派遣や関係団体との連絡調整

学校と地域、地域住民どうしのつながりを深めるため「おはこみ」

（おはようコミュニケーション）を行う。

日を設け、校門周辺に生徒が立ち、学校の前を通る方たちにあいさつ運動を行い、生徒、教職員、地域住民の交流の場を設ける。

コミュニティ・スクール通信を南大沢小、柏木小、南大沢中合同で作成して、南大沢中学校区の地域の方に様々な情報を発信する。

小中一貫教育で連携している小学校から小学生を招き、南大沢中学校での生活に憧れを抱いて入学する生徒を増やす取り組みを行う。



小学生を招いた南中探検ツアー

### 活動の特徴

各係は3校（南大沢中学校、柏木小学校、南大沢小学校）と連携し活動を行っている。

3校合同（南大沢中学校、柏木小学校、南大沢小学校）の学校運営協議会の開催を定期的に計画している。

### 《特記事項》

「南大沢地域自主防災協議会」、「青少年対策南大沢地区委員会」と連携し防災教育を推進している。

### 《令和4年度の主な協議事項》

- ・地域の小中学校の統廃合を踏まえた、未来に向けた地域作りの推進について。
- ・魅力ある南大沢中学校の発信について。

## 活動の目的・概要

地域運営学校として、地域と学校の連携を強め、地域の中で子どもたちを育てる。

- (1) 学校の諸活動に対して、保護者・地域の方の協力体制を築く。
- (2) 地域行事に対して、中学生として積極的に参加させる。
- (3) 学校を通して、地域の活性化を図る。

本校では、様々な活動を、学校運営協議会、宮上中PTA、青少年対策宮上地区委員会と連携して実施している。学校運営協議会では、主に学校行事や活動内容について協議し、それぞれの担当が実際に動く組織とつなげるという形をとっており、学校運営協議会が学校と地域を結ぶ役割を果たしてきている。

## 活動の特徴・工夫

### 土曜学習教室

- ・平成26年度から実施。
- ・定期考査準備期間の土曜日午前中に教室を開放して学習教室を運営。
- ・生徒は、自主的に出席するかどうかを届け出る。
- ・教室の運営は、PTA学習支援部が行っている。
- ・毎回3～6名の学生ボランティアが学習補助を行っている。



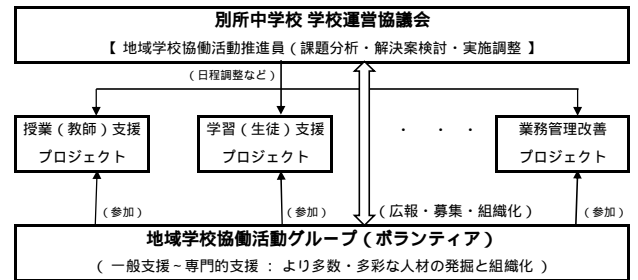
- ・平成29年度から、学習が遅れている生徒対象の土曜補習教室に教員のサポートとして、学生に協力をいただいている。地域の大学生ボランティアや日常的に本校に来ている学生ボランティア、教職大学院で学んでいて本校で実習を予定している方に来ていただいている。

### その他の活動

- ・英語検定、漢字検定を学校にて実施（PTA学習支援部と連携）
- ・移動教室、修学旅行のプレゼンと業者選定
- ・学区小学校（宮上小、下柚木小）学校運営協議会との合同熟議（年3回）など
- ・学校博物館「みやかみミュージアム」の運営  
生徒や地域の方が作成した作品を常設展示する場所を開設し、保護者や地域の方が交流できる地域のコミュニティルームとして運営。

## 活動の目的・概要

- 別所中、学校経営計画の『方針と目標』を学校と共有し地域の人材のリソース（知恵・工数）を投入することで、目標の達成（課題解決）を効果的に実施する。
- 上記の実現のため、地域の人材のリソースである地域学校協働活動グループの拡大と組織化を図る。
- 令和4年度（2022年度）は、別所中学校運営協議会発足4年目、発足3年間で『立ち上げた組織・体制および試行開始したプロジェクト』の実績と成果を評価し、令和5年度（2023年度）以降の活動の拡充に繋げていく。



## 活動の特徴・工夫

### ○学習（生徒）支援プロジェクト

- ・別所中学校の教育現場での重要課題と認識されている生徒の『学力の2極化』に対し、『躓きのある生徒』に対する『個別指導』を基本とする学習支援を実施している。
- ・令和4年度（2022年度）は、長期休暇中、定期考査前の学習支援に加えて放課後相談の学習教室を実施した（写真1参照）。
- ・別所中学校が目指す『誰一人取り残すことのない公正に個別化された学びができる』学校像の実現のため、基本的な取り組みと位置づけている。また、令和4年度は、令和2～3年度実績に放課後学習相談日を追加し、年間を通しての学習支援として継続することで、目的達成の実感を得、効果を挙げている。



写真1

### ○授業（教師）支援プロジェクト

現場教諭と検討し、より充実した授業他の実現を目指し、**ALT** (Another Language Teacher) 授業（写真2参照）および**英検二次試験準備**を請負い下記の特徴ある授業を実施している。ALTでは、

- ・英会話指導経験のある講師による授業、
- ・海外勤務豊富なメンバー（講師）の経験逸話紹介  
グループ化した生徒の話し合いからの質問事項作成（別講師が支援し）講師 生徒での質疑応答
- ・英検二次試験準備では、先行する近隣松木中学校に学び、かつ、現役の英会話教師（講師）による問診訓練



写真2

### **地域に潜在する人材の積極的な発掘**

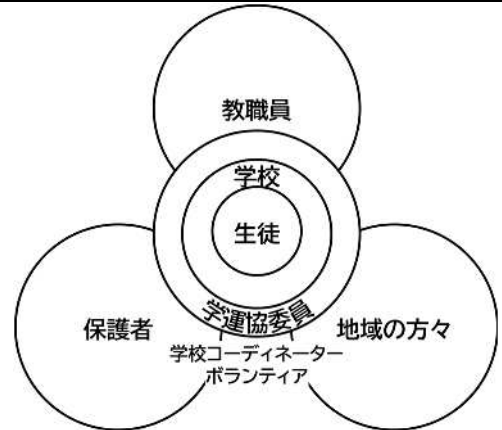
- ・地区の諸団地、近隣のスーパーなどを通し、積極的に講師を募集し30人超の多彩かつ知見豊富な講師陣での地域学校協働活動グループを実現した。令和5年度も継続していく。



## 活動の目的・概要

学校運営協議会は地域で学校を応援するものと捉え、保護者や地域の方々、教職員の意見も取り入れて連携し、生徒たちがすこやかに成長できるよう、学びの機会を確保し、学校運営をサポートしながら見守っていきたくと考え活動している。

P T A、青少年対策地区委員会、学校コーディネーターなどと連携するだけでなく、大学生、地域の学習ボランティアや卒業生保護者の力も借り、小中一貫教育で連携する小学校2校の学校運営協議会とも情報交換するなど、関係者を広く巻き込んで活動している。



## 活動の特徴・工夫

### コミュニティガーデン開設

- 地域に開かれた花があふれる学校として開校後約 30 年、地域の学校へのかかわり増進のため、コミュニティガーデン開設。毎月 2 回の花壇整備、市グリーンアドバイザーを講師にボランティア部と共同活動、地域・生徒と愛称決定など実施。生徒と地域との交流増加、花がきれいに咲く花壇の常時維持など有意義な活動。



コミュニティガーデン

### 防災講演会開催と地区防災ワークショップ連携

- 生徒の地域住民として生きる力を養うため、東京都立大学・市古教授による講話「中学生と地域防災の関わり」開催。翌々週の青少年対主催「地区防災ワークショップ」へ中1全員が参加する準備も兼ねる。中学生は自助しながら他生徒・地域に対して互助する存在であることを生徒が理解し、生きる力を一層養っている。



防災講演会

### キャリア教育講演会開催

- 誰も経験のないポストコロナの世界で、これからの生き方のよりどころを培うため、東京都立大学・河西教授による中3向けキャリア教育講演会「将来を考えた中学卒業後の過ごし方」開催。今後さまざまな場面で、自分で考えて選んでいく必要性と重要性とを2月末にわかりやすく講演いただき、生徒からも好評だった。



キャリア教育講演会

### 英語検定・漢字検定準会場実施と関連する学習教室開催

- 教員の負担軽減のため、各検定協会に登録し、年2回ずつ、案内配布から集金、検定実施までを担当。また、学習ボランティアと先生方との協力の下、英語検定・漢字検定の学習教室を放課後に開設。案内は全生徒に配布、保護者にも一斉メールを送信。この取組によって生徒の学習意欲が高まり、受験者数も合格者数も増加。



英語検定準会場

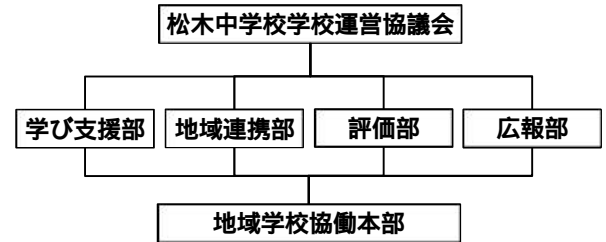
## 活動の目的・概要

## &lt;活動方針&gt;

地域の子どもである松木中学校の生徒を、学校運営協議会を中心に、PTA・青少年対策地区委員会・教職員・地域のNPO法人等の各種団体、卒業生やその保護者との連携を強化し、地域ぐるみで育てていく。

松木小学校・長池小学校・松木中学校3校の教育活動全般にわたり連携を一層強力に推進し、小中一貫した教育活動の活性化を図る。

学校経営に対して適切な提言ができるよう協議会を運営し、「社会に開かれた教育課程」を実現する。



協議会内に「学び支援」「地域連携」「評価」「広報」の4部会を設置し、活動を分担して推進。松木小、長池小の各学校運営協議会でも同じ部会を設置し、3校合同学校運営協議会としての活動も展開。

## 活動の特徴・工夫

学校運営協議会での協議に関すること

毎年9月には、全教職員と協議会委員が個別に話し合う場を設け、課題を共有している。初めて、生徒会との意見交換も実施した。

教育課程についてだけ検討する協議会を開催。毎月の校内報告、教職員との面談、授業観察、学校評価などを通して課題を話し合い、教育課程の検討につなげた。

教育活動に係る支援及び地域と連携した取組に関すること

令和4年度は、長引くコロナの影響も考え、子ども達と地域の大人や大学生との接する機会を増やし、様々な体験の場を提供することを目的に企画を進めた。不安の軽減や社会性の育成につながることを目標とした。

浄瑠璃祭り

飲食を出さない形ではあったが、3年ぶりに地域祭りを復活した。中学生は、部活動発表やステージ発表に加えて、スタッフとして模擬店に参加している。小学生も「ながいけ太鼓」と「まつぎマンガクラブ」が発表に参加した。子ども達だけでなく、大人同士のつながりも生まれる大切な行事である。



書道パフォーマンス



地域の大人との交流

英語検定・漢字検定・数学検定

各検定とも年1回ずつ学校を準会場として、地域支援スタッフ・地域講師の力をお借りして開催している。英語検定では、2次面接試験対策の練習会も実施している。

放課後学習教室

10月～2月の間に毎週2回、生徒の自習を地域の大学生ボランティアやシニアなどが見守り、質問を受ける形で実施した。大学生は中学生の少し先の未来を考えるためにもとても大切な存在である。



放課後学習教室

集まれ、大好き!みらいアカデミー

子ども達が興味のあることや得意なことにチャレンジする機会となるように、地域の方に講師をお願いし、「数学しましょう! Let's math.」「鉄道大好き集まれ!」「レッツぷよぷよプログラミング!」「宇宙ってどんなところ?」「水彩画を描く」の5講座を実施した。

子どもの居場所Third place んくぬく

子ども達が自由に遊んだり勉強したりして過ごせる、地域の中の居場所として、近くの自治会館をお借りして開設した。地域の小・中・高校生だけでなく、保護者の方々のおしゃべりの場所にもなっている。

## 活動の目的・概要

学校・保護者・地域が協働して、教育目標「すすんで学び向上をめざす人（自学）共に助けあう思いやりのある人（共生）心身を鍛え最後までやり遂げる人（自立）」の実現を目指すとともに、ふるさと鏡水（八王子）を愛する子供を育てる。

- 1 学校運営協議会は、学力向上、子供の安全確保、学校・地域の環境美化、地域防災という3つの学校経営課題の改善に向けて、具体策の評価・改善・拡大などを一層推進する。
- 2 学校運営協議会は保護者・地域住民に活動を公表し、支援者の一層の拡大を図り、生徒会の自治活動とも連携し、地域で生徒の生きる力を育てる。

鏡水小中学校 学校運営協議会

鏡水中学校 学校運営協議会

広報部

学習支援部

安全環境美化部

## 活動の特徴・工夫

- 1 定期考査前後の基礎・基本定着教室実施 ~ 学力向上・学習習慣の定着のために~



学習サポートスタッフを募集して、定期考査前の学習支援を行った。加えて10月には副校長と協働で公益財団法人東京学校支援機構TEPROを活用してボランティアを確保し、開催日時を増やして定期考査後も学習支援を行うことができた。定期考査後については定期考査の直しと解説を行うことができ、参加した生徒からは「テストでできなかった問題ができるようになった。また活用したい。」との声もあり、好評だった。

- 2 クリーン作戦・落ち葉掃き ~ 生徒会との協働~

令和5年度の生徒会の活動方針の柱の一つである「地域貢献」を実現するために学校運営協議会、生徒会が連携して地域清掃と落ち葉掃きを企画・運営した。全校生徒が学校周辺の清掃と落ち葉掃きに取り組んだ。保護者も一緒に活動した。



- 3 学校運営協議会通信「やりみず」の発行

鏡水小学校の学校運営協議会とともに、広報活動を一本化し学習支援部や安全環境美化部の具体的活動の様子や成果等を「学校運営協議会通信やりみず」を発行し、保護者、地域に配布した。

- 4 花いっぱい学校づくり

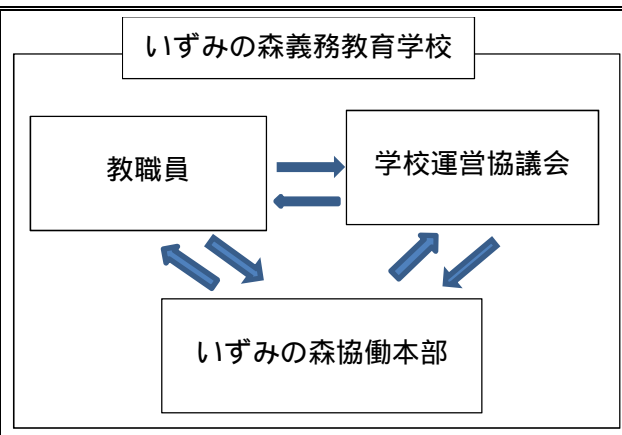


学校運営協議会の下部組織「やりみずガーデン」やPTA、生徒ボランティア等が連携し、校舎前の花壇の整備等、学校の環境整備を推進した。



## 活動の目的・概要

地域とともにある学校づくりを推進することで、本市初めての義務教育学校としての教育活動等の充実を図る。学校複合施設としての有効活用、いずみの森協働本部の活動やその可能性について協議するとともに、活動を通して模索する。



## 活動の特徴・工夫

### 地域とともにある学校づくりの推進

- ・ 地域との連携を深めていく上での課題や今後の取組についての協議
- ・ 学校運営協議会及びいずみの森協働本部の役割についての協議
- ・ 学校複合施設としての活動の企画・調整・運営についての協議

### 教育課程編成及び学校複合施設としての活動の企画・調整・運営についての在り方を検討

- ・ 学校を核とした地域防災体制の充実を図るために、学校と地域が連携した防災訓練の実施実現に向けた協議を継続している。
- ・ 地域コミュニティスペースの運営、活用の推進。地域学校協働本部とPTA本部の共催で山梨大学教授を招いた子育てワークショップを年2回実施。地域住民と保護者の交流を深める機会となった。
- ・ 学校図書館関連事業の充実。地域ボランティアによる図書の貸出・返却、蔵書の整理が定着し、読書に親しみやすい環境が保たれている。
- ・ 地域学校協働本部主催によるクリスマスコンサートを開催。地域の表現団体及び吹奏楽部、和太鼓部、音楽クラブの児童・生徒が出演。地域住民と児童・生徒が交流する機会となった。
- ・ 学校、保育園、学童保育所、町会、青少対、PTA、放課後子ども教室等、それぞれの活動・取組を一覧できるコミュニティ・カレンダーを作成した。
- ・ 「RUN 伴はちおうじ」と連携し、オレンジガーデニングプロジェクトに参加。在校生が地域住民と共に、マリーゴールドの種まきを行った。



### 地域のボランティアと連携した学習支援

- ・ 学校コーディネーターを中心に地域ボランティアによる年間を通した平日の学習支援を実施した。
- ・ 学校コーディネーターが高齢者あんしん相談センター等と連携、キャリア教育・福祉教育の充実を図った。
- ・ 地域ボランティアによる漢字検定3回、英語検定2回、数学検定1回の運営を実施、各回100名前後の受検者に対応できた。受検者増加傾向に応じた受検環境を整備することが検討事項。
- ・ 長期休業時の学習支援として大学生を含む地域ボランティアが活動した。



地域運営学校 活動事例集  
令和4年度(2022年度)版  
令和5年(2023年)8月発行

(発行) 八王子市教育委員会  
(編集) 学校教育部地域教育推進課  
〒192-8501 八王子市元本郷町三丁目24番1号  
TEL 042-620-7403 FAX 042-627-8811  
E-mail [b302300@city.hachioji.tokyo.jp](mailto:b302300@city.hachioji.tokyo.jp)  
URL <https://www.city.hachioji.tokyo.jp>